

2023 Handbook Hanshin

2023

ハンドブック阪神



“たいせつ”がギュッと。

# 社長挨拶

代表取締役・社長

## 久須 勇介

2023年8月



2025年に阪神タイガースファーム(二軍)施設を同市・小田南公園へ移転し、公園全体を脱炭素化(ゼロカーボンベースボールパーク)する計画を進めています。このベースボール事業のほか、ビルボードドライブ等の音楽事業、六甲山上のレジャー事業などを通して、多くの皆さまに夢・感動をお届けしています。

情報・通信事業では、情報サービス事業において、企業等のDXの流れに沿った様々なサービスを提供し、放送・通信事業において、快適な通信環境の整備のためFTTH(光回線)への置換えを進めるほか、あんしん事業において、置き去り防止車内点検支援装置の販売を開始するなど、時流を捉えた取組みを推進しています。

このほか、一流のホテルやスパ等を対象とした唯一の世界的な格付けシステム「フォーブス・トラベルガイド」において大阪のホテルで“初”そして“唯一”の五つ星を獲得したラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン大阪」のホテル事業や、土木工事、電気設備工事、造園工事、グラウンド整備等を通して「信頼され、選ばれ続ける建設・環境パートナー」を目指す建設・環境事業を営んでいます。

当社グループは、各事業部門が一体となつて、「深める沿線 広げるフィールド」というスローガンの下、ニューノーマルに対応し、SDGs、カーボンニュートラル等の社会課題の解決を図りながら、「魅力あふれる沿線の創造」、「ブランド価値経営の推進」、「デジタル技術によるビジネスモデル・業務プロセスの変革」に向けた取組みを進めてまいります。そして、当社グループの中長期的な発展と持続可能な社会の実現の両立を図ってまいります。

今後とも、皆さまのご期待にお応えできるよう全力で取り組んでまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

皆さまには、平素から当社グループの事業活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は、1905(明治38)年4月12日に営業を開始して以来、120年近くの長い歴史を有し、その間、常にお客さまの安全を最優先とした堅実経営に重きを置きながら、阪神・淡路大震災など、幾多の苦難を乗り越えてまいりました。

また、現在は、阪急阪神ホールディングスグループの中核会社として、30社以上のグループ会社とともに、お客さまに「安心・快適」そして「夢・感動」を提供する事業を多岐にわたって展開しています。

都市交通事業では、鉄道事業において、本年4月から「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用した料金収受を開始しました。今後、本料金を充当し、既に着手している尼崎駅(1番線・2番線ホーム)のホームドア設置をはじめ、各種バリアフリー施設の整備を順次進めてまいります。このほか、大阪梅田駅の改良工事や阪神なんば線淀川橋梁改築工事を推進するなど、鉄道諸施設の整備・改善に努めています。これらを通して、バス・タクシー事業を含めた安心・快適な都市交通ネットワークの実現を目指しています。

不動産事業では、本線住吉・芦屋間連続立体交差事業によって新たに誕生した高架下空間(東灘高架下)の活用を推進するなど、沿線での魅力あるまちづくりを推進し、豊かで充実した地域社会の実現に貢献しています。

スポーツ・エンタテインメント事業では、阪神甲子園球場において、来年8月の開場100周年に向けて、名作野球マンガ9作品とのコラボ企画など、様々な記念事業を展開しているほか、「KOSHIEN“eco”Challenge」を宣言し、ご来場いただくお客さまのご協力の下、環境保全活動に取り組んでいます。また、(株)阪神タイガース及び尼崎市とともに、

## 目次

社長挨拶	1
経営理念	2
経営の基本方針(ありたい姿)	3
長期ビジョン	4
TOPICS	6
2022年8月～2023年7月の主な動き	7
都市交通事業TOPICS	8
不動産事業TOPICS	10
スポーツ・エンタテインメント事業TOPICS	12
情報・通信事業TOPICS	13
ホテルTOPICS/その他TOPICS	14
都市交通事業	15
安全・安心な毎日の運行を支える体制	16
災害・事故に備える	18
お客さま・地域住民を守るために	19
全ての人が使いやすい鉄道に	22
より快適にお客さまにご利用いただくために	24
鉄道運行を支える施設・設備	28
便利でお得な切符・サービスの提供	32
環境に配慮した駅・車両	34
親しみを持っていただける鉄道	35
駅別乗降人員・駅所在地	36
輸送実績	38
運賃改定・混雑時の推移等	39
サービス・バリアフリー施設の整備状況	40
立体化	42
踏切道一覧	44
駅務機器等の設置状況	46
踏切道数等・信号保安設備・ATS	47
主な保線用機械・線路	48
主なグループ会社	49
不動産事業	51
不動産賃貸	52
環境への取組み	56
スポーツ・エンタテインメント事業	61
阪神甲子園球場～施設概要～	62
阪神甲子園球場～歴史と伝統、野球の聖地甲子園～	64
阪神甲子園球場～年譜～	66
阪神甲子園球場～環境への取組み～	67
甲子園歴史館	68
甲子園テニスクラブ	70
六甲山	71
主なグループ会社	73

情報・通信事業	75
情報サービス事業	76
放送・通信事業	79
ホテル事業	81
ホテル事業	82
建設・環境事業	83
建設・環境事業	84
魅力あふれる沿線へ	87
沿線活性化の取組み	88
サステナビリティの取組み	91
環境保全活動	91
子ども向けの取組み/社会貢献活動	92
コンプライアンス/リスク管理	93
資料：会社の概要等	94
資料：沿革・歴代社長・年譜	104
資料：事業所一覧・グループ会社等	123

### 付録

営業キロ程表・大人普通旅客運賃表・定期旅客運賃表・列車種別・停車駅

### 沿線活性化プロモーション活動を推進中

人が生きていくうえでなくてはならない“たいせつ”なものが凝縮されている阪神沿線の魅力を表すことば、「たいせつ」がギョッと。

阪神沿線に暮らす人々のゆるやかなつながりや、日々の暮らしで感じる心地よさを、“たいせつ”の象徴としてハートのモチーフにギョッと凝縮しました。

マルチカラーによる表現は、それぞれの駅や街が持つ様々な表情や、沿線の人々の明るい暮らしが重なり合うイキイキとしたイメージを伝えています。



“たいせつ”がギョッと。

プロモーションシンボル

注)「2023ハンドブック阪神」の内容については、特に日付けを明示しないものは、2023年3月31日現在のものです。

## 経営理念

### ● 経営理念

#### 使命 (Mission)

##### 私たちは何のために集い、何をめざすのか

「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすることで、お客様の喜びを実現し、社会に貢献します。

#### 価値観 (Values)

##### 私たちは何を大切に考えるのか

###### お客様原点

すべてはお客様のために。これが私たちの原点です。

###### 誠実

誠実であり続けることから、私たちへの信頼が生まれます。

###### 先見性・創造性

時代を先取りする精神と柔軟な発想が、新たな価値を創ります。

###### 人の尊重

事業にたずさわる一人ひとりが、かけがえのない財産です。

#### 行動規範 (Principles)

##### 「価値観」を守り、「使命」を果たしていくために、

##### 私たちはどのように行動するのか

私たちは、出会いを大切にし、お客様の立場に立って最善を尽くします。

私たちは、法令遵守はもとより、社会的責任を自覚して行動します。

私たちは、仕事に責任と誇りを持ち、迅速にやり遂げます。

私たちは、目先のことにとらわれず、中長期的な視点で考えます。

私たちは、現状に満足することなく、時代の先を見据えて取り組みます。

私たちは、思いやりの心を持ち、お互いを認め合います。

私たちは、活発にコミュニケーションを行い、風通しのよい職場をつくります。

私たちは、グループ全体の発展のために、力を合わせます。

(注) 2006年10月1日に策定された「阪急阪神ホールディングスグループ グループ経営理念」を当社の経営理念として共有しています。

## 経営の基本方針 (ありたい姿)

### ● 経営の基本方針 (ありたい姿)

#### 1 阪急阪神ホールディングスグループにおける阪神グループの役割

阪急阪神ホールディングスグループの基盤となる事業エリアである阪神間を中心に、阪神グループの各事業がグループ総合力を発揮し、その持続的な成長を図ります。併せて、サステナブル経営の推進にも取り組むことで、阪神グループの中長期的な発展と持続可能な社会の実現を両立し、阪急阪神ホールディングスグループの企業価値向上を図っていきます。

#### 2 3つのありたい姿

##### (1) 沿線の姿

阪神沿線は「住んでよかった街」、「働いてよかった街」、そして「訪れてよかった街」であり続けます。

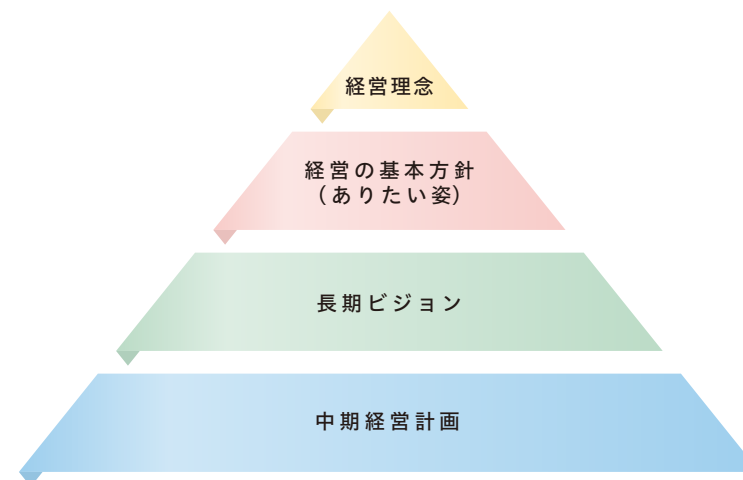
##### (2) 会社の姿

- 沿線で暮らすお客様に、事業を通じて利便と快適を提供し、社会に貢献していきます。
- 沿線を舞台にブランド・技術・ノウハウを培い、そこにとどまらず沿線外においても積極的に事業を展開していきます。
- 事業を通じて社員を育てることで、社員とともに成長していきます。

##### (3) 社員の姿

- 創業の精神に則り、変革と創造に挑戦する風土を形成していきます。
- 誠実と堅実に誇りを持ち、次世代に承継していきます。

#### 経営理念、経営の基本方針の位置付け





# 長期ビジョン

## ●スローガン

深める沿線 広げるフィールド

## ●3つのビジョンと戦略

**ビジョン1**  
魅力あふれる沿線の創造

良質な交通サービスや生活インフラを提供するとともに、エリアの特性に応じたまちづくりや賑わい創出を推進することで、「住みたい」、「働きたい」、「訪れたい」と思える、魅力あふれる沿線を創造し続ける。

**ビジョン2**  
ブランド価値経営の推進

グループビジョンの社内浸透を通じて、従業員のモチベーションを高めるとともに、お客様との全ての接点で“阪神らしい”提供価値を一貫して伝えることで、商品・サービスがお客様に選ばれ、各事業が競合に打ち勝ち、経済的価値・利益を生み続ける。

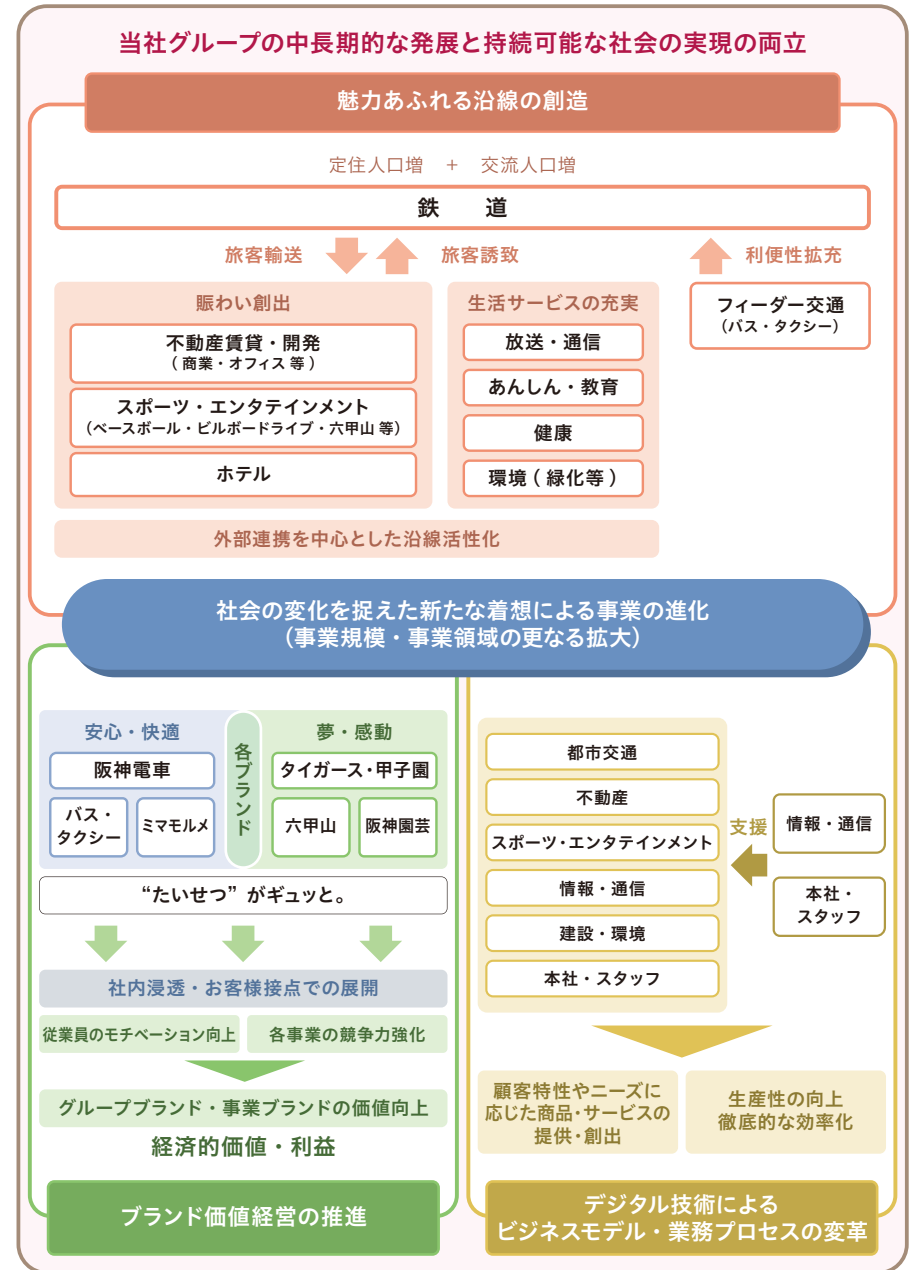
**ビジョン3**  
デジタル技術によるビジネスモデル・業務プロセスの変革

デジタル技術を活用することで、事業活動で得られる様々なデータから顧客の潜在的なニーズを読み解いてそれに応じた商品・サービスを提供するとともに、業務プロセスを変革し生産性の向上や徹底的な効率化を推進する。

## ●経営管理指標（2030年度に財務面で目指す姿）[連結]

営業収益	2,500億円超
営業利益	400億円超
EBITDA	650億円超
有利子負債/EBITDA倍率	5倍未満
ROE	9%水準

## ●各ビジョンと事業との関連図





# TOPICS



## 2022年8月～2023年7月の主な動き

2022年	8月1日	阪神甲子園球場 100周年記念事業始動	
	8月26日	アイテック阪急阪神イノベーション投資事業有限責任組合を設立	
	11月17日	プログラボのチームが国際ロボットコンテストの世界大会『WROドイツ大会』で4位入賞	
	12月14日	阪神タイガースのファーム施設が移転する尼崎市小田南公園について、『ゼロカーボンベースボールパーク』として整備・運営していくことが決定（2023年2月に二軍球場の名称を「日鉄鋼板 SGL スタジアム 尼崎」に決定）	
	12月17日	鉄道全線のダイヤ改正	
2023年	12月23日 ほか3日間	夜間有料臨時列車・らくやんライナーを運行（大阪梅田～青木間）	
	1月28日	大阪梅田駅 新2番線の供用開始	
	2月15日	ザ・リッツ・カールトン大阪が『フォアブス・トラベルガイド』2023年の「ホテル部門」において、五つ星を獲得	
	3月31日	尼崎市と当社が「中央公園及び周辺地域のさらなる魅力向上に向けた公園施設設備管理協定」を締結	
	4月1日	鉄道全線（神戸高速線を除く。）で鉄道駅バリアフリー料金の収受開始	
	5月1日	阪神バス EV（電気）バスの運行開始	
	5月16日	「須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業」の新水族館名称を「神戸須磨シーワールド」に決定	
5月27日	大阪梅田駅 新3番線の供用開始		

## ● 駅改良工事の推進

### 梅田駅改良工事

大阪梅田駅では、お客さまにより快適で、安心してご利用いただけるよう、2015年3月から改良工事に着手しています。この工事では、従来の駅を北側(旧1番線ホーム側)に拡大したうえで、ホームを拡幅し、また、ホームにはホームドアを設置するとともに、西改札口側にもエレベーターやエスカレーターを設置し、バリアフリー化を図ります。2021年10月30日(土)に新1番線、2023年1月28日(土)に新2番線、同年5月27日(土)に新3番線の供用をそれぞれ開始し、現在は廃止した旧3番線でホーム拡幅工事を行っています。



## ● 高架化工事等の推進

沿線各都市の都市計画事業として、踏切の立体交差化(高架化又は地下化)を進め、交通渋滞の緩和と列車運行の安全性向上に努めています。

立体化率は本線で95%、阪神なんば線で90%、神戸高速線では100%と、非常に高い水準を誇っています。現在も阪神なんば線出来島駅～千鳥橋駅間で高架化工事を進めており、この工事が完了すれば、阪神なんば線の立体化率が100%になります。



青木駅

### 本線住吉・芦屋間連続立体交差化工事を施工

神戸市の都市計画事業として、1991年度に事業認可を受け、工事を施工しています。

2015年12月に高架下り線に切り替え、2019年11月に高架上り線に切り替えて、現在は高架下の残工事や、神戸市による側道等の整備工事を行っています。

施工延長	4,015m
除却する踏切道	11 か所
高架化された駅	青木駅・深江駅
事業期間	1991 年度～ 2025 年度

## 阪神なんば線淀川橋梁改築工事を施工

国土交通省の河川改修事業と大阪市の立体交差事業として、2018年12月から工事を施工しています。阪神なんば線淀川橋梁は、両端の線路部分が堤防の高さより低く、高潮時等には防潮鉄扉を閉鎖するなどの対応が必要ですが、今回の改築事業によって、淀川橋梁を架け替えることで、桁下高を上げ防潮鉄扉を廃止するとともに、橋脚を減らし、洪水や高潮等の被害の防止を図ります。また、同時に、都市計画道路福町十三線と線路の立体交差化も行います。

施工延長	約 2,400m
除去する踏切	5 か所
高架化する駅	福駅・伝法駅
事業期間	2018 年度 ～ 2032 年度



## ● バリアフリー施設(ホーム柵等)の整備推進

お客さまにより安全に電車をご利用いただくため、当社線的全駅へのホーム柵(可動式又は固定式)の整備を推進しています。

このホーム柵整備をはじめとしたバリアフリー施設の設置・更新・維持管理を着実かつスピード感を持って進めるため、国の「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用することとし、2023年4月1日(土)から同料金の収受を開始しました。

## ● サステナブル経営の推進

### EV(電気)バスを導入

阪神バス(株)では、環境負荷が低い公共交通機関の重要性が高まっていることを受けて、2023年5月1日(月)から一般路線(阪神線)において、兵庫県内の乗合路線では初となるEV(電気)バス(2両)の運行を開始しました。今後も、公共交通機関として環境に配慮し、安全で安定した輸送サービスの持続的な提供に努めていきます。





## 尼崎駅前 中央公園のリニューアルに着手

当社と尼崎市は、公園を中心とした新たな地域の魅力創出や活性化を目的として、2023年3月31日付で「中央公園及び周辺地域のさらなる魅力向上に向けた公園施設設備管理協定」を締結し、阪急阪神不動産(株)とともに、尼崎市の中央公園のリニューアルに着手することとなりました。

「都市再生特別措置法」に規定された都市公園リノベーション協定制度※を用い、多様な場面で活用できる公園を整備する計画で、2024年4月着工、2025年3月頃の完成を目指しています。なお、同制度を活用した公園整備は関西初となります。

具体的には、芝生広場やベンチの設置による日常的な憩いの場の提供や、滞在快適性等向上公園施設(飲食店など)の設置により利便性・滞在性の向上を図るほか、様々なイベントにも利用可能な交流空間を形成します。また、2023年度から、当社を代表とする共同企業体が、中央公園や尼崎城等、尼崎駅周辺に集積する公共施設の管理や運営を担う等、当社と尼崎市が連携・協力したまちづくりを進めています。

今後も、中央公園のリニューアルによる新たなイメージの発信と、公共施設の包括管理による既存の地域資源を活用したにぎわいの創出を一体的に進めて、尼崎市の玄関口の一つである尼崎駅周辺の都市再生を官民連携で推進していきます。

※市町村が「都市再生整備計画」に定める「滞在快適性等向上区域」内の都市公園において、民間事業者やまちづくり団体などが「居心地が良く歩きたくなる」まちなか形成の一環として、公園内に飲食店などをつくり、併せて園路や広場をリノベーションする場合に適用される、飲食店などの設置管理許可期間や建ぺい率に關する特例を付与する制度



公園全体イメージ

## 東灘高架下の活用を開始

当社と阪急阪神不動産(株)では、阪神本線住吉・芦屋間連続立体交差事業によって新たに誕生した、本線魚崎駅・芦屋駅間の東西約3.5 kmにわたる高架下空間(東灘高架下)の活用を開始し、2023年3月、東灘高架下に位置する深江駅の1階に、ドラッグストア「ココカラファイン阪神深江駅店」をオープンしました。

また、今後東灘高架下の活用を順次進めるに当たり、この空間をイメージしたロゴマークを策定しました。東灘高架下の様々な場面で本ロゴマークを展開することにより、一連の高架下施設の認知度を高め、親しみを持っていただき、地域の魅力向上につなげていきます。

### ■東灘高架下ロゴマーク



東灘高架下を構成する4つの駅(魚崎、青木、深江、芦屋)が高架でつながり、その内、中央2つの青木駅・深江駅とその前後は高架となって上に上がったこと、そして東灘高架下が位置する神戸の特徴である山や海をイメージしました。



## 「須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業」

(株)サンケイビルを代表企業とし、当社ほか6社を構成員とする神戸須磨Parks + Resorts共同事業体は、2022年1月、Park-PFI制度を用いて、須磨海浜水族園・海浜公園を園地、水族館、宿泊施設、にぎわい施設、駐車場で構成される新たな施設に再整備する事業の建設工事に着手し、2024年6月の全体開業を目指して事業を推進しています。

再整備に当たり、「地域コミュニティと観光客が交流する“つながる”海浜リゾートパークの実現」をテーマに掲げ、神戸市民の方々をはじめ皆さまに愛される公園の利便性・快適性を高める「コミュニティ・パーク」と観光客誘致を目指す「デスティネーションリゾート」を調和させ、多様なつながりと交流を生むような場所と仕組み作りに取り組んでおり、2023年9月には、須磨海浜公園の一部において「にぎわい施設」の開業を予定しています。



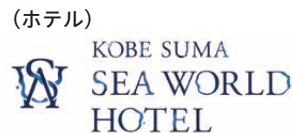
### ■ロゴマーク



「須磨海浜公園」のイメージをわかりやすく表現するため、公園の風景を構成する4色(松林・砂浜・海・空)を用いたロゴデザインを新たに作成しました。



海の生物をモチーフとした新書体を制作し、メッセージとしても発信できる仕組みを作り、他の施設とは一線を画した独自性を表現しました。



海や水の流れるイメージを大切にしたい新書体を活用しました。

### ■事業の概要

事業名称	須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業				
所在地	兵庫県神戸市須磨区若宮町一丁目、須磨浦通一丁目				
敷地面積	開発区域：約 101,900㎡ (公園全体：約 139,000㎡)				
交通アクセス	JR「須磨海浜公園」駅より徒歩5分、山陽電鉄「月見山」駅より徒歩10分				
用途	園地	水族館	宿泊施設	にぎわい施設	駐車場
開業予定	2023年9月 (一部先行開業)	2024年6月		2023年9月	2023年5月 (一部先行開業)
設計	＜園地、宿泊施設、にぎわい施設、駐車場＞ 浅井謙建築研究所(株) ＜水族館＞ (株)竹中工務店				
施工	＜園地、水族館＞ (株)竹中工務店 ＜宿泊施設、駐車場＞ (株)鴻池組 ＜にぎわい施設＞ 前川建設(株)				



阪神タイガースファーム施設を「ゼロカーボンベースボールパーク」として整備・運営していくことを決定

尼崎市・小田南公園に移転する阪神タイガースのファーム施設について、当社、(株)阪神タイガース及び尼崎市は、2022年12月に同施設を太陽光発電・蓄電池の導入や廃棄物発電の活用、省エネの徹底による「脱炭素化」をはじめ、ペットボトル・プラスチックカップの回収・リサイクルや雨水・井水の活用といった環境に優しい取り組みを行う「ゼロカーボンベースボールパーク」として整備・運用していくことを決定し、2023年2月には日鉄鋼板(株)及び(株)熊谷組がゼロカーボンベースボールパークパートナーとなることに合意しました。これに伴い、野球場名は「日鉄鋼板 SGL スタジアム 尼崎」と決定しました。また、同年5月に同公園において起工式を開催しました。



ゼロカーボンベースボールパーク エスリーエール 日鉄鋼板 SGL スタジアム 尼崎

大阪市立小中学校等全405校(児童数14万人)に「欠席連絡等アプリ」を一括導入

(株)ミマモルメは、2023年4月、大阪市立小中学校及び義務教育学校の全405校に「欠席連絡等アプリケーションサービス」の提供を開始しました。

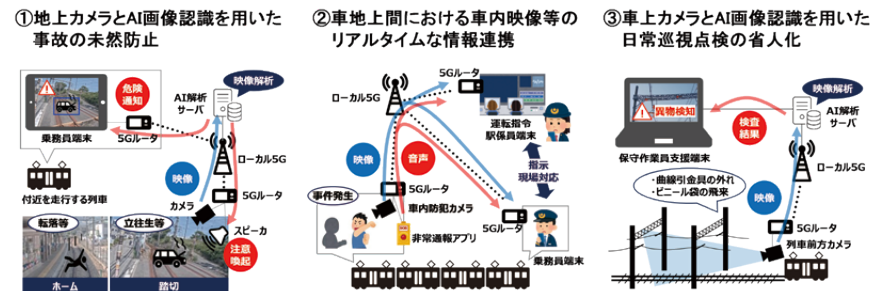
このサービスは、これまで教職員の業務負担に繋がっていた電話や連絡帳等を用いた毎日の欠席遅刻連絡を、ICTを活用して簡便に行えるようにするものです。保護者が専用アプリ等を用いてお子さまの欠席遅刻情報や体温等を学校へ連絡することで、学校はWEB上の管理画面から欠席遅刻等の確認ができるようになり、保護者の利便性向上と教職員の業務負担軽減が図られています。

本線におけるローカル5G等を活用した実証実験を実施

当社とアイテック阪急阪神(株)、阪神ケーブルエンジニアリング(株)及び日本電気(株)、鉄道事業のより安全・安心かつ効率的な運営の実現を目指し、本線において、ローカル5G及びAI画像認識等を活用した実証実験を2023年1月～2月に実施しました。

本実験は、総務省「令和4年度 課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証(特殊な環境における実証事業)」の一環となります。

■実証実験イメージ図



## ホテル TOPICS

㈱阪神ホテルシステムズが経営する「ザ・リッツ・カールトン大阪」は、2023年2月15日(水)、世界中のラグジュアリーホテルの施設を格付け評価する、世界で最も権威のある『フォーブス・トラベルガイド(※)』2023年の「ホテル部門」において、大阪のホテルで“初”そして“唯一”の最高評価である五つ星を獲得しました。

(※)米国のフォーブス社による、世界中のラグジュアリーホテル、レストラン、スパを対象とした唯一の世界的な格付けシステムで、「五つ星」、「四つ星」、「おすすめ」の3段階で評価・格付けを行っています。



## その他 TOPICS

### ● 阪神沿線活性化WEBサイト「エンカチ」開設

沿線の価値向上に向けた様々な取組みやイベントに関する情報発信と、新たな連携先の発掘を目的に、WEBサイト「エンカチ」(<https://hanshin-enkachi.com/>)を2023年3月に開設しました。

沿線価値創造推進室が関わるイベント情報や、各プロジェクトの概要、それぞれのプロジェクトで制作した冊子のデジタルアーカイブ、沿線活性化の活動と一緒に取り組んでいる連携パートナーなどを紹介しています。



# 都市交通事業

都市交通事業では、鉄道、バス、タクシーなどの都市交通輸送を担い、阪神間を中心に安全・快適で利便性の高い輸送サービスの提供に取り組んでいます。

このうち、鉄道事業では、本線・阪神なんば線・武庫川線・神戸高速線の4路線を51駅（他社との共同使用駅2駅を含む。）・48.9kmで営業しており、大阪の2大ターミナルである梅田・難波に乗り入れています。





# 安全・安心な毎日の運行を支える体制

## ●方針と目標

### 安全方針

当社では、鉄道事業の安全確保への取組みに関して、「安全方針」を定めています。

2006年に制定後、「携行カード」携行の義務化、各職場への掲示を行うなど、鉄道部門の社員への周知に努めています。2022年には携行カードを刷新し、従来の安全方針に“異常時における対応の手引き”を追加しました。

#### ●安全の最優先

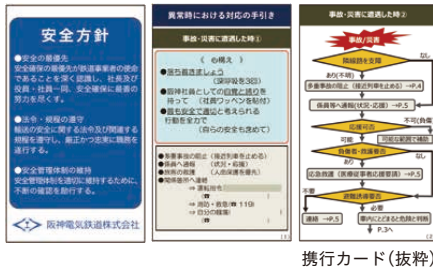
安全確保の最優先が鉄道事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同、安全確保に最善の努力を尽くす。

#### ●法令・規程の遵守

輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。

#### ●安全管理体制の維持

安全管理体制を適切に維持するために、不断の確認を励行する。



### 安全目標

当社では、「責任事故ゼロの継続」を安全目標として定めており、1985年4月以降、責任事故皆無を継続しています。

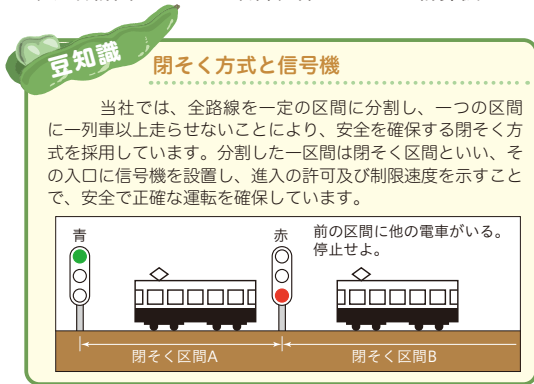
## ●安全運行を支えるハード面での整備

### PTCによる運行管理

PTC (Programmed Traffic Control)とは、コンピューターを使った列車運行管理システムのことで、コンピューターに記憶された全列車の全駅における情報(出発時刻、番線、行先、会社種別、車両種別等)に基づいて、信号の表示やポイントの切替えから、プラットフォームにおける案内表示や放送までの全てが自動的に行われるシステムとなっています。

2006年2月に更新した現在のシステムは、運行計画をベースに制御、管理するPTC計算機を3重系とし、ダイヤ乱れ時などにダイヤ

グラムを変更したり、信号機を手動で制御する運行操作卓を5卓(1卓につき3面のディスプレイ)配置するシステム構成となっています。また、運行計画管理・自動進路制御・運行監視・ダイヤ変更・運転整理・運行記録・システム状態監視などの機能強化を図ったほか、訓練シミュレーションを行うことができる機能があります。



### 自動列車停止装置(ATS)の整備

自動列車停止装置(ATS)は、列車が信号機の現示等に基づいた制限速度以上で走行した場合、自動的にブレーキがかかり、減速・停止させる安全装置です。

当社では、速度の制限を5段階に分け、制限速度と列車速度を連続的に照合するシステムを採用し、全線に整備しています。

## ●安全運行を支えるソフト面での体制

### 線路の保守・点検

レールについては、定期的に更換等を行い、常に健全な状態を維持しています。また、日々の巡視のほか、軌道検測車による軌道変位の検測、列車動揺の検測等の軌道検査を定期的の実施しています。なお、検測したデータとレール、まくら木等の敷設状況を総合的に把握できる「軌道総管理システム」を運用しています。



### 車両の検査

車両の安全を保つため、定期的に尼崎車庫・工場で検査を実施しています。具体的には、電車の各部の状態及び性能を検査する列車検査(10日を超えない期間ごと)、状態・機能検査(3か月を超えない期間ごと)のほか、動力発生装置・走行装置・ブレーキ装置等について行う重要部検査(4年又は60万kmを超えない期間のいずれかが短い期間ごと)、全般検査(8年を超えない期間ごと)を行っています。



### 運転士・車掌・駅係員の養成

運転士・車掌は、所定の経験を積んだ社員から社内登用試験によって選抜しています。教習所において、座学や、運転シミュレーターを用いた学科教育を行った後、営業列車において指導員が添乗の下、操業する技能講習を経て、試験に合格すれば、運転士・車掌に任用されます。また、駅係員の養成では、券売機や自動改札機等の実際に使用する機器を用いた研修を実施し、迅速かつ丁寧な接客を行えるよう指導しています。



### 服務規律

乗務員の出勤点呼では、アルコールチェックなどの健康状態の確認や、安全綱領の唱和、当日の運行に関する注意事項の確認等を行っており、安全な運行に対する準備を行っています。





## 災害・事故に備える

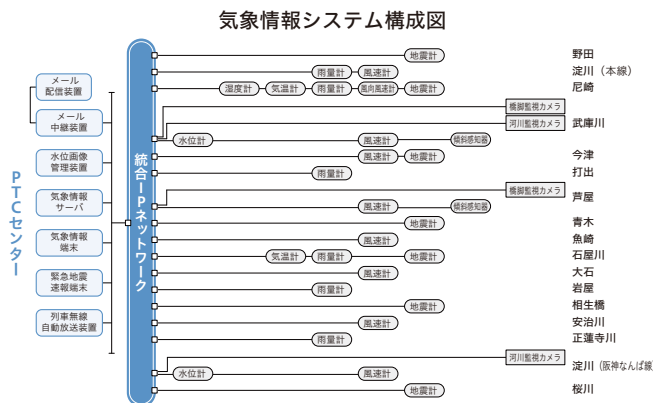
### ●システム整備

#### 気象情報システムによる運行管理

気象観測計器を沿線に設置し、地震、雨量、風速、河川水位等の観測データを監視しています。観測データは運転指令室に集められ、規定値を超えた場合は、警報を鳴らして指令員に知らせることにより、運転規制の判断に活用しています。

震度4以上の地震を地震計で感知した場合又は緊急地震速報受信端末で予測した場合には、即座に列車無線を通じて運行中の各列車に非常停止指令の放送を自動的に行う機能を有しています。

2016年には運転指令室、本社等でリアルタイムに河川状況を確認できるよう、河川監視カメラを新設、2019年には2018年6月の大阪北部地震を踏まえて地震計を4か所増設(計7か所)、2020年3月には河川増水に備え、橋脚の傾斜感知器及び橋脚監視カメラを新設しています。



### ●施設改良

#### 駅・高架橋・トンネルなどの耐震補強の実施

耐震性の確保を目的として、高架橋柱の耐震補強工事を計画的に実施しています。

2022年度は、住吉駅、野田駅等の耐震補強工事を実施しました。

### ●その他の取組み

#### 避難地図・避難梯子などの整備

津波発生時に、お客さまが安全に避難できるよう、各駅に掲出している駅周辺地図に、津波避難場所を明記しています。

また、阪神なんば線の新淀川橋梁上では、災害時、橋梁上に停止した列車からお客さまの避難誘導を円滑に行うため、列車から線路へ降りるための梯子を設置しているほか、橋梁上での避難方向と距離が分かるように距離標を設置しています。



距離標

#### 災害や事故に備えた訓練の実施

本部内の全部署が参加し、旅客対応や脱線復旧、軌道・架線補修などを連携して行う「列車事故総合対応訓練」を実施しています。また、各部においても自然災害や事故を想定した訓練を実施しています。



列車事故総合対応訓練

## お客さま・地域住民を守るために

### ●ホーム・踏切の安全対策

#### ITV(車掌確認用モニター)

曲線ホームなど、車掌がお客さまの乗降を確認しにくいホームに設置しています。



ITV

#### 転落防止柵の設置

ホームからの転落防止対策と列車との接触防止対策として、大阪梅田駅、御影駅(2番線側のプラットホーム)、神戸三宮駅、高速神戸駅、武庫川線武庫川駅の列車が止まらない箇所転落防止柵を設置しています。



神戸三宮駅転落防止柵

#### 内方線

視覚障がい者をはじめとするお客さまのホームからの転落を防止するため、全駅の点状ブロックに内方線(ホームの内方側に認識できる線状のブロック)を併設しています。



内方線付きJIS規格ブロック

#### 発光式列車接近表示器

神戸三宮駅及び甲子園駅(降車専用ホームを除く。)の各ホームでは、ホームからの転落防止対策及び列車との接触防止対策として、ホーム床面の光で、列車の接近・発車をお知らせするLEDによる発光式の列車接近表示器を設置しています。



ホーム床面発光式列車接近表示器

#### 待避用ホームステップ

ホーム下等への避難が困難な箇所において、お客さまがホームから転落した場合に、速やかにホーム上へ待避できるよう一定間隔で待避用ホームステップを取り付けています。



待避用ホームステップ

#### 非常通報装置・非常停止ボタン

軌道内に敷設した検知マットや、ホーム上の非常停止ボタンにより、乗務員・駅係員にお客さまの転落などの異常を知らせて、事故を防止するようにしています。非常停止ボタンは、全線全駅的全ホームに設置済みです。

また、列車が発発する際の異常を乗務員に伝えるための進行方向のホーム端部への表示灯増設が2019年11月に完了しました。

## 踏切障害物検知装置と踏切支障報知装置(非常ボタン)の設置、踏切支障ATSの整備

車が通行する踏切には全て踏切障害物検知装置を設置しています。この装置は、光を発する発光器とそれを受ける受光器、運転士に異常を知らせる発光信号器などで構成されています。踏切内の障害物により、光線が4秒以上遮断された場合や遮断棒が完全に降下しない場合に、踏切手前の発光信号器が点灯し、運転士に異常を知らせます。



発光信号器



発光器・受光器

踏切支障報知装置(非常ボタン)は、営業路線の踏切(21か所)全てに設置しています。

また、本線、阪神なんば線の踏切(14か所)で異常が発生した際に、列車のブレーキを自動的に動作させ減速させる踏切支障ATSを整備し、2023年3月から運用を開始しています。これにより、踏切道の更なる安全性の向上を図っています。

## 運転指令室への警報の移報と列車向け自動音声通告システムの運用

ホームでの非常通報装置や踏切道での踏切支障報知装置の動作時において、運転指令室へ警報を移報するとともに、列車無線により列車に対し自動音声通告を行うシステムを構築し、2018年6月から運用を開始しています。これにより、ホーム及び踏切道での異常発生時に各列車への迅速な注意喚起を行うことができ、更なる安全性の向上を図っています。

## 列車種類選別装置の設置(遮断時分の適正化)

列車の安全運行と踏切道を通行する人や車の安全を確保できるよう、全踏切に列車種類選別装置を設置しています。これにより、全ての踏切において遮断時分を適正に制御しています。



車上子



列車種別情報



地上子



列車種別情報



踏切道

運転士が運転台に設置された設定器で列車種別を設定すると、その情報は車上子(車上アンテナ)に伝えられます。

地上子(地上アンテナ)から電波を車上子に当て、その反射により地上の識別装置が列車種別を識別します。

識別された列車種類に応じて、遮断開始のタイミングを変えています。

### 豆知識

#### 「列車種類選別装置」のこんな使い道

列車種類選別装置は、駅の誤通過防止にも役立っています。本線・阪神なんば線では、この装置の情報(神戸高速線ではPTCのダイヤ情報)を利用して、停止列車が駅に接近してくると列選S標が点滅し、それに連動したATSにより列車の入駅速度が制限されます。これにより、停車駅にもかかわらず、駅を通過させるという人為的なミスを防いでいます。

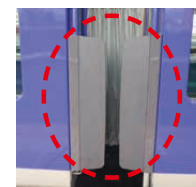


列選S標

## ●車両の安全対策

### 転落防止ぼろ・転落防止放送装置の設置

お客さまがホームから車両の連結間へ転落する事故を防止するため、ゴム製の外ぼろを、先頭部同士の連結間を除く全ての車両に設置しています。なお、車両の連結・解放を行う先頭部同士の連結部(1000系車両)には、音声で注意を促す転落防止放送装置を設置しています。



転落防止ぼろ

### 非常通報装置・非常通話装置の設置

車内には、非常事態が発生した場合に、乗務員に通報することができるよう、非常通報装置を設置しているほか、インターホンタイプで乗務員との通話が可能な非常通話装置を設置しています(一部の車両を除く)。



### 運転士異常時列車停止装置の設置

運転士の体調が急変した場合など、不測の事態が発生した際にも安全を確保できるよう、列車走行中にハンドルのスイッチから手が離れると、自動的に非常ブレーキがかかる装置を全運転台に設置しています。



## COLUMN

### 阪神なんば線淀川橋梁改築事業

淀川に架かる阪神なんば線淀川橋梁について、激甚化する自然災害に備えるため、2018年から、現在の高さから約7mかさ上げした新しい橋梁を建設しており、2032年の完成を目指しています。

また、新しい橋梁の両端に位置する阪神なんば線の福駅と伝法駅も高架駅とし、全長約2.4kmを高架化します。

この改築事業の内容や意図、工事の様子を、工事を担当する社員のインタビュー動画も交えて紹介する特設WEBサイトを開設しています。

<紹介ページのURL>

<https://www.hanshin.co.jp/safety/yodogawa-k/>



行先は、  
安全・安心な  
未来です!

15年かけて取り組む  
阪神なんば線  
淀川橋梁改築事業



阪神なんば線淀川橋梁改築事業 WEBサイト公開中



## 全ての人使いやすい鉄道に

### ● 駅のサービス施設

#### 券売機

1962年、梅田駅に初めて導入。現在は東鳴尾・洲先駅を除く全ての駅に設置しています。

また、2008年からICカードへのチャージや音声案内に対応した券売機を順次設置し、2009年に東鳴尾・洲先駅を除く全駅(阪神線)への設置を完了しました。

#### 自動定期券発売機

継続して同一区間の定期券を購入するお客さまに、申込書なしで発売できる自動定期券発売機を、1992年に梅田駅に初めて導入しました。また、2003年以降、新規定期券も購入可能なタイプのものを、梅田、尼崎、甲子園、三宮、西九条駅に設置し、2008年からICカードによる購入、2009年からクレジットカードによる購入も可能としました。現在は野田、芦屋、魚崎、大阪難波、新開地を加えた合計10駅に設置しています(なお、2022年3月14日をもって磁気定期券の発売を終了しました。)

#### 改札機

1972年、尼崎駅に初めて導入し、2005年にはICカードに対応した改札機を全駅(東鳴尾、洲先駅はIC専用簡易改札機)に設置しました。

また、1996年に通路の幅が900mm(通常550mm)の車いす対応改札機を姫島駅に関西で初めて導入し、2023年3月末現在で48駅に72台を設置しています。



車いす対応改札機

#### 精算機

1996年3月のストアードフェアシステム導入に伴い、東鳴尾・洲先駅を除く全ての駅に設置しています。2009年からICカードへのチャージに対応した精算機を設置しています。

#### 待合室

駅で電車を待つ間、快適に過ごしていただけるよう、冷暖房を完備した待合室の設置を進めており、2023年3月末現在で27駅に55室を設置しています。



待合室

#### デジタルサイネージ

サービス向上のため、デジタルサイネージを2013年3月に三宮駅に、2014年5月に梅田駅と甲子園駅に設置しています。



大阪梅田駅 SIGHT



神戸三宮駅デジタルサイネージ

### ● バリアフリーの取組み

#### 駅のバリアフリー化

障がいのあるお客さまや、小さいお子さまを連れのお客さまもご利用しやすいよう、駅へのエレベーターの設置や、多機能トイレの整備を積極的に進めています。このほかにも、点字等で駅構内図を表示する触知図式案内板、階段や触知図の位置を音で知らせる誘導チャイム、点字運賃表等の整備も進めています。



深江駅

#### 車両のバリアフリー化

##### 車いす・ベビーカースペース

全編成に設置しており、原則として、先頭車・最後尾以外の中間車両の神戸寄りの扉横に設けています。8000系(一部)、1000系、5500系、5550系、5700系では、編成の全車両に設置しています。



車いす・ベビーカースペース

##### 扉開閉予告ブザー・扉開閉予告灯・誘導鈴

扉事故を防止するため、扉の開閉時に警告音が鳴る扉開閉予告ブザーを採用しています。2023年3月末現在、一部の普通用車両を除く342両に設置しています。

なお、8000系(一部)、1000系、5500系、5550系、5700系にはブザーと同時に点滅するLED式の扉開閉予告灯及び目の不自由な方に扉の位置をチャイム音で知らせる誘導鈴を併せて設置し、2023年3月末現在、240両に設置しています。

##### 車内案内表示装置

視覚的に情報を提供するため、扉の上部(1両当たり3か所)に、車内案内表示装置を設置しています。列車種別、停車駅、営業案内などの文字情報を表示するもので、2023年3月末現在、342両に設置しています。



車内案内表示装置(5700系)

なお、5700系及び5500系では、32インチハーフサイズの液晶式のフルカラー式の表示器を設置し、停車駅・乗換案内・運行状況などの情報を、イラストや大きな文字を用いて分かりやすく表示できるようにしているほか、4か国語(日・英・中・韓)対応もしています。

##### 車内乗車位置表示板

扉の内側に凸形記号及び点字により「号車・扉番号」を表示する車内乗車位置表示板を設置しています。2023年3月末現在、8000系、9300系、5001形、5500系(一部)、5550系、5700系の224両に設置しています。



車内乗車位置表示板



## より快適にお客さまにご利用いただくために

### ●CS向上に向けた取組み

#### 阪神電車サービスセンター

2013年3月に神戸三宮駅に、2015年8月に甲子園駅に、2018年8月に西宮駅にそれぞれ開設しました。ここでは、沿線や周辺の観光案内など、お客さまのニーズに応じた幅広いサービスを行っています。また、神戸三宮駅及び西宮駅のサービスセンターにおいて、英語力のあるスタッフの常駐化やタブレット端末を利用した韓国語及び中国語の通訳サービスを行うことで、インバウンドの受入体制を強化しています。



阪神電車サービスセンター  
(神戸三宮駅)

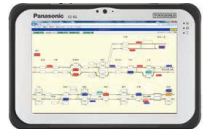
#### 情報案内ディスプレイ・案内検索端末・タブレット端末

お客さまへの情報提供を充実させるため、駅の改札口に情報案内ディスプレイ及び案内検索端末を設置しています。ここでは、列車の運行状況を文字情報や路線図等を組み合わせて分かりやすく表示するなど、お客さまに的確かつ迅速に情報を提供できるようにしています。2023年3月末現在、情報案内ディスプレイは28駅に、案内検索端末は25駅に設置しています。

また、ダイヤの乱れなどが発生した際の運行情報のご案内について、従来、駅係員や乗務員は列車無線等からの情報を確認していましたが、運行情報を受信できるタブレット端末を配備し、お客さまに迅速で正確な案内が可能になりました。



情報案内ディスプレイ



タブレット端末



案内検索端末

#### 全駅係員・全乗務員がサービス介助士の資格を取得

当社では、高齢者や障がい者のお客さまに少しでもお役に立てるよう、サービス介助士の資格取得を推奨しており、鉄道事業に従事する全ての駅係員と乗務員が、サービス介助士を取得しています。



#### 地下トンネル区間における携帯電話サービス

2016年10月、本線岩屋～神戸高速線西代間の地下トンネル区間での整備が完了し、これにより全線での携帯電話サービスの利用が可能となりました。

#### トイレの改良

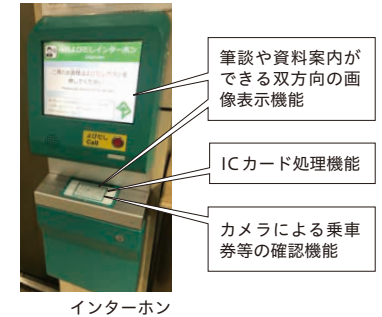
男女トイレ共に洋式便座(温水洗浄便座付き)への改良を進めているほか、水石鹸・便座クリーナーを設置するなど、より快適にご利用いただける取組みを行っています。



西元町駅 トイレ内装(2019年度改良)

#### 改札口インターホンの改良

駅係員不在時にご利用いただいている改札口インターホンを改良し、従来の音声通話機能に加えて、カメラによる乗車券類の確認機能、ICカード処理機能、筆談や資料案内ができる双方向の画像表示機能を新たに搭載しています。



筆談や資料案内ができる双方向の画像表示機能

ICカード処理機能

カメラによる乗車券等の確認機能

インターホン

#### 阪神アプリ

2018年3月、スマートフォン向けに運行情報などの情報提供を行う「阪神アプリ」の配信を開始しました。

阪神アプリでは、お客さまからのニーズが高かった運行情報のほか、列車走行位置、各駅における列車行先案内などの情報を提供しています。

また、運行異常時におけるプッシュ通知機能や、各駅の駅構内図、時刻表、ホーム出口案内を閲覧できる機能のほか、阪神バス・阪急バス・阪神タクシー・シェアサイクルなどの情報や、相互直通運転を行っている他社(近畿日本鉄道(株)・山陽電気鉄道(株))や乗り換え接続している他社(西日本旅客鉄道(株)・阪急電鉄(株)・南海電気鉄道(株))のアプリとも連携しています。

当社では、阪神アプリに加え、情報案内ディスプレイや車内案内表示器、タブレット端末(22ページ参照)などを活用し、お客さまに「正しく」「迅速に」情報提供できる体制の構築を図っています。



異常時運行情報

列車行先案内

列車走行位置

#### 全改札口に駅係員支援端末を配備

駅係員の業務を支援し、お客様への情報提供をより円滑に行うため、全有人改札口にタブレット型の駅係員支援端末を配備しています。列車の運行情報をリアルタイムに確認できることに加えて、地図案内や乗換案内、外国語翻訳、障がい者の方とのコミュニケーション支援などに利用できる各種アプリを導入しています。

また、従来は音声のみで行われていた各駅間での情報連携をチャットアプリを使用して行うことで、お客様への情報提供を正確かつ迅速に行うための体制を整えています。

## 公式SNSで運行情報を配信

2018年12月に運行情報専用の阪神電車公式SNSアカウントを開設し、列車の運行情報を配信しています。本アカウントでは、毎日7時及び17時に運行情報を定期配信することに加え、列車の遅れが発生した際には、適宜、運行情報を配信しています。



### COLUMN

#### 「阪神電車の高架下」のこんな取組み

##### ■ 阪神野菜栽培所

高架下スペースを活用した完全人工光型植物工場「阪神野菜栽培所」（2014年4月出荷開始）で、グリーンリーフ及びフリルレタス等を栽培し、「清らか野菜」として販売しています。

農薬を使わずに栽培し、雑菌の付着が少ないなど、安心して新鮮・長持ちな野菜を特徴としています。ここで栽培した野菜は、沿線のスーパーマーケットや百貨店などで販売されているほか、ホテル・レストランなどで食材としても利用されています。

##### 阪神野菜栽培所の概要

完成年月	2014年3月
形式	完全人工光型植物工場
住所	尼崎市水明町373番地の6 （「尼崎センタープール前」駅高架下）
建築面積	836㎡
生産能力	グリーンリーフ、フリルレタス等合わせて、 日産最大約1,500株



## ● インバウンドに向けた取組み

### 多言語自動放送を導入

車内での多言語放送は、2019年3月から訪日外国人のお客さまのご利用増加が顕著な阪神なんば線に導入し、2020年3月からは本線を運行する直通特急・特急（ともに阪神車両）、急行列車においても実施しています。通常時に加え、異常時における案内の一部も多言語化することにより、訪日外国人のお客さまへのサービス向上を図っています。また、プラットフォームでも2020年3月から順次、大阪梅田駅、尼崎駅、甲子園駅、神戸三宮駅、西九条駅、九条駅の6駅で通常時の多言語放送を開始しています。

[放送言語] 日本語、英語、（一部中国語、韓国語も放送）

### 翻訳アプリを搭載した端末を導入

訪日外国人のお客さまと駅係員のコミュニケーションツールとして、全有人改札口に翻訳アプリを搭載したタブレット端末を配備しており、一部の主要駅には翻訳専用端末を導入しています。音声認識技術による翻訳文をタブレットや端末画面に表示し、更に機械音声で文章を読み上げることで、駅での列車案内や観光案内のほか、お忘れ物のお問合せや異常時の案内にも幅広く対応できるようになりました。

### COLUMN

#### 台湾からの旅客誘致の取組み

##### ■ 台湾デー

阪神甲子園球場では、2014年に台湾で阪神甲子園球場を題材にした映画が流行した影響もあり、台湾からのインバウンド需要が高まっているため、2016年から阪神タイガース公式戦開催日に「台湾デー」を開催しています（2020～2022年は中止）。台湾デーでは、台湾人旅行者の観戦誘致を行うとともに当社沿線の魅力を発信する一方、日本人来場者には台湾の魅力を発信することで、相互の文化交流に繋がる取組みを行っています。



2023年台湾デーロゴ

##### ■ 桃園メトロとの連携協定

2019年1月に、沿線にプロ野球球団が本拠地とする野球場があり、観客輸送を行っているという共通点をきっかけに、日本台湾間の更なる相互送客の実現を目指して、台湾の桃園大衆捷運股份有限公司（桃園メトロ）と相互連携協定を締結しました。連携の一環として、2019年3月に阪神線で桃園メトロ沿線の特色をデザインしたラッピング列車の運行を開始したほか、同年5月には阪神線と桃園メトロ線の鉄道乗車券をセットした企画乗車券を発売するなど、お互いの沿線のPRに取り組んでいます。



桃園メトロ連携記念ラッピング列車の発



授与式

2020年2月には、台湾交通部観光局から、これらの施策による台湾への貢献が評価され、「2020台湾観光貢献賞」を授与されました。



# 鉄道運行を支える施設・設備

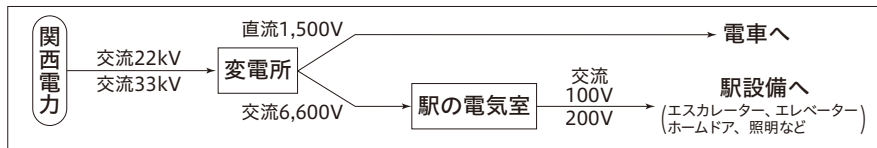
## ●電力関係設備

### 変電所

鉄道で使う電力は、電車を動かす運転用電力と、駅の照明、エスカレーター、信号機、ホームドア等に使う付帯電力に大別されます。当社は関西電力から交流22kV又は33kVの特別高圧を沿線7か所(淀川・大物・今津・青木・春日野道・相生橋・九条)の変電所で受電し、運転用電力の直流1,500Vと付帯電力の交流6,600Vに変換し、全線に電力を供給しています。

なお、変電所は全て無人で、尼崎にある電力指令所から遠隔制御を行っています。電力指令所は、安定した電力供給と迅速な事故対応が可能なように、コンピュータの機能をフルに生かした変電所集中管理システム(CSC)で運用しています。

### 電力供給の仕組み

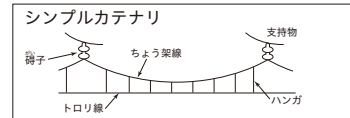


### 電路設備

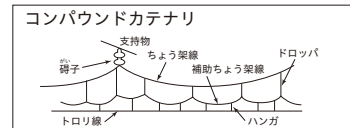
電線路の支持物は、ほとんどが門型の鉄柱ですが、最近は耐震性を考慮して鋼管柱を採用しています。また、電車に電気を送り込む電線路の架設方法は、シンプルカテナリ、コンパウンドカテナリ、剛体電線路の3種類を採用しています。

また、電線路の張替作業や点検作業の効率化のため、軌道専用の「架線作業車」と一般道・軌道両方を走行できる「軌道自動車」を導入し、電路設備の保全に活用しています。

#### (ちょう架方式)

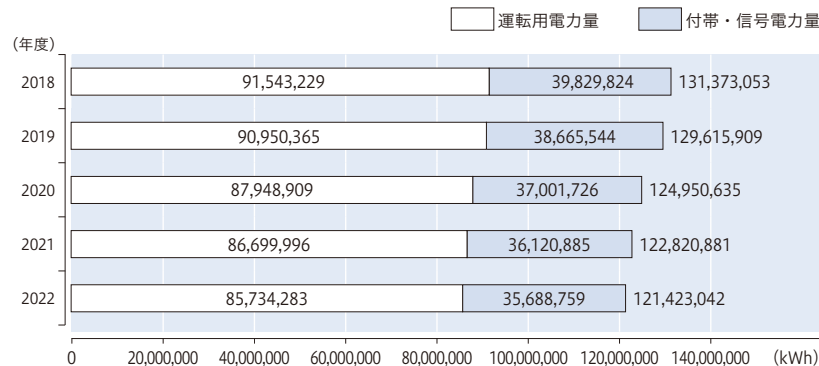


構造が比較的簡単のため、従来から一般的に採用されているちょう架方式



電流容量が大きいため、輸送量及び運転速度の高い線区に適するちょう架方式

### 電力消費量の推移



## ●車庫

### 尼崎車庫・工場

車両の検査・修繕等の作業は、全て尼崎車庫・工場で行っています。

### 石屋川車庫

日本で最初の検車庫付きの高架車庫として1968年から使用していましたが、1995年に発生した阪神・淡路大震災により全壊したため、同じく高架車庫として再建し、1996年3月から使用を開始しています。

名称	尼崎工場	尼崎車庫	石屋川車庫
住所	尼崎市北城内116番地		神戸市東灘区御影塚町4丁目11番1号
敷地面積 (㎡)	54,181		15,882 (高架部車庫面積 約12,900㎡)
収容能力 (両)	27	209	94
主な機械	工作機械、塗装装置、試験装置	車輪転削盤、車体洗浄機、試験装置	車体洗浄機

このほか、御影留置線(車両収容能力34両)があります。

## ●主な車両

### 1000系 急行用

阪神なんば線及び近鉄奈良線の走行にも対応した急行用車両です。車体をステンレス化して無塗装とすることで環境に配慮するとともに、鉄道車両としては先端技術であるレーザー溶接構体(ボディ)を採用して見付及び構体強度の向上を図っています。車体のシンボルカラーは、「ビバーチェオレンジ」を基調としています。また、この車両では、フルカラーLED式の行先・種別表示器を採用しています。更に、バリアフリー関連では、これまでの機器に加え、扉開閉予告灯及び誘導鈴を各出入口上部に設置しているほか、全車両に車椅子スペースを設置しています。



〔1201形〕定員:123人(うち座席44人)、最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm、自重:29.5t  
 運転性能:最高速度110km/h、加速度3.0km/h/s、減速度4.0km/h/s  
 ※中間車(1001形・1101形・1301形)定員133人(50座席)

### 9300系 急行用

中間車にセミクロスシートを備えた急行用車両。車体は、「プレストオレンジ」と「シルキーベージュ」のツートンカラーとしています。従来の車両に比べ消費電力が少なく、動作音も小さい省エネルギータイプのIGBT-VVVFインバータ制御装置を採用したほか、車内案内表示装置、非常通話装置、車いすスペース、扉開閉予告ブザー、転落防止ぼろ等を設置しています。



〔9501形〕定員:124人(うち座席48人)、最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm、自重:27t  
 運転性能:最高速度110km/h、加速度3.0km/h/s、減速度4.0km/h/s  
 ※中間車(9301形・9401形)定員131人(50座席)



## 9000系 急行用



(9201形) 定員:120人(うち座席46人)  
最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm  
自重:25t、運転性能:最高速度110km/h  
加速度:3.0km/h/s、減速度:4.0km/h/s  
※中間車(9000形・9101形)定員:132人(50座席)

## 8000系 急行用



(8201形) 定員:124人(うち座席48人)  
最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm  
自重:28t、運転性能:最高速度110km/h  
加速度:2.5km/h/s、減速度:4.0km/h/s  
※中間車:クロスシート 定員:130人(50座席)  
:ロングシート 定員:133人(50座席)

## 5500系 武庫川線ワンマン用



(5501形) 定員:127人(うち座席39人)  
最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm  
自重:34t、運転性能:最高速度110km/h  
加速度:4.0km/h/s、減速度:4.5km/h/s  
※5901形定員:125人(40座席)

## COLUMN

## ちょい乗りシート

立ち座り動作のお客さまの負担を軽減させたいとの思いから、従来の座面より30mm高くするなどの工夫したシート。  
5700系普通用車両の出入口付近に設置しています。



## 5700系 普通用

普通用車両としては、20年振りとなる新型車両で、鉄道友の会が選定する「2016年ブルーリボン賞」を受賞しました。ステンレス車体に、普通用車両の伝統を引き継いだ「カインドブルー」を配色しています。

永久磁石同期電動機を用いたVVVFインバータ制御の主回路システムやLED照明などを採用し、省エネルギー化を図っています。

また、吊り手・握り棒の増設や、お客さま自身の操作による扉開閉ボタンの設置など、より安全・快適な車内空間となるようにしています。更に、出入口上部に4か国語対応の32インチハーフサイズの液晶式の車内案内表示器を設置しています。



(5701形) 定員:124人(うち座席41人)、最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm、自重:34t  
運転性能:最高速度110km/h、加速度4.0km/h/s、減速度4.5km/h/s  
※中間車(5801形)定員:133人(45、46座席)

## 5500系 普通用

車体は、「アレグロブルー」と「シルキーグレイ」のツートンカラーとしています。当社で初めてGTO-VVVFインバータ制御装置を採用したほか、車内案内表示装置、非常通話装置、車椅子スペース、扉開閉予告ブザー等を設置しています。

また2016年度からリニューアル工事を実施し、5700系に準じたサービス・バリアフリー設備を設置するとともに、「ラピスブルー」を基調とした外観に一新しました。

(5501形) 定員:125人(うち座席46人)、最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,060mm、自重:34t  
運転性能:最高速度110km/h、加速度4.0km/h/s、減速度4.5km/h/s  
※中間車(5601形)定員133人(50座席)



▲リニューアル前

◀リニューアル後

## 5550系 普通用



(5551形) 定員:124人(うち座席46人)  
最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,085mm  
自重:35.5t、運転性能:最高速度110km/h  
加速度:4.0km/h/s、減速度:4.5km/h/s  
※中間車(5651形)定員:133人(50座席)

## 5001形 普通用



(5001形) 定員:131人(うち座席48人)  
最大寸法(長×幅×高):18,980×2,800×4,047mm  
自重:36.5t、運転性能:最高速度110km/h  
加速度:4.5km/h/s、減速度:5.0km/h/s  
※中間車定員:140人(50座席)

## 車両数・客車形式別一覧

## 車両数

	客車(両)	貨車・その他(両)
電動客車	193	制御電動貨車 2
制御電動客車	62	
制御客車	90	
付随客車	13	
計	358	計 2

## 客車形式別一覧

形式	両数(両)	製造年(年)
8000系	114	1984～1996
9000系	30	1996
9300系	18	2001～2003
1000系	96	2007～2012
5001形	16	1977～1981
5500系	36	1995～2000
5550系	4	2010
5700系	44	2015～

※2023.4.1現在

## 便利でお得な切符・サービスの提供

### ●多彩な乗車券を発売

#### 回数券

阪神線・神戸高速線ともに身体・知的障害者用特別割引回数券のみ発売しています。

券種	適用	回数	発売金額
普通回数券	大人・小児	11回	片道普通旅客運賃を10倍した額の5割引

※ 阪神線…このほか、神戸高速線、山陽電鉄線、神戸電鉄線との連絡回数券も発売しています。

※ 神戸高速線…このほか、阪神線、山陽電鉄線、神戸電鉄線、阪急電鉄線との連絡回数券も発売しています。

#### STACIA PiTaPa

カードを改札機にタッチするだけで通ることができ、物販端末設置店では電子マネーとしても利用できるPiTaPaシステム(※)対応のポストペイ(後払い)方式のICカードです。なお、ICカードには定期券の機能も付加することが可能です。

※ PiTaPaは、「Postpay IC for “Touch and Pay”」の略で、(株)スルッとKANSAIが運用するIC決済システムです。

また、グループ交通機関の乗継利用でポイントが貯まるサービス「エコ乗り」や、グループでの利用によるポイントサービス、沿線文化施設等での提示割引サービス等も実施しています。

利用回数割引	PiTaPaカードの利用月に、同一運賃区間の乗車回数が10回を超えた場合、その超えた乗車について、普通旅客運賃を10%割引くサービスを実施しています。
PiTaPa 定期サービス	PiTaPaカードに、磁気定期券同様の情報を搭載することにより、IC定期券としての利用が可能です。

#### ICOCA

JR西日本が発行するプリペイド(前払い)方式のICカードで、当社では2019年3月1日から発売を開始しました。事前にチャージ(入金)しておく、自動改札機にタッチすることでカード内の残額から運賃を引き去ります。また、ICOCAに定期券の機能を付加することも可能です。

阪神電車ポイント還元サービス	自動券売機において、ICOCAの利用登録を行うことで、1か月間(1日～末日)に同一運賃区間を11回以上乗車した場合、同一運賃区間ごとに11回目以降の乗車運賃合計額の10%分をポイントとして付与するサービスを実施しています。
----------------	---

#### 企画乗車券

他社との共同企画として、当社線と他社線との連絡割引乗車券などの企画乗車券を発売しています。

### ●定期券サービス

#### 阪急電鉄との定期券の相互利用サービスの実施

阪神線及び阪急電鉄線(いずれも神戸高速線を含みます。)の大阪梅田・神戸三宮間、神戸三宮・高速神戸間を含む定期券で、相手会社の特定の駅でも乗降ができるサービスを実施しています。

##### 1 大阪梅田・神戸三宮間(通勤定期券)

① 阪神大阪梅田・阪神神戸三宮間を含む通勤定期券

(乗降可能な駅) 阪急大阪梅田・阪急神戸三宮

② 阪急大阪梅田・阪急神戸三宮間を含む通勤定期券

(乗降可能な駅) 阪神大阪梅田・阪神神戸三宮

(注) いずれも、途中駅での乗降は、別途普通運賃が必要となります。

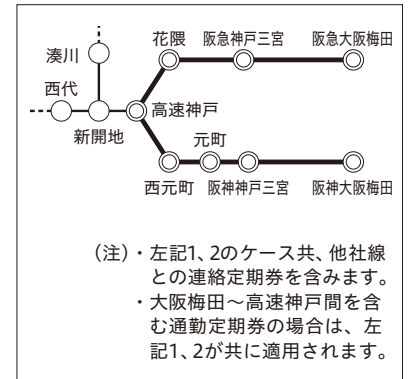
##### 2 神戸三宮・高速神戸間(通勤・IC通学定期券)

① 阪神神戸三宮・高速神戸間を含む通勤定期券及びIC通学定期券

(乗降可能な駅) 阪急神戸三宮・花隈

② 阪急神戸三宮・高速神戸間を含む通勤定期券及びIC通学定期券

(乗降可能な駅) 阪神神戸三宮・元町・西元町



#### 大阪梅田駅乗降サービス「OSAKAどっちも定期」

大物・九条間を含む通勤定期券で、大阪梅田でも乗降ができるサービスです。

(注) 定期有効区間外の本線途中駅での乗降は、別途普通運賃が必要となります。

#### 連絡IC定期券を拡充

2019年3月1日からのICOCA及びICOCA定期券の発売開始に伴い、従来から磁気定期券及びPiTaPaによるIC定期券を発売していた全ての連絡定期券(バスを除く。)が、ICOCA定期券として発売可能となりました。



## 環境に配慮した駅・車両

### ● 駅・車両での取組み

#### 大石駅での取組み

大石駅では、屋根に太陽光パネルを設置しており、同駅の使用電力量の30%に当たる年間123,000kWhが発電され、年間CO<sub>2</sub>排出量では43トンの削減効果があります。



大石駅の取組み

太陽光パネル

#### LED照明の導入

当社では、駅照明に省エネ性の高いLEDを積極的に導入しており、全駅でのLED照明の導入を順次進めています。

また車両の前照灯や室内灯においても、LED照明の導入を進めています。



神戸三宮駅

#### 回生ブレーキで発電される電力(回生電力)の有効活用

神戸三宮駅では、回生電力を駅舎の動力設備(昇降機、空調等)で使用できるようにする駅舎補助電源装置を設置しています。この装置により、年間140,000kWhの回生電力が有効活用され、年間CO<sub>2</sub>排出量では49トンの削減効果があります。

#### 電車のブレーキで発電

電車の減速時、走行用のモーターを発電機として動作させてブレーキに使用する「回生ブレーキ」を95%の車両で採用しています。これにより発電した電力は架線に送り返され、付近を走る車両で利用されています。

#### 豆知識

#### 車両に使われている省エネ装置

##### VVVFインバータ制御装置

走行用交流モーターの回転数や回転力を制御する装置。架線から取り入れた直流電力を変換装置であるインバータにより交流電力に変換し、更に車両の走行状態に応じてその電圧と周波数を変化させ、モーターの回転を効率よく制御します。保守の手間が少ない交流モーターを使用するため、省力化に役立つほか、省エネ性にも優れています。

### ● その他の取組み

#### ロングレール化

1本のレールの長さが200m以上のロングレールは継ぎ目がないため、振動や騒音が減り、乗り心地が良くなるほか、保線作業も軽減されます。なお、当社では本線のロングレール敷設可能区間においては、全ての区間で敷設しています。

#### 防振軌道の採用

コンクリート道床とまくら木の上にゴム製の弾性材を設置し、列車の走行に伴う振動の低減を図っています。



防振軌道の採用

## 親しみを持っていただける鉄道

### 「阪神電車まなび基地親子見学会」を開催

明治・大正時代に活躍した旧形車両などを活用し、2015年から「阪神電車まなび基地親子見学会」を定期的に開催しています。

阪神電車まなび基地では、運転士体験、踏切設備を用いた交通ルールの学習、野菜の成長過程の学習などを行っており、皆さまに地元の鉄道の存在をより身近に感じていただくことができます。



阪神電車まなび基地親子見学会

### 小学校へのお出前授業

沿線の子どもたちの社会学習に貢献するため、沿線の小学校で、駅長による出前授業を行っています。阪神電車の歴史や、電車の仕組み、鉄道利用時のマナー、鉄道の仕事などの説明を行っています。



出前授業

### 地域の学校と連携して乗車マナー啓発活動を実施

2015年から、武庫川女子大学附属中学校・高等学校と共同で、「はんしん×ムコジョ乗車マナー向上委員会」を立ち上げ、阪神電車における乗車マナーの向上に継続して取り組んでいます。啓発ポスターのディスプレイ表示や駅構内・車内への掲出、学生が録音した駅構内放送、ホームページや駅での啓発活動により、乗車マナーの向上を図るとともに地域とのつながりを深め、快適な駅・車内空間の実現に向け取り組んでいる活動です。



駅での啓発活動

# 駅別乗降人員・駅所在地

## 〈本線〉

(乗降人員は、2022年11月の1日平均)

順位	駅名	乗降人員			所在地	駅管区
		乗車(人)	降車(人)	合計(人)		
1	大阪梅田	73,468	71,296	144,764	大阪市北区梅田3丁目大阪駅前地下街6号(〒530-0001)	梅田 ☎(06) 6457-2267
31	福島	4,227	5,008	9,235	// 福島区福島5丁目8番10号	
9	野田	14,729	15,166	29,895	// // 海老江1丁目1番11号	
42	淀川	2,535	2,506	5,041	// // 海老江8丁目17番3号	
22	姫島	6,553	6,405	12,958	// 西淀川区姫里1丁目26番14号	
17	千船	7,467	7,333	14,800	// // 佃2丁目2番33号	尼崎 ☎(06) 6411-0281
36	杭瀬	3,844	3,883	7,727	尼崎市杭瀬本町1丁目1番1号	
39	大物	2,659	2,709	5,368	// 大物町2丁目1番1号	
5	尼崎	19,111	19,383	38,494	// 東御園町93番地(〒660-0000)	
26	出屋敷	5,365	5,306	10,671	// 竹谷町2丁目35	
34	尼崎センター プール前	4,194	4,207	8,401	// 水明町373の6	甲子園 ☎(0798) 48-1500
12	武庫川	12,570	12,544	25,114	// 大庄西町1丁目1番1号	
14	鳴尾・ 武庫川女子大前	10,805	10,869	21,674	西宮市里中町3丁目13番18号	
3	甲子園	25,807	25,839	51,646	// 甲子園七番町1番1号(〒663-8177)	
43	久寿川	2,024	1,901	3,925	// 今津曙町13番25号	
7	今津	16,261	16,403	32,664	// // 1番1号	御影 ☎(078) 851-2816
4	西宮	21,846	22,382	44,228	// 田中町1番16号	
25	香櫨園	5,492	5,230	10,722	// 松下町1番1号	
18	打出	7,260	7,104	14,364	芦屋市打出小槌町13番12号	
11	芦屋	13,045	13,001	26,046	// 公光町11番10号	
16	深江	8,344	8,338	16,682	神戸市東灘区深江北町4丁目1番8号	神戸 ☎(078) 221-1254
21	青木	6,868	6,674	13,542	// // 北青木3丁目2番1号	
10	魚崎	14,128	13,938	28,066	// // 魚崎中町4丁目7番1号	
44	住吉	1,169	1,175	2,344	// // 住吉宮町5丁目1番1号	
13	御影	11,647	12,103	23,750	// // 御影本町4丁目12番4号(〒658-0046)	
38	石屋川	3,254	3,160	6,414	// // 御影石町2丁目23番12号	新開地 ☎(078) 575-5061
28	新在家	5,121	4,984	10,105	// 灘区新在家北町1丁目4番1号	
33	大石	4,306	4,201	8,507	// // 船寺通1丁目4番2号	
41	西灘	2,540	2,520	5,060	// // 都通5丁目5番1号	
27	岩屋	5,143	5,108	10,251	神戸市灘区岩屋北町4丁目1番1号	
20	春日野道	7,129	6,706	13,835	// 中央区吾妻通1丁目1番131号	元町通過 (注1)
2	神戸三宮	49,693	49,244	98,937	// // 小野柄通8丁目1番8号(〒651-0088)	
15	元町	8,366	8,369	16,735	// // 元町通2丁目10番2号	
小計		414,262	413,767	828,029		

(注1)元町通過 乗車…西元町以西から乗車し、阪神線内の各駅(元町以外)で降車した人員  
降車…阪神線内の各駅(元町以外)で乗車し、西元町以西で降車した人員

## 〈阪神なんば線〉

順位	駅名	乗降人員			所在地	駅管区	
		乗車(人)	降車(人)	合計(人)			
	難波通過 <sup>(注2)</sup>	16,074	14,971	31,045			
8	大阪難波	14,724	15,679	30,403	大阪市中央区難波4丁目1番17号	尼崎 ☎(06) 6411-0281	
40	桜川	2,568	2,506	5,074	// 浪速区桜川3丁目8番3号		
30	ドーム前	4,650	4,938	9,588	// 西区千代崎3丁目北2番14号		
19	九条	6,925	7,161	14,086	// // 九条1丁目25番8号		
6	西九条	17,199	17,785	34,984	// 此花区西九条3丁目15番13号		
32	千鳥橋	4,280	4,274	8,554	// // 四貫島1丁目1番43号		
35	伝法	3,972	3,758	7,730	// // 伝法3丁目14番50号		
23	福	6,085	6,090	12,175	// 西淀川区福町2丁目3番28号		
29	出来島	4,928	4,851	9,779	// // 出来島1丁目13番6号		
45	大物	1,026	1,017	2,043	尼崎市大物町2丁目1番1号		
24	尼崎	5,598	5,668	11,266	// 東御園町93番地		
小計		88,029	88,698	176,727			

※大阪難波駅における乗降人員は、阪神なんば線分のみです。  
(注2)難波通過 乗車…近鉄日本橋以東から乗車し、阪神線内の各駅(大阪難波以外)で降車した人員  
降車…阪神線内の各駅(大阪難波以外)で乗車し、近鉄日本橋以東で降車した人員

## 〈武庫川線〉

順位	駅名	乗降人員			所在地	駅管区
		乗車(人)	降車(人)	合計(人)		
48	武庫川	171	150	321	西宮市武庫川町2番15号	尼崎 ☎(06) 6411-0281
46	東鳴尾	788	815	1,603	// 東鳴尾町1丁目7番12号	
47	洲先	826	716	1,542	// // 2丁目17番10号	
37	武庫川団地前	3,417	3,347	6,764	// 上田東町4番83号	
小計		5,202	5,028	10,230		
阪神線合計		507,493	507,493	1,014,986		

## 〈神戸高速線〉

駅名	乗降人員			所在地	駅管区
	乗車(人)	降車(人)	合計(人)		
元町	4,436	4,286	8,722		
西元町	2,230	2,081	4,311	神戸市中央区元町通6丁目7番11号	新開地 ☎(078) 575-5061
高速神戸	12,036	12,201	24,237	// // 多聞通3丁目3番13号	
新開地	11,376	10,389	21,765	// 兵庫区新開地2丁目3番Bの1号(〒652-0811)	
大開	2,498	2,359	4,857	// // 水木通7丁目1番Bの1号	
高速長田	7,418	7,074	14,492	// 長田区北町1丁目2番地先	
西代	2,391	2,281	4,672	// // 御屋敷通2丁目6番1号	
神戸高速線合計	42,385	40,671	83,056		

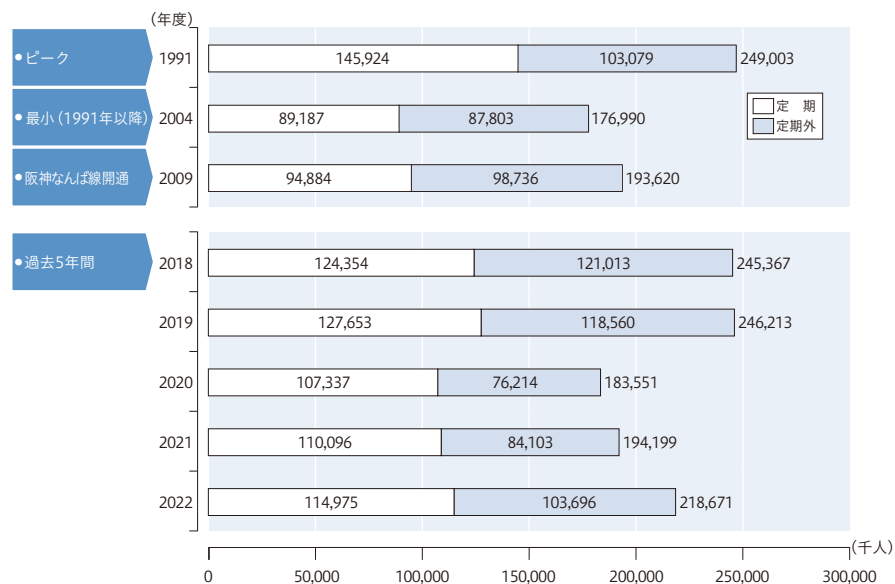
※元町駅・西代駅における乗降人員は、神戸高速線分のみです。  
乗降人員は、2022年11月の改札機データに基づく1日平均(元町駅を除く)  
ただし、元町駅については2022年11月実施の旅客交通調査日の改札機通過人員



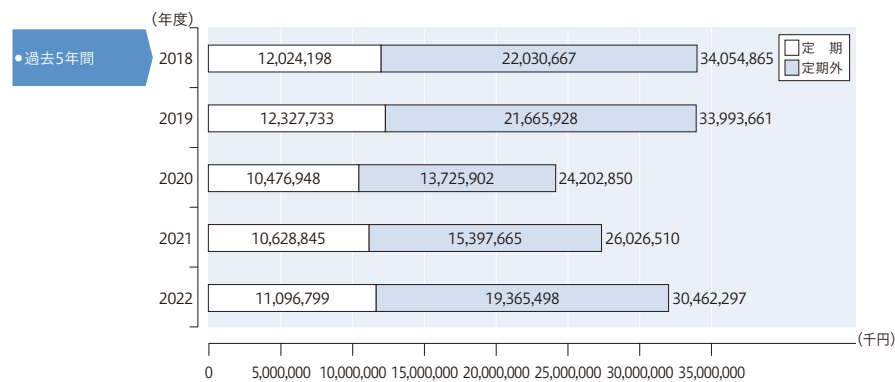
# 輸送実績

## 輸送実績

旅客輸送人員（第2種鉄道事業を含みます。）



旅客運輸収入（第2種鉄道事業を含みます。）



# 運賃改定・混雑時の推移等

## 運賃改定の推移

改定年月日	初乗運賃(円)	改定率(%)			増収率(%)			備考
		定期外	定期	計	定期外	定期	計	
1987(昭和62). 5. 16	100	11.7	12.1	11.9	10.0	10.5	10.2	
1989(平成元). 4. 1	100	3.26	2.55	2.97	3.26	2.55	2.97	消費税3%実施
1991(平成3). 11. 20	120	13.4	23.0	17.3	12.5	22.9	16.7	
1995(平成7). 9. 1	140	12.1	19.4	14.9	10.5	17.7	13.4	
1997(平成9). 4. 1	140	2.06	1.74	1.94	2.06	1.74	1.94	消費税5%実施
2014(平成26). 4. 1	140	2.83	2.91	2.86	2.83	2.91	2.86	消費税8%実施
2019(令和元). 10. 1	150	1.84	1.87	1.85	1.84	1.87	1.85	消費税10%実施

※2023(令和5). 4.1から鉄道駅バリアフリー料金の収受を開始し、初乗運賃を160円に変更している。

## 混雑率の推移(最混雑区間1時間平均)

(単位:%)

	1985年度(昭和60)	1991年度(平成3)	2004年度(平成16)	2017年度(平成29)	2018年度(平成30)	2019年度(令和元)	2020年度(令和2)	2021年度(令和3)	2022年度(令和4)
混雑率	161.5	152.8	118.6	111.1	110.4	111.5	88.5	83.1	96.0

(注)最混雑区間 1980年度～1991年度: 姫島→淀川

1992年度～2008年度: 淀川→野田

2009年度～: 出屋敷→尼崎

混雑率の目安は、次のとおりです。

[100%] = 定員乗車。座席につくか、吊り革につかまるか、ドア付近の柱につかまることができる。

[150%] = 肩が触れ合う程度で、新聞は楽に読める。

[180%] = 体が触れ合うが、新聞は読める。

[200%] = 体が触れ合い、相当な圧迫感がある。しかし、週刊誌なら何とか読める。

## 設備投資実績額の推移

(単位: 億円)

	輸送力増強工事	踏切及び運転保安工事	サービス合計改善工事	合計
2018(平成30)年度	21	33	14	69
2019(令和元)年度	15	36	3	55
2020(令和2)年度	12	23	6	41
2021(令和3)年度	16	43	6	65
2022(令和4)年度	17	24	5	46

## 最高速度・運転間隔

### 最高速度

本線	直通特急・特急・区間特急・快速急行・急行・区間急行 その他(回送、貸切など)	106km/h
	普通	91km/h
阪神なんば線	快速急行・準急・区間準急 その他(回送、貸切など)	106km/h
	普通	106km/h
武庫川線	普通	45km/h
神戸高速線	直通特急・特急・普通	65km/h

### 運転間隔

本線	昼間時は直通特急(特急)・急行・普通	各10分間隔
	快速急行	20分間隔
阪神なんば線	午前ラッシュ時	10分間隔
	昼間時	7～14分間隔
武庫川線	午後ラッシュ時	10分間隔
	午前ラッシュ時	12分間隔
神戸高速線	昼間時	20分間隔
	午後ラッシュ時	10分間隔
直通特急	昼間時は直通特急(特急)・普通	各10分間隔
	午前ラッシュ時	12分間隔
快速急行	昼間時	10～20分間隔
	午後ラッシュ時	10分間隔
	午前ラッシュ時	12分間隔
快速急行	昼間時	20分間隔
	午後ラッシュ時	20分間隔

# サービス・バリアフリー施設の整備状況

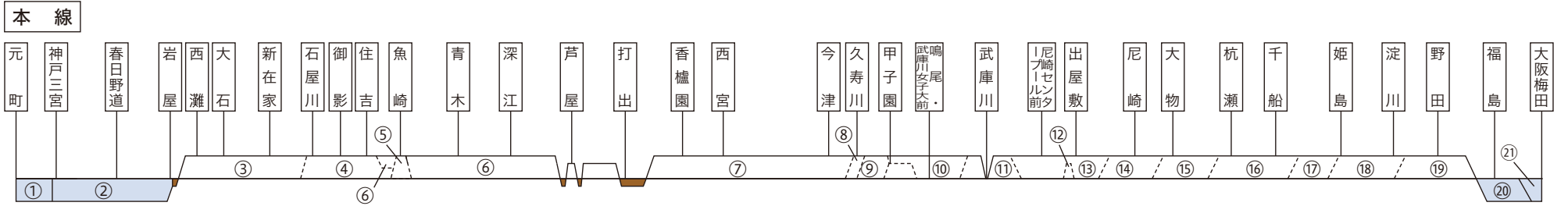
駅名	エスカレーター	エレベーター	触知図式案内板(注1)	誘導チャイム(注1)	待合室	車いす対応トイレ(注1・2)	ベビーシート			ベビーチェア		
							車いす用	男性用	女性用	車いす用	男性用	女性用
大阪梅田	4	1	○	○		○	○			○	○	
福島	3	3	○	○		○	○			○	○	
野田	3	3	○	○	2	○	○			○	○	
淀川		2	○	○	2	○	○			○	○	
姫島		2	○	○	2	○	○			○	○	
千船	1	3	○	○	2	○	○			○	○	
杭瀬	1	3	○	○	2	○	○			○	○	
大物	3	4	○	○	2	○	○					
尼崎	6	4	○	○	4	○	○			○	○	
出屋敷	6	3	○	○	2	◎		○	○	○	○	
尼崎センター前	6	3	○	○	2	◎		○	○	○	○	
武庫川		2	○	○	3	○	○			○	○	
鳴尾・武庫川女子大前	2	2	○	○	2	○	○			○	○	
甲子園	2	5	○	○		○	○			○	○	
久寿川		2	○	○	2	○	○			○	○	
今津	6	2	○	○	2	◎		○		○	○	
西宮	10	7	○	○		◎		○		○	○	
香櫨園	2	2	○	○	2	◎		○		○	○	
打出		2	○	○	2	○	○			○	○	
芦屋	2	2	○	○	2	○	○			○	○	
深江	6	3	○	○	2	○	○			○	○	
青木	6	3	○	○	2	○	○			○	○	
魚崎	4	3	○	○	2	○	○			○	○	
住吉										○	○	
御影	1	3	○	○		◎	○			○	○	
石屋川		1	○	○	1	○	○			○	○	
新在家	3	2	○	○	2	○	○			○	○	
大石	3	3	○	○	2	◎		○	○	○	○	
西灘	2	2	○	○	2	◎	○			○	○	
岩屋	2	2	○	○		◎		○	○	○	○	
春日野道	2	4	○	○		○	○			○	○	
神戸三宮	6	4	○	○		○	○			○	○	
元町	3	2	○	○		○	○			○	○	
小計	26駅 95基	32駅 89基	32駅	32駅	23駅 48室	32駅	25駅	4駅	7駅	32駅	32駅	

駅名	エスカレーター	エレベーター	触知図式案内板(注1)	誘導チャイム(注1)	待合室	車いす対応トイレ(注1・2)	ベビーシート			ベビーチェア		
							車いす用	男性用	女性用	車いす用	男性用	女性用
大阪難波	16	3	○			○	○	○		○	○	
桜川	4	5	○	○		○	○			○	○	
ドーム前	11	2	○	○		○	○			○	○	
九条	5	3	○	○		○	○			○	○	
西九条	13	6	○	○	2	○	○			○	○	
千鳥橋		2	○	○	2	◎	○	○	○	○	○	
伝法		2	○			○	○					
福			○			○	○			○		
出来島	3	3	○	○	2	◎	○		○	○	○	
小計	6駅 52基	8駅 26基	9駅	6駅	3駅 6室	9駅	9駅	2駅	3駅	1駅	7駅	
東鳴尾												
洲先												
武庫川団地前		※	○	○	1	○	○			○	○	
小計			1駅	1駅	1駅 1室	1駅	1駅			1駅	1駅	
西元町		2	○	○		○	○			○	○	
高速神戸	2	3	○	○		○	○	○	○	○	○	
新開地(注3)	2	3	○	○		◎		○	○	○	○	
大開		3		○		○	○			○	○	
高速長田		2	○	○		○				○	○	
西代	2	4	○	○		◎						
小計	3駅 6基	6駅 17基	5駅	6駅		6駅	3駅	2駅	2駅	1駅	5駅	
合計	35駅 153基	46駅 132基	47駅	45駅	27駅 55室	48駅	38駅	8駅	12駅	2駅	45駅	

(注1) ○印は設置を示します。  
 (注2) ◎は男女別の設置を示します。  
 (注3) 新開地は南北線の施設を除きます。  
 大阪難波は近鉄との共同使用駅、西代は山陽との共同使用駅、高速神戸は阪急との共同使用駅、新開地は阪急・神鉄との共同使用駅です。  
 ※スロープにより、移動円滑化基準に適合しています。

# 立体化

## ●立体化の状況



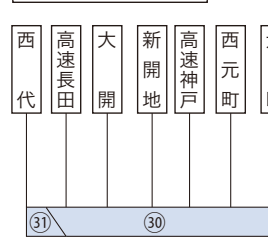
### 凡例

<span style="background-color: #f4a460; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	計画高架区間
<span style="background-color: #fff; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	既設高架区間（盛土を含む。）
<span style="background-color: #add8e6; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	既設地下化区間（切土を含む。）
<span style="background-color: #8b4513; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	地平区間
<span style="background-color: #00008b; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	現在施工中区間

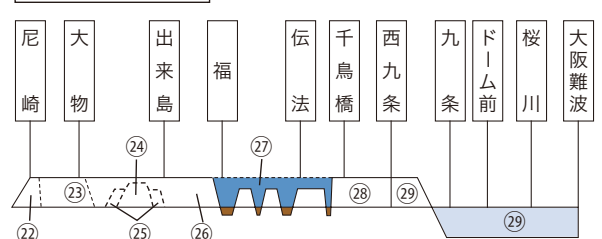
立体化率	● 本線	95%
	● 阪神なんば線	90%
	● 武庫川線	0%
	● 神戸高速線	100%

番号	場所	立体化開通年月	除去又は除却予定の踏切道数
①	元町～神戸三宮間	1936(昭11). 3	0(地下線新設)
②	神戸三宮～岩屋間	1933(昭8). 6	0(併用線を地下線で専用軌道化)
③	西灘～石屋川間	1967(昭42). 7	16※
④	石屋川～住吉間	1929(昭4). 7	0(併用線を高架線で専用軌道化)
⑤	住吉川左右岸	1992(平4). 3	2※
⑥	住吉～芦屋間	2019(令元). 11	11※
⑦	堀切川～久寿川間	2001(平13). 3	16※
⑧	久寿川駅付近	1986(昭61). 6	2※
⑨	久寿川～甲子園間	1983(昭58). 1	1※
⑩	甲子園～武庫川間	2017(平29). 3	6※
⑪	武庫川～尼崎センタープール前間	1970(昭45). 5	0※
⑫	蓬川付近	1969(昭44). 8	1
⑬	武庫川～尼崎間	1994(平6). 1	7※
⑭	尼崎駅付近	1964(昭39). 2	3※
⑮	大物～杭瀬間	1977(昭52). 4	5※
⑯	杭瀬～千船間	1977(昭52). 4	7
⑰	千船～姫島間	1977(昭52). 2	2※
⑱	姫島～淀川間	1967(昭42). 12	5
⑲	淀川～福島間	1961(昭36). 11	6※
⑳	野田～大阪梅田間	1993(平5). 9	6※
㉑	大阪梅田駅付近	1939(昭14). 3	0(地下線新設)

### 神戸高速線



### 阪神なんば線



番号	場所	立体化開通年月	除去又は除却予定の踏切道数
⑳	尼崎駅付近	1964(昭39). 2	2※
㉑	尼崎～出来島間	1978(昭53). 3	1※
㉒	佃付近	1980(昭55). 1	1※
㉓	神崎川付近	1964(昭39). 6	3
㉔	大物～福間	1998(平10). 9	3※
㉕	出来島～千鳥橋間	工事中	5※
㉖	千鳥橋～西九条間	1964(昭39). 5	0(高架線新設)
㉗	西九条～大阪難波間	2009(平21). 3	0(高架線・地下線新設)
㉘	西代～元町間	1968(昭43). 4	0(地下線新設)
㉙	西代駅付近	1995(平7). 6	0

(注) ・※は工事の全部又は一部が都市計画事業であることを示します。  
 ・③本線西灘～石屋川間の高架は、1995(平成7)年1月の阪神大震災による損壊のため、1995(平成7)年6月再建



# 踏切道一覧

## 【本線】

踏切道名	検知装置	幅員	道路種別	所在地
元町	○ (地下線)	m	神戸市	神戸市灘区岩屋北町2丁目1-1
岩屋				
西灘	○ (高架線)	6.0	芦屋市	芦屋市川西町14
住吉				
魚崎				
深江				
芦屋	○	6.7	芦屋市	芦屋市川西町14
芦屋駅	○	8.0	兵庫県	// 公光町11
打出若宮町	車禁*	5.5	芦屋市	// 打出小槌町57-1
打出	○	4.9	芦屋市	// 打出小槌町20
打出駅	○	17.8	//	// 春日町4
打出南宮町	○	5.9	//	// 春日町12
打出東出口	車禁*	5.9	//	// 春日町12
打出春日町	○	5.4	//	// 春日町18
香榎園	○ (高架線)	8.2	尼崎市	尼崎市大庄西町1丁目1
武庫川				
武庫川駅	○	8.2	尼崎市	尼崎市大庄西町1丁目1
尼崎センタービル前	○ (高架線)			
野田				
福島	○ (地下線)			
大阪梅田				

## 【阪神なんば線】

踏切道名	検知装置	幅員	道路種別	所在地
尼崎	○ (高架線)	m	大阪市	大阪市西淀川区福町3丁目4
出来島				
福駅西	○	7.0	大阪市	大阪市西淀川区福町3丁目4
福	○ (◎高架線建設中)	13.6	大阪市	// // 福町3丁目2
福駅東				
淀川西岸				
淀川東岸				
伝法	○	7.7	大阪市	// // 伝法4丁目1-7
千鳥橋	○ (高架線)			
西九条				
九条	○ (地下線)			
大阪難波				

## 【武庫川線】

踏切道名	検知装置	幅員	道路種別	所在地
武庫川団地前	○	m	西宮市	西宮市上田東町4-1
上田				
入江	○	6.3	//	// 上田東町4-11
洲先	車禁	2.0	私	// 東鳴尾町2丁目17
鳴尾南				
東鳴尾	○	6.5	西宮市	// 東鳴尾町2丁目12
川添南	○	9.0	西宮市	// 東鳴尾町1丁目7
川添	車禁	2.0	私	// 東鳴尾町1丁目3
小松	車禁	2.0	//	// 武庫川町2丁目
武庫川	車禁	2.0	私	// 小松南町1丁目13
※武庫川駅第2				
※武庫川駅第1	車禁	2.5	//	// 小松南町1丁目17-13

## 【神戸高速線】

踏切道名	検知装置	幅員	道路種別	所在地
西代	○ (地下線)			
元町				

(注)・踏切道一覧表中、検知装置欄の○は、踏切障害物検知装置設置踏切道を、また、車禁は車両通行禁止(※は、二輪自動車は通行可)の踏切道を示します。  
 ・踏切道一覧表中、踏切道名の欄の※は、営業路線外の踏切道を示します。  
 ・◎は都市計画事業を示します。

## 駅務機器等の設置状況

	駅名	券売機	改札機 (注1)	精算機	チャージ機	待合室		駅名	券売機	改札機 (注1)	精算機	チャージ機	待合室
本線	大阪梅田	14	30 <sup>③</sup>	5			阪神なんば線	大阪難波	15	27 <sup>③</sup>	9		
	福島	4	6 <sup>②</sup>	2				桜川	2	3 <sup>①</sup>	1		
	野田	2	8 <sup>①</sup>	1		2		ドーム前	6	8 <sup>①</sup>	3		
	淀川	2	3 <sup>①</sup>	1		2		九条	4	8 <sup>②</sup>	2		
	姫島	2	4 <sup>①</sup>	1		2		西九条	5	9 <sup>②</sup>	3		2
	千船	2	6 <sup>①</sup>	1		2		千鳥橋	2	3 <sup>①</sup>	1		2
	杭瀬	2	5 <sup>①</sup>	1		2		伝法	2	3 <sup>①</sup>	1		
	大物	2	3 <sup>①</sup>	1		2		福	4	6 <sup>②</sup>	2		
	尼崎	6	10 <sup>②</sup>	3		4		出来島	2	3 <sup>①</sup>	1		2
	出屋敷	4	6 <sup>①</sup>	2		2		小計	9駅 42台	9駅 70 <sup>⑭</sup> 台	9駅 23台		3駅 6室
	尼崎センター プール前	3	5 <sup>①</sup>	1		2	武庫川線	東鳴尾		2		1	
	武庫川 鳴尾・ 武庫川女子大前	3	7 <sup>①</sup>	1		2		洲先		4		1	
	甲子園	10	27 <sup>④</sup>	7				武庫川団地前	2	3 <sup>①</sup>	1		1
	久寿川	2	3 <sup>①</sup>	1		2	神戸高速線	小計	1駅 2台	3駅 9 <sup>①</sup> 台	1駅 1台	2駅 2台	1駅 1室
	今津	3	5 <sup>①</sup>	1		2		西元町	4	4 <sup>②</sup>	2		
	西宮	5	10 <sup>②</sup>	3				高速神戸	5	8 <sup>②</sup>	3		
	香櫨園	2	4 <sup>①</sup>	1		2		新開地 <sup>(注2)</sup>	4	8 <sup>②</sup>	3		
	打出	4	6 <sup>②</sup>	2		2		大開	4	5 <sup>②</sup>	2		
	芦屋	4	8 <sup>①</sup>	2		2		高速長田	4	7 <sup>②</sup>	2		
	深江	2	5 <sup>①</sup>	1		2		西代	3	3 <sup>①</sup>	1		
青木	2	5 <sup>①</sup>	1		2	小計	6駅 24台	6駅 35 <sup>①</sup> 台	6駅 13台				
魚崎	3	5 <sup>①</sup>	1		2	合計	49駅 190台	51駅 350 <sup>⑳</sup> 台	49駅 98台	2駅 2台	27駅 55室		
住吉	2	2	1										
御影	2	5 <sup>①</sup>	1										
石屋川	2	3 <sup>①</sup>	1		1								
新在家	2	3 <sup>①</sup>	1		2								
大石	2	3 <sup>①</sup>	1		2								
西灘	2	3 <sup>①</sup>	1		2								
岩屋	2	4 <sup>①</sup>	1										
春日野道	4	5 <sup>①</sup>	2										
神戸三宮	8	14 <sup>②</sup>	5										
元町	4	9 <sup>②</sup>	4										
小計	33駅 122台	33駅 236 <sup>④⑥</sup> 台	33駅 61台	0駅 0台	23駅 48室								

(注1) ○内の数字は「車いす対応改札機」(内数)の設置台数を示します。

(注2) 新開地は南北線の施設を除きます。

大阪難波は近鉄との共同使用駅、西代は山陽との共同使用駅、高速神戸は阪急との共同使用駅、新開地は阪急・神鉄との共同使用駅です。

## 踏切道数等・信号保安設備・ATS

### ● 踏切道数・踏切保安装置

線別	踏切種別	踏切道数	自動遮断機	警報機	踏切障害物 検知装置	踏切支障 報知装置	発光信号器
本線	第一種甲	9か所	34基	22基	7か所	9か所	25台
阪神なんば線	第一種甲	5	16	11	5	5	14
武庫川線	第一種甲	9	28(2)	19(1)	4	7	14
合計		23	78(2)	52(1)	16	21	53

(注) ・自動遮断機、警報機は、武庫川線東鳴尾駅構内渡線道を含みます。( )内が東鳴尾駅構内渡線道の数字で内数  
・第一種甲踏切…自動遮断機を設置するか、踏切保安係を配置し、全列車について遮断機で交通を遮断する踏切で、保安度が最も高いものです。

### ● 信号保安設備

	信号機					
	閉そく	場内	出発	中継	入換	誘導
本線	158基	40基	66基	34基	149基	55基
阪神なんば線	39基	9基	10基	11基	7基	3基
武庫川線		2基	4基	1基	4基	
神戸高速線	26基	10基	9基		8基	

	連動装置		電気転つ機	駅誤通過防止装置
	第1種電気継電	第1種電子		
本線	2か所	14か所	178台	20か所
阪神なんば線	2か所	1か所	11台	5か所
武庫川線	1か所		3台	
神戸高速線	2か所		18台	2か所

### ● 自動列車停止装置 (ATS)

	自動列車停止装置	
	閉そく	構内
本線	158基	16か所
阪神なんば線	39基	3か所
武庫川線		1か所
神戸高速線	26基	2か所

本線、阪神なんば線 (桜川以西)、武庫川線	方式は高周波連続誘導階段制御方式で、照査速度は20km/h・30km/h・50km/h・70km/h・110km/hの5段階
神戸高速線	高周波連続誘導階段制御方式で、照査速度は20km/h・30km/h・50km/h・70km/hの4段階
阪神なんば線 (桜川～大阪難波間)	点制御多変周式(車上連続速度照査)で、照査速度は0km/h・30km/h・45km/h・65km/h・フリーの5段階。点制御デジタル符号伝送式(車上連続速度照査)は駅間最高速度制限に使用

## 主な保線用機械・線路

### 主な保線用機械

機械名	保有台数	仕様	用途
軌道モーターカー	1	25t	レール運搬車などのけん引
軌道モーターカー	1	20t	〃
レール運搬車	台車	40t	レール運搬作業
	制御車		
ダンプトローリー	台車	27m <sup>2</sup>	碎石運搬作業
	制御車		
作業用トローリー	2	10t	資機材運搬作業

### 橋梁

線別	数	延長 (m)
本線	170	4,120
阪神なんば線	56	2,385
武庫川線	1	10
合計	227	6,515

(注) 橋梁は橋台面間の距離が1.00m以上の橋を示します。

### 主な橋梁

線別	橋梁名	延長 (m)
阪神なんば線	安治川	89
本線	淀川	778
阪神なんば線	〃	758
本線	神崎川	185
阪神なんば線	〃	194
本線	左門殿川	148
阪神なんば線	〃	145
本線	蓬川	72
本線	武庫川	196
本線	芦屋川	60

### トンネル

線別	場所	延長 (m)
本線	岩屋～元町間	3,325
	大阪梅田～福島西方間	1,634
	岩屋駅付近	34
阪神なんば線	大阪難波～九条間	2,867
神戸高速線	元町～西代間	4,937
合計		12,797

### 線路敷設延長

線別	本線	阪神なんば線	武庫川線	神戸高速線	合計	
区間	大阪梅田～元町	大阪難波～尼崎	武庫川～武庫川団地前	元町～西代		
営業許可キロ程	32.1km	10.1km	1.7km	5.0km	48.9km	
軌間	1,435mm	1,435mm	1,435mm	1,435mm		
本線延長	単線	0m	0m	1,730m	0m	1,730m
	複線	32,225m	10,216m	0m	5,025m	47,466m
	合計	32,225m	10,216m	1,730m	5,025m	49,196m

## 主なグループ会社

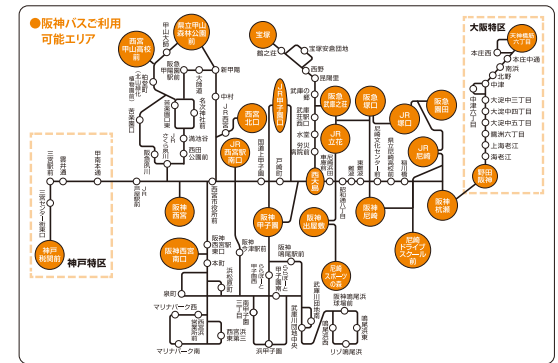
### ● 阪神バス株式会社

尼崎市、西宮市を中心に大阪市から神戸市までの阪神間を運行する一般路線バス、大阪国際(伊丹)空港、関西国際空港と阪神間の拠点を結ぶ空港リムジンバス、大阪・神戸から中国・四国方面を結ぶ高速バスに加え、貸切バスまでを幅広く運営するバス会社です。



### 一般路線バス

尼崎市と宝塚市、西宮市と神戸市など、市域を跨いで阪神間の都市をつなぐ「阪神線」及び、尼崎市市内をきめ細かくカバーする「尼崎市内線」(2016年3月に旧尼崎市交通局から事業譲受け)を運行し、阪神間の皆さまの日常を支える大切な交通機関として、日々安全運行に努めています。



### 空港リムジンバス

阪神間の拠点と大阪国際(伊丹)空港及び関西国際空港を乗換えなしでつなぎ、空港輸送の一翼を担っています。大阪空港線は4路線(大阪線、神戸線、西宮線、USJ線)、関西空港線は5路線(大阪線、尼崎線、神戸線、西宮線、USJ線)を運行し、関西圏における空港リムジンバス事業者の中でも有数の規模を誇っています。



### 高速バス

安全・快適でお手頃な都市間移動の手段として、主に中国・四国地方へのアクセスを提供しています。従前から運行している津和野線(夜行)、宇和島線(昼行・夜行)、大阪徳島線(昼行)、神戸徳島線(昼行)、今治線(昼行・夜行)に加え、2021年4月から近距離高速バスとして、大阪三田線(昼行)を運行しています。



### 貸切バス

「貸切バス事業者安全性評価認定制度」の最高ランクである「3つ星」を取得しており、学校団体やグループ旅行等に安心してご利用いただけます。また、プロ野球選手や高校野球選手の球場への送迎等も担っており、阪神グループならではの特色ある輸送を行っています。





## ● 阪神タクシー株式会社

阪神間を主な営業エリアとするタクシー会社で、地域に密着した身近な公共交通機関として、安全運転の徹底と快適な輸送サービスの提供に努めています。

また、各種電子決済を取り扱うなど、多様化する決済ニーズに対応するとともに、環境への配慮からエコドライブの推進にも取り組んでいます。



## ● 株式会社阪神ステーションネット

阪神電車の駅サービス事業会社として、駅をご利用いただくお客さまに様々なサービスを提供しています。また、駅から沿線へ、沿線から街へと事業領域を拡大し、阪神沿線の価値向上に取り組んでいます。

### サイクルビジネス事業(駐輪場・シェアサイクル)

阪神沿線で駐輪場を運営しています。また、シェアサイクル「HELLO CYCLING」を沿線自治体と連携し展開しています。

このほか、尼崎市南部地域や神戸市東部地域などにおいて、駐輪場指定管理・放置自転車対策業務を受託しています。

- ・直営駐輪場 (14か所)、シェアサイクル (78ポート)
- 〔営業所〕 尼崎・神戸



### トラベルサービス事業(阪神アイビートラベル)

阪神アイビートラベルでは、以下の企画旅行や商品等を取り扱っています。

- ・近鉄直通特急貸切ツアー (神戸三宮から伊勢へ ほか)
- ・阪神タイガースキャンプツアー
- ・甲子園歴史館ツアー
- ・国内・海外パッケージツアー、各種バスツアー
- ・航空券・JCBギフトカード・QUOカード

〔営業所〕 野田



### ステーションサービス事業(定期券販売・サービスセンター)

阪神電車・阪神バス・神戸市バスの定期券を販売しています。

阪神電車サービスセンターでは、観光情報を多言語でご案内しています。

- ・定期券発売所 大阪梅田・尼崎・甲子園・西宮・御影・神戸三宮
- ・サービスセンター 甲子園・西宮・神戸三宮



### チケットビジネス事業(宝くじ・スポーツくじの販売)

阪神ドリームプラザでは、ジャンボ宝くじ・ロト・ナンバーズなどの宝くじやtoto・BIGなどのスポーツくじを販売しています。

- ・阪神ドリームプラザ 大阪梅田・尼崎・西宮ほか (計8店)



# 不動産事業

不動産事業では、沿線を中心に、賃貸などの事業を展開しています。



## 不動産賃貸

### ●大人の過ごす街、西梅田

#### ハービス OSAKA/ハービス ENT

当社の「西梅田開発」において誕生した超高層ビル「ハービス OSAKA」と「ハービス ENT」。「上質な大人の街」をテーマに開発した西梅田地区を象徴する存在として、1997年3月に開業したハービス OSAKAには、ラグジュアリーホテルの「ザ・リッツ・カールトン大阪」(同年5月開業)が、2004年11月に開業したハービス ENTには、劇団四季の専用劇場「大阪四季劇場」(翌年1月開業)や、ライブレストラン「ビルボードライブ大阪」といったエンタテインメント施設がそれぞれ入居しており、大人が楽しめる街としての機能を高めています。



#### <ハービス OSAKA >

ハービス OSAKAは、ハービス PLAZA、ハービスホール、ザ・リッツ・カールトン大阪及びオフィスで構成されています。

#### ハービス PLAZA

約50の物販・飲食店舗、サービス施設等を集積した商業及びオフィスサポート・ゾーンです。

施設構成	ファッション、レストラン、インテリアのショールーム、クリニック、貸会議室など	
店舗面積	物販	約 2,500㎡
	飲食	約 3,400㎡
	サービス	約 1,900㎡
営業時間	ショッピングフロア	11:00 ~ 20:00
	レストランフロア	11:00 ~ 22:30
お問合せ	☎ (06) 6343 - 7500 (代)	

※一部営業時間の異なる店舗あり

#### ハービスホール

ファッションショー、展示会など様々なニーズに対応できる、最新設備のそろうたホールです。

施設構成	大ホール	914㎡
	小ホール	262㎡
	ホワイエ	約 500㎡
お問合せ	☎ (06) 6343 - 7800	

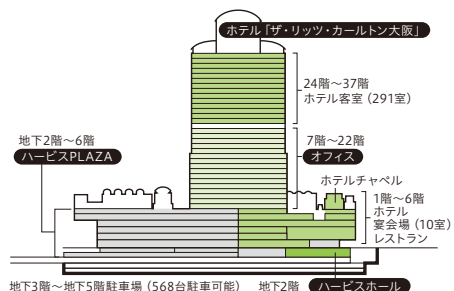
#### オフィス

基準階	7階～22階
エントランスロビー	地下2・1階、1階

#### ザ・リッツ・カールトン大阪

米国本拠のザ・リッツ・カールトンが運営するラグジュアリーホテルで、(株)阪神ホテルシステムズが経営しています。

施設構成	客室 291 室、宴会場 10 室、結婚式場・チャペル、フィットネスクラブ、和・洋・中レストランなど
------	--



#### <ハービス ENT >

ハービス ENTは、ハービス PLAZA ENT、大阪四季劇場、ビルボードライブ大阪及びオフィスで構成されています。

#### ハービス PLAZA ENT

物販・飲食・サービス店舗の約70店舗と、エンタテインメント施設として大阪四季劇場とビルボードライブ大阪を集積した商業ゾーンです。

施設構成	ファッション、ジュエリー、生活雑貨、レストラン、ヘアサロン、リラクゼーション、エステティック、劇場、ライブレストランなど	
店舗面積	物販	約 10,400㎡
	飲食	約 5,300㎡
	サービス	約 4,000㎡
	劇場	約 6,000㎡
	ライブレストラン	約 1,100㎡
営業時間	ショッピングフロア	11:00 ~ 20:00
	レストランフロア	11:00 ~ 23:00
	ビューティー&スクールフロア	11:00 ~ 21:00
お問合せ	☎ (06) 6343 - 7500 (代)	

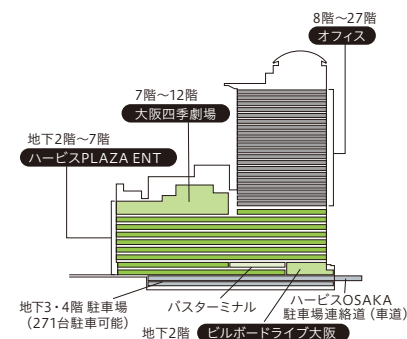
※一部営業時間の異なる店舗あり

#### オフィス

基準階	8階～27階
エントランスロビー	地下2・1階、1階

#### 大阪四季劇場

ハービス ENTのシンボリックな施設。劇団四季の専用劇場としてハービス PLAZA ENTの7～12階に位置し、延床面積は約6,500㎡。二層構造で約1,200席の客席部分やロビー、ホワイエ等は、赤・金・黒の3色を基調とした環境デザインで、観劇への期待感を醸し出しています。





## ●大阪梅田ツインタワーズ・サウス

大阪神ビルディングと新阪急ビルを一体的に建て替えた「梅田1丁目1番地計画」により誕生した「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」は、2022年2月に全体竣工、同年3月に全面開業しました。

オフィスゾーンのほか、「阪神梅田本店」が入居する百貨店ゾーン、「梅田サウスホール」を中心とするカンファレンスゾーンからなる本建物の開発では、周辺公共施設整備も一体的に行うことで、都市機能の高度化、防災機能の強化、公共的空間の創出、良好な景観形成等を通じ、国際競争力の強化に資する快適で質の高い街づくりを進めました。



### <大阪梅田ツインタワーズ・サウス>

施設構成 百貨店（阪神梅田本店）、オフィス、ホール等

#### 百貨店ゾーン

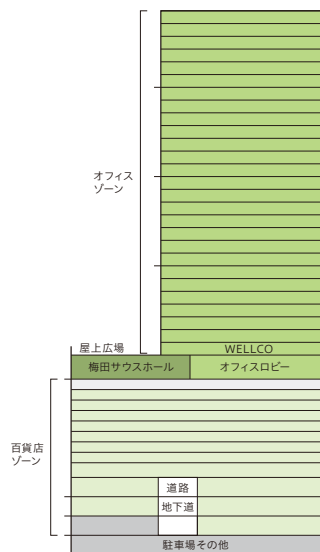
階数	地下2階～地上9階
店舗面積	約53,000㎡

#### オフィスゾーン

施設構成	オフィスエントランス	地下1階、1階
	オフィスワーカー専用フロア「WELLCO」	12階
	基準階	13～38階

#### カンファレンスゾーン

施設構成	大ホール	882㎡
	小ホール	180㎡
	ホワイエ	641㎡
お問合せ	☎ (06) 6343 - 7800	



## COLUMN

### オフィスワーカー専用フロアWELLCO（ウェルコ）

オフィスコンセプトの実現に向けて、適切な休息やオフィスワーカー同士の交流を通じた学びが心身の調和と活力の向上をもたらし、創造性豊かな仕事につながる好循環を生み出すと考えの下、「よく休み、よく働き、よく学ぶ」ことができる機能を集積します。

健康的な食事ができる「カフェ」やミーティングから個人ワークまで多様なニーズに応える「ラウンジ & ワークスペース」、リフレッシュや運動不足解消に使える「ウェルネスゾーン」で構成され、利用者のお困りごとを解決するコンシェルジュも常駐します。



ラウンジ

## ●梅田エリアの魅力向上に向けた取組み

当社では、阪急阪神不動産㈱と連携し、梅田エリアの魅力向上に向けた取組みを推進しており、大阪梅田エリアの価値向上に向けた構想「梅田ビジョン」に基づき、各施策に取り組んでいます。

<梅田ビジョンの基本方針>

国際的な都市間競争を勝ち抜くための “独自価値”	基本方針①	共創により新しい価値が生まれる街づくり
	基本方針②	出会いと交流を促進する街づくり
	基本方針③	多様な人々と企業が集う活力ある街づくり
ニューノーマル時代の都市として必要な “基本価値”	基本方針④	最先端の技術等を活用して新たな価値を提案する街づくり
	基本方針⑤	持続可能な街づくり
都市の魅力の世界に向けて発信	基本方針⑥	世界に向けた戦略的な情報発信

<基本方針に基づく具体的な取組み>

### 梅田地区のエリアマネジメント

#### ◆梅田地区エリアマネジメント実践連絡会の活動

地域の関係者や官民が一体となって街全体の魅力を向上させる「エリアマネジメント」。当社では、阪急電鉄やJR西日本などと構成する「梅田地区エリアマネジメント実践連絡会」への参画などを通じて、梅田地区の価値向上に取り組んでいます。具体的には、UMEDA MEETS HEARTや梅田ゆかた祭など、道路や公開空地などの公共空間を会場として活用したイベントのほか、歩いて楽しいまちづくりを目指す「Walkable UMEDA構想」実現に向けた社会実験等の企画・実施を行うなど、梅田地区各エリアの活性化を図っています。



社会実験活動(2022年度)

### 都市プロモーション・ブランディング

幅広く国内外の人々が梅田に訪問していただけるよう、関係機関等と連携を図りながら梅田エリアの商業施設への訪日外国人の誘客を図るとともに、ビジネスエリアとしての「梅田」の認知度向上に向けた取組みを推進しています。

### 梅田周縁部(フリンジ)での新たな取組み

中津、大阪駅前ビル等のフリンジエリアが持つ魅力を活かした新たな取組みを行っており、このうち当社では、オフィスビルや商業施設などでにぎわうJR大阪駅南側のダイヤモンド地区(※)内の公共空間を利用し、にぎわい創出に向けたエアイベントを開催しています。

※ ダイヤモンド地区  
JR大阪駅南側の大阪駅前線と御堂筋、四つ橋筋、国道2号に囲まれた五角形の地区

### 【参考】スタートアップ支援

阪急電鉄を中心として、起業支援オフィス「GVH#5」の運営に取り組むなど、スタートアップ支援に取り組んでいます。



Fasaka Market



## 環境への取組み

### オフィスビルや商業施設での環境対策

当社では、サステナビリティ宣言の下、その重要テーマの一つとして「環境保全の推進」に注力していますが、その一環として、大阪梅田ツインタワーズ・サウス<sup>※1</sup>、ハービス OSAKA、ハービス ENT など大阪梅田地区及び沿線のオフィスビルや商業施設など<sup>※2</sup>において、再生可能エネルギー由来の電力(省エネ電力)を導入することとしました。

今後順次、対象物件を拡大し、2025年度には大阪梅田地区及び沿線で運営するオフィスビル・商業施設などにおける電力使用量<sup>※3</sup>の約9割を再生可能電力に置き換える予定です。

※1 テナント専用部の一部を除く。

※2 建替・再開発予定の物件、使用電力が極めて小さい物件など、一部の物件を除く。

※3 ガスコージェネレーションシステムによる自家発電分を除く。



ハービス ENT

### 1000000人のキャンドルナイト

西梅田地区で、「100万人のキャンドルナイト@オオサカシティ西梅田ナイト実行委員会」に参画し、「1000000人のキャンドルナイト」を開催しています。

この取組みは、各地区の企業、地域団体及び行政が集い、夜8時から10時までの2時間、電気を消して、キャンドルを灯し、いつもと違う街を歩くことで、街に集う人々が都市と共生し、持続可能な暮らしや地球環境について考えてもらうきっかけとするものです。



キャンドルナイト

### 「梅田ゆかた祭」における打ち水イベント

梅田地区エリアマネジメント実践連絡会を中心として、日本文化・環境をテーマに、様々なコンテンツを展開する「梅田ゆかた祭」。このイベントにおいて、2012年からお客さま参加型の打ち水イベントを実施し、梅田地区に集う人々の環境意識の向上に貢献しています。



梅田ゆかた祭

### 清掃活動(ダイヤモンド地区/西梅田地区)

当社などで構成する大阪ダイヤモンドシティ (ODC) 協議会及び西梅田地区開発協議会では、各地区における振興・発展を目的として、にぎわい形成のためのエリアイベントや合同防災訓練など様々な取組みを行っており、その一環として、毎月同地区内で清掃活動を実施し、街の美化に貢献しています。



清掃活動

## ●高架下の主な賃貸物件

### 商業施設

商業施設名	所在地	賃貸可能面積(㎡)
エビスタ西宮	西宮市田中町	16,004
アパリーナ千船	大阪市西淀川区佃	6,096
AMASTA AMASEN (アマスタアマセン)	尼崎市神田中通	5,527
出屋敷アマトラ横丁	尼崎市竹谷町	4,824
エキーマ今津	西宮市今津曙町	4,361
Yotte 杭瀬	尼崎市杭瀬本町	2,961
野田アブラ	大阪市福島区海老江	2,395
大物グリーンプラザ	尼崎市大物町	2,314
香爐館	西宮市市庭町	1,764

### 事務所・店舗等

名称	所在地	賃貸可能面積(㎡)	用途
姫島高架下設備	大阪市西淀川区姫里	14,052	事務所、店舗、駐車場
尼崎センタープール高架下設備	尼崎市道意町	8,891	店舗、駐車場
出来島-福間高架下設備	大阪市西淀川区出来島	8,633	店舗、駐車場
千船高架下設備	大阪市西淀川区佃	8,207	事務所、店舗、駐車場
石屋川車庫高架下設備	神戸市東灘区御影塚町	7,679	事務所、店舗
野田高架下設備	大阪市福島区海老江	7,586	事務所、店舗、駐車場
御影高架下設備	神戸市東灘区御影本町	6,840	事務所、店舗、駐車場
大石-新在家間高架下設備	神戸市灘区大石東町	6,097	事務所、店舗、駐車場
杭瀬高架下設備	尼崎市杭瀬本町	5,409	事務所、店舗、駐車場
住吉-魚崎間高架下設備	神戸市東灘区魚崎西町	5,363	店舗、駐車場
西宮-今津間高架下設備	西宮市染殿町	5,362	駐車場
新在家-石屋川間高架下設備	神戸市東灘区御影塚町	5,187	事務所、駐車場
野田工具街(淀川-野田間)	大阪市福島区海老江	5,138	事務所、店舗
大物-出来島間高架下設備	尼崎市大物町	5,015	事務所、駐車場
西九条駅部高架下設備	大阪市此花区西九条	4,962	店舗
武庫川高架下設備	尼崎市大庄西町	4,560	事務所、店舗、駐車場

## ●主な賃貸用建物

名称	所在地	規模	賃貸可能面積 (㎡)	主な用途	完成年月
大阪梅田ツインタワーズ・サウス	大阪市 北区梅田	地下3階 地上38階建て 塔屋2階	193,023	オフィス、百貨店(阪神百貨店) ホール	2022. 2 (令 4)
梅田阪神第1ビルディング (ハービス OSAKA)	大阪市 北区梅田	地下5階 地上40階建て 塔屋1階	82,430	事務所、商業施設、ホール、 ホテル(ザ・リッツ・カールトン大阪)	1997. 3 (平 9)
梅田阪神第2ビルディング (ハービス ENT)	大阪市 北区梅田	地下4階 地上28階建て 塔屋2階	54,494	事務所、商業施設、劇場	2004.11 (平 16)
福島阪神ビルディング	大阪市 福島区福島	地下1階 地上14階建て	13,901	事務所	1987.12 (昭 62)
阪神産経桜橋ビル	大阪市 北区梅田	地下2階 地上11階建て	4,779	事務所、商業施設	1998. 3 (平 10)
野田阪神ビルディング (ウイステ)	大阪市 福島区海老江	10階建て	31,692	商業施設、事務所、駐車場	1992. 4 (平 4)
大阪府大東市物流倉庫	大東市 新田北町	5階建て	23,154	物流倉庫	2016. 8 (平 28)
三宮阪神ビルディング	神戸市 中央区小野柄通	地下4階 地上7階建て	13,672	百貨店(神戸阪急)	1933. 9 (昭 8)
元町阪神ビルディング	神戸市 中央区元町通	地下1階 地上9階建て	7,868	場外馬券売場(JRA)	1987. 5 (昭 62)
福島阪神NK共同ビル	大阪市 福島区福島	地下1階 地上12階建て	10,223	ホテル、店舗、診療所、 駐車場	2019. 4 (平 31)
阪神野田センター ビルディング	大阪市 福島区海老江	18階建て	5,647	事務所、商業施設	1999. 2 (平 11)
甲子園アルカス	西宮市 甲子園七番町	地下1階 地上2階建て	5,069	商業施設	1991. 3 (平 3)



ハービス OSAKA



ハービス ENT



ウイステ



甲子園プラス

名称	所在地	規模	賃貸可能面積 (㎡)	主な用途	完成年月
甲子園プラス	西宮市 甲子園町	3階建て	3,526	商業施設、甲子園歴史館	2022. 3 (令 4)
阪神神明ビルディング	大阪市 北区西天満	9階建て 塔屋1階	2,653	事務所、店舗	1977.11 (昭 52)
尼崎神田北通阪神ビル	尼崎市 神田北通	10階建て	5,078	ホテル	2017. 9 (平 29)
千船クリニックス	大阪市 西淀川区佃	地下1階 地上4階	4,791	事務所	2004. 6 (平 16)
上田東町商業施設	西宮市 上田東町	2階建て	2,977	商業施設	2007. 7 (平 19)
鳴尾駅前阪神ビル	西宮市 里中町	2階建て	2,294	商業施設	2020. 9 (令 2)
出屋敷リベル	尼崎市 竹谷町	地下2階 地上12階建て	1,941	商業施設	1990. 3 (平 2)
鳴尾阪神ビル	西宮市 上鳴尾町	2階建て	1,923	事務所	1970. 6 (昭 45)
千鳥橋駅北建物	大阪市 此花区四貫島	平屋建て	1,811	商業施設	2013. 3 (平 25)
元町鯉川阪神ビル	神戸市 中央区北長狭通	8階建て	1,740	クリニック、商業施設	1990. 8 (平 2)
千鳥橋駅前西館	大阪市 此花区四貫島	4階建て	1,671	病院	1982. 7 (昭 57)
出入橋阪神ビル	大阪市 福島区福島	2階建て	1,498	ホテル	2017.10 (平 29)
西宮市甲子園七番町建物	西宮市 甲子園七番町	2階建て	1,257	店舗	1985. 3 (昭 60)



阪神神明ビル



阪神産経桜橋ビル



福島阪神NK共同ビル



## ●主な賃貸用土地

名称	所在地	賃貸先	賃貸面積 (㎡)	用途
神戸ゴルフ倶楽部	神戸市灘区六甲山町	一般社団法人神戸ゴルフクラブ	124,170	ゴルフ場
浜田社有地	尼崎市大庄川田町	(株)K&K	19,740	自動車販売用店舗他
コーナン清須東店	愛知県清須市	コーナン商事(株)	14,434	物販店舗
阪神ライディングスクール	尼崎市大物町	(株)阪神ライディングスクール	6,176	自動二輪教習所
神戸市東灘区深江浜土地	神戸市東灘区深江浜町	吉田海運(株)	3,766	事務所、倉庫

## ●主な転賃物件

名称	所在地	規模	転賃面積 (㎡)	用途	所有者	営業開始年月
阪神杉村ビルディング (ラグザタワー)	大阪市福島区福島	地下2階 地上24階建て 塔屋2階	44,031	ホテル 商業施設 事務所	(株)杉村倉庫 三菱UFJ信託銀行(株)	1999.3 (平11)
西宮高須町土地	西宮市高須町	—	11,462	—	西宮市	2021.3 (令3)

## 〈管理委託先〉

阪急阪神ビルマネジメント(株)	〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目1番4号 阪急ターミナルビル	
	オフィス営業部 (13階)	☎(06) 6372 - 7863
	SC第二(沿線)営業部 (8階)	☎(06) 6372 - 7831
	沿線営業部 (8階)	☎(06) 6372 - 7851
	〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号ハービスOSAKA2階 サービスオフィス	
	SC第一(梅田)営業部	☎(06) 6343 - 7528

## スポーツ・エンタテインメント事業

スポーツ・エンタテインメント事業では、阪神タイガースや阪神甲子園球場のベースボール事業、ビルボードライブ等の音楽事業、六甲山上のレジャー事業などを通して、お客さまに夢・感動をお届けしています。

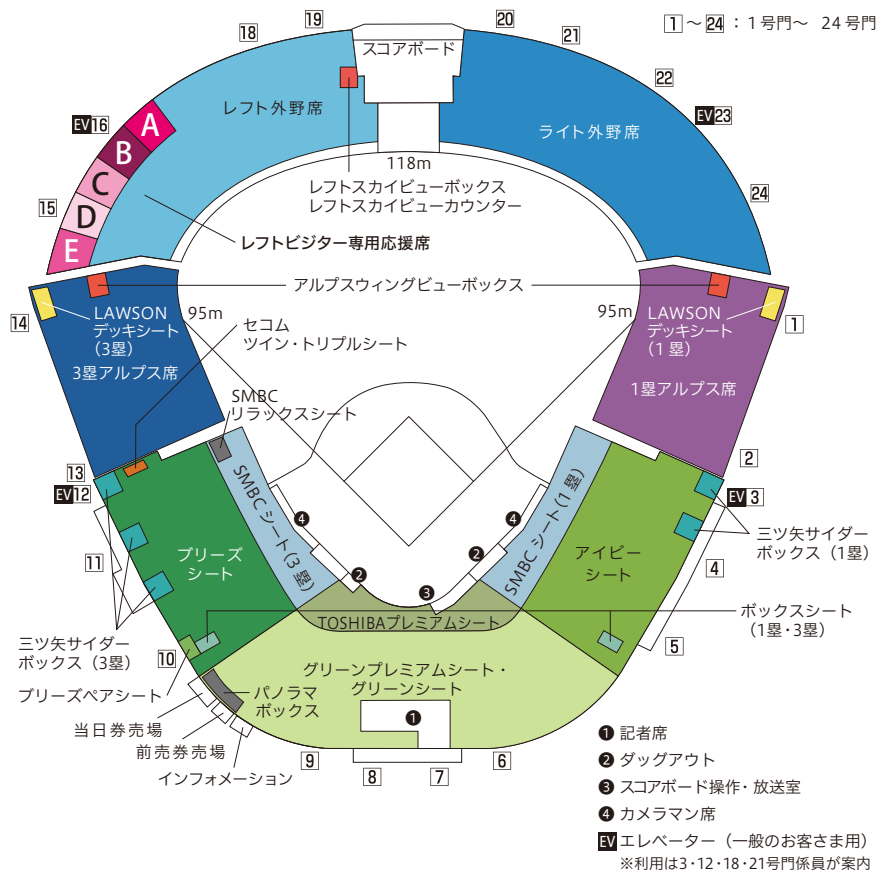
当社では、旅客誘致のため、大正末期から甲子園地区の開発を手掛けており、その第一歩として、1924(大正13)年に、阪神甲子園球場を開設しました。同球場は春・夏の高校野球の舞台として、また、阪神タイガースのホームグラウンドとして知られるほか、甲子園ボウルをはじめとする大型イベントの会場にもなっています。





# 阪神甲子園球場～施設概要～

## ●阪神甲子園球場平面図



所在地	〒663-8152 西宮市甲子園町1番82号 ☎(0798)47-1041代 ☎(0180)997-750(試合に関する問合せ用)
開設	1924(大正13)年8月1日
規模	面積：総面積 約38,500㎡(グラウンド 約13,000㎡) ホームプレートからの距離：レフト・ライトとも 95m センター 118m スタンド：高さ 15m 収容人員 47,400人 内野席 グリーンシート 35段 TOSHIBAシート 14段 アイビー・リーズシート40段 SMBCシート(1・3塁) 15段 アルプス席 63段 外野席 52段 照明灯：6基(バッテリー間 2,500ルクス)
年間諸行事	春・夏の高校野球、プロ野球、甲子園ボウル、コンサート、各種イベント等

## 阪神タイガース 公式戦入場料 (2023年シーズン)

席種	カテゴリーⅠ	カテゴリーⅡ	カテゴリーⅢ	カテゴリーⅣ
アイビーシート・リーズシート	4,500円	4,700円	5,200円	5,300円
アルプス席 (1塁・3塁)	大人	2,400円	2,600円	3,000円
	子ども	900円	1,000円	1,200円
外野席 (ライト・レフト)	大人	1,600円	1,800円	2,300円
	子ども	600円	600円	700円
〈以上の席種にはファンクラブ割引料金あり〉				
レフトビジター 専用応援席	大人	1,600円	1,800円	2,300円
	子ども	600円	600円	800円
三ツ矢サイダーボックス	14,800円～ 29,000円	15,600円～ 30,000円	17,600円～ 32,000円	18,000円～ 32,500円
LAWSONデッキシート	48,000円	51,200円	60,800円	62,400円
セコム ツインシート	9,400円	9,800円	10,800円	11,000円
セコム トリプルシート	14,100円	14,700円	16,200円	16,500円
リーズベアシート	10,000円	10,400円	11,600円	11,800円
ボックスシート	5名	25,000円	26,000円	29,000円
	6名	30,000円	31,200円	34,800円
アルプススイングビューボックス	15,200円	16,000円	18,800円	19,200円
レフトスカイビューボックス	20,400円	21,600円	25,200円	25,800円
レフトスカイビューカウンター	14,400円	15,200円	17,200円	17,600円
車椅子席 介助者席	グリーンシート	4,700円	4,800円	5,200円
	アイビーシート リーズシート	2,700円	2,800円	3,200円
	アルプス席 (1塁・3塁)	1,800円	1,900円	2,100円
	外野席 (ライト・レフト)	1,300円	1,400円	1,600円

※全試合全席指定。子どもは4歳～中学生

年間予約席(税込み)			
TOSHIBAプレミアムシート	780,000円～830,000円	ライト外野席	112,000円
グリーンプレミアムシート	780,000円	レフト外野席	98,000円
グリーンシート	350,000円～570,000円	SMBCリラックスシート(2名掛け)	820,000円 ※2席分
SMBCシート(1塁)	410,000円～540,000円	SMBCリラックスシート(4名掛け)	1,590,000円 ※4席分
SMBCシート(3塁)	360,000円～480,000円	パノラマボックス	820,000円 ※2席分
アイビーシート	290,000円～440,000円	セコムツインシート(2名掛け)	680,000円 ※2席分
リーズシート	230,000円～390,000円	セコムトリプルシート(3名掛け)	996,000円 ※3席分

※区画によって料金が変わります。

主な前売券発売場所  
 阪神甲子園球場 ☎(0798)47-1041代  
 ローソン、ミニストップ、チケットぴあ、セブン-イレブン  
 ※発売場所は、変更となる場合がございます。詳細は、その時々が発売概要をご確認ください。

● 快適な観戦環境の提供

阪神甲子園球場では多様な座席を用意し、新しい野球観戦スタイルを提供しています。

①三ツ矢サイダーボックス (1塁・3塁)

アイビーシート上段(11ボックス)・ブリーズシート上段(17ボックス)にあり、4名又は5名で利用できるボックスです。



②LAWSONデッキシート

1・3塁の両アルプス席上段(各2ボックス)の一角にあり、1ボックス16名まで利用可能な団体で貸し切れるシートです。



③セコム ツイン・トリプルシート

ブリーズシートの一部にあり、座席のクッション性を高め、かつ両サイドを通路とした2名掛け(20シート)又は3名掛け(10シート)のシートです。

④ボックスシート

アイビーシート・ブリーズシートの上段(各2ボックス)にあり、5名又は6名で利用できるボックスです。



⑤ブリーズベアシート

ブリーズシートの上段にあり、座席のクッション性を高めたカウンター付きの2名掛け(6シート)のシートです。



⑥アルプスウイングビューボックス

1・3塁の両アルプス席中段に位置するテーブル付きのグループボックスです。クッション性の高いシートでゆったりと観戦できます。



⑦レフトスカイビューボックス/レフトスカイビューカウンター

レフト外野席上段エリアに位置するグループボックス席です。バックスクリーン横上段の開放的な空間から見下ろす壮大なパノラマビューをクッション性の高いシートで楽しめます。



⑧車椅子席

内外野の各エリアに設置しており、車椅子ご利用の方1名につき、介助者2名まで入場可能としています。グリーンシート、アイビーシート、ブリーズシート、アルプス席(1塁・3塁)に各4席、ライト外野席に10席、レフト外野席に5席を設置しています。



※エレベーター設備について

一般のお客さまがご利用可能なエレベーターを4基設置しています。(62ページ「阪神甲子園球場平面図」参照)

授乳室の設置

内野エリア2か所、外野エリア1か所に、授乳室を設置しています。

● 球場でしか味わえないサービスの提供

阪神甲子園球場ではお客さまに気持ちよく観戦いただくことだけでなく、球場でしか味わえないサービスの提供を心掛けています。その一つとして、監督・選手コラボグルメの提供や店舗の充実、様々な飲食イベントの開催などのソフト面の更なる強化に力を入れています。

① 監督・選手コラボグルメの充実

監督・選手コラボグルメは、お弁当、丼物といった主食からスイーツに至るまで、ジャンルは多岐にわたりますが、その一つひとつが監督・選手へのヒアリング・試食を重ねて開発したこだわりの逸品となっています。2023年は「豪華!岡田監督のうなぎちらし×カルビ焼肉御膳」「大山のこってり豚骨醤油ラーメン」をはじめ、15種類以上のコラボメニューを新発売しました。



豪華!岡田監督のうなぎちらし×カルビ焼肉御膳

② 2023年シーズンは、球場外周の飲食イベントが目白押し!

阪神甲子園球場の1塁側外周にある「ミズノスクエア」では、プロ野球開催日に飲食やステージイベントを楽しんでいただける空間づくりに取り組んでいます。

2023年は、期間ごとにテーマに沿ったフードイベントをお楽しみいただけるよう、4月「キッチンカー祭」、5月「餃子祭」「肉祭第一弾」、6月「たこ焼き祭」「からあげ祭」、7月「ビアフェスタ」、9月「肉祭第二弾」など、例年好評なイベントから新規イベントまで、順次、企画・開催しています。



阪神甲子園球場の「土」、「芝」、「蔦」

■土 ～ブレンドの黄金比率～

グラウンドの土は、鳥取、岡山、鹿児島など全国各地から選りすぐった黒土に白砂をブレンドしており、きめ細かく調整を行っています。また、水はけの良さも有名です。混ざり具合が均一になるよう、シーズンオフには、内野部分を約25cm程度まで掘り起こして、土をほぐしています。

■芝 ～いつでも新緑～

外野の芝は、1928年から張られています。1982年からは二毛作を行うことで、季節を問わず、芝の緑が保たれるようになりました。この芝は、散水、除草、施肥、刈込みなど、日ごろから丹念な手入れが行われています。

■蔦 ～「伝統」の継承～

リニューアル工事で全て伐採された蔦は、2009年3月に再植樹を行いました。その際、2000年に日本高等学校野球連盟加盟校に贈られた蔦の苗木などが「里帰り」として使われました。球場全体を覆い隠すまでにはまだ数年かかりますが、現在も順調にツルを伸ばしています。

なお、この蔦による壁面緑化は、ヒートアイランド現象の緩和や空調効率の改善にも寄与しています。



## 阪神甲子園球場～年譜～

1923 (大正 12)	11.28	枝川運動場の名称の下に球場建設を決定
1924 ( 13)	3.11	起工
1924 ( 13)	8. 1	竣工式「甲子園大運動場」と命名
1924 ( 13)	8.13	第10回全国中等学校優勝野球大会を開催
1925 ( 14)	3.31	外野右中間にスコアボード完成
1925 ( 14)	3.31	第2回全国選抜中等学校野球大会を開催
1929 (昭和 4)	7.20	アルプススタンドを新設
1931 ( 6)	7.18	アルプススタンドに鉄傘を建設
1932 ( 7)	10. 1	1塁側アルプススタンド下に室内運動場及び3塁側アルプススタンド下に温水プールが完成
1934 ( 9)	3. 1	外野中央に2代目スコアボードが完成
1934 ( 9)	8.11	野球塔を建設(昭和30年代末に撤去)
1934 ( 9)	11.24	ペー・ルースらのアメリカプロ選抜チームと全日本チームが対戦
1935 ( 10)	12.10	大阪野球倶楽部(大阪タイガース)が誕生
1936 ( 11)	11.11	外野スタンドを改築
1943 ( 18)	8. 6	大鉄傘を供出
1945 ( 20)	8. 6	西宮大空襲により被害を受ける。
1945 ( 20)	10.3	進駐軍に球場を接収される。
1947 ( 22)	1.10	グラウンドとスタンドの接収が解除
1947 ( 22)	3.30	選抜高校野球大会が復活(以降、選抜高等学校野球大会として現在まで開催)
1947 ( 22)	4.13	第1回毎日甲子園ポウルを開催
1947 ( 22)	5.26	ラッキーゾーンが登場
1947 ( 22)	8.13	夏の高校野球大会が復活(以降、全国高等学校野球選手権大会として現在まで開催)
1951 ( 26)	8. 1	内野スタンドに銀傘が復活
1954 ( 29)	3.31	球場が全面的に接収を解除される。
1956 ( 31)	4.25	ナイター設備が完成
1964 ( 39)	2.14	球場名を「甲子園球場」から「阪神甲子園球場」に変更
1982 ( 57)	3. 1	銀傘をふきかえ、バックネットをステンレス製に変更
1984 ( 59)	3. 6	電光式の3代目スコアボードが完成
1991 (平成 3)	12. 5	ラッキーゾーンを撤去
1993 ( 5)	2.28	スコアボードをカラー化
2007 ( 19)	10. 1	阪神甲子園球場のリニューアル工事を開始(野球のシーズンオフを利用して、2010(平成22)年3月までⅢ期に分けて実施)
2008 ( 20)	3.11	内野エリアを中心とする第Ⅰ期リニューアル工事が完了
2009 ( 21)	3.12	第Ⅱ期リニューアル工事が完了し、球場本体のリニューアル工事が完了
2010 ( 22)	3.12	リニューアル工事(第Ⅲ期リニューアル工事)完了、竣工式
2010 ( 22)	3.14	甲子園歴史館開業
2011 ( 23)	2.28	スコアボードをLED化
2019 ( 31)	3. 9	メインビジョンをリニューアル
2019 (令和 元)	8. 1	阪神甲子園球場95周年
2021 (令和 3)	12. 9	環境保全プロジェクト「KOSHIEN“eco” challenge」を宣言
2022 (令和 4)	3. 3	阪神甲子園球場南側「甲子園プラス」に甲子園歴史館を一部移転・拡張しリニューアルオープン
2022 (令和 4)	3. 4	スタジアム照明をLED化

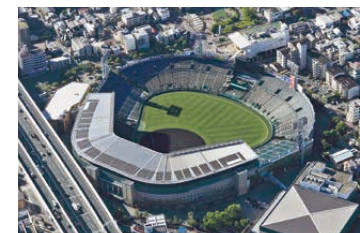
## 阪神甲子園球場～環境への取組み～

### ● 阪神甲子園球場での環境への取組み

阪神甲子園球場では、2021年12月に環境保全プロジェクト「KOSHIEN“eco”challenge」を宣言し、来場されるお客さまのご協力を得ながら、協賛企業の皆さまとともに様々な環境保全活動に取り組んでいます。

### 太陽光発電

2007年から2009年に実施したリニューアル工事に伴い新しくなった銀傘上に太陽光発電設備を設置し、2010年3月から稼働しています。年間193,000kwhを発電し、球場内で使用する電力のうち約3.6%を賄っています。火力発電に比べCO2排出量を年間で約150t削減することが可能です。今後は、将来的な太陽光発電設備の更新も含め、更なる再生可能エネルギーの活用に取り組めます。



### リサイクルカップの活用

帝人フロンティア㈱と共同で、生ビールなどの販売に使用するポリエステル製のカップをリサイクルする取組みを行っています。球場内に設置している専用回収カート又は場内売子子が回収したカップは、帝人フロンティア㈱のマテリアルリサイクル技術によって新たなポリエステル繊維に生まれ変わり、来場されるお客さまへの配布品などに活用されています。



### 再生ポリエステルを使用した「ビアカップホルダー」を開発提供

球場で回収したポリエステル製プラスチックカップを原料に、帝人フロンティア㈱と共同で開発したリサイクル商品の一つとして、樹脂製のビアカップホルダーを開発し、ノベルティとしてお客さまに提供しています。



### 雨水・井戸水の利用

リニューアル工事前から井戸水をグラウンドへの散水やトイレの洗浄水に利用してきました。リニューアル工事に伴い、2009年に架け替えられた銀傘は、従来の1.4倍の7,500m<sup>2</sup>の面積となり、井戸水だけでなく、ここに降った雨水も地下タンクに貯水され、グラウンドへの散水や場内トイレの洗浄水に使われています。





## 甲子園歴史館

### ●甲子園歴史館～阪神甲子園球場の歴史や舞台裏を体感～

野球文化の振興と野球ファンの裾野拡大を目的に、2024年に開場100周年を迎える球場の歴史と、球場を舞台として数々のドラマを生んできた春・夏の高校野球、阪神タイガースの歴史を後世に伝えるミュージアム・甲子園歴史館は2022年3月のリニューアルを経て、展示内容はもちろん、お子さまから大人まで楽しめるコンテンツが充実しました。



#### スタジアムツアー

ロッカールームやブルペンなど、普段の観戦では見ることができない阪神甲子園球場の裏側を、ガイドによる解説を聞きながら見学できるスタジアムツアーを催行しています。タイガースOBが参加するツアーや、公式戦の試合開催日には練習を見学できるコースを用意するなど、多彩なコースがあります。

※案内場所は状況によって変更となります。

#### AR KOSHIEEN Experience

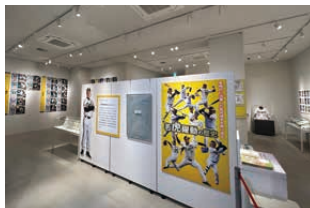
貸出のタブレットを使用して、3塁ベンチ前の人工芝エリア又はスタンドでAR(拡張現実)コンテンツをお楽しみいただけます。タブレットでは、阪神タイガースの選手が動画で登場するARフォトフレームを使用しての記念撮影や、グラウンドに現れるCGの巨大トラックキーをお楽しみいただけます。



©阪神タイガース

#### 多彩な企画展を開催

高校野球特別展、タイガース選手の記録達成などシーズン・季節に応じた企画展を行っており、リピーターも飽きさせない内容となっています。



企画展「若虎躍動の歴史」

#### 体験! タッチスタジアム

阪神甲子園球場ならではの360度映像が体感できる「VR(バーチャル・リアリティ)コーナー」やセ・パ12球団からドラフト指名を受けた気分を体験できる「ドラフト体験コーナー」のほか、阪神タイガースの選手が実際に使用した野球用具に触れる展示など、体験型のコンテンツが集結。お子さまから大人までお楽しみいただけるコーナーです。



「体験! タッチスタジアム」コーナー

#### 甲子園歴史館施設概要

- 開館日 2010年3月14日 ※2022年3月3日にリニューアルオープン
- 場所 甲子園プラス2階、阪神甲子園球場外野レフトスタンド2階
- 面積 約1,500㎡  
(内訳) 外野レフトスタンド2階…約900㎡(球場エリア)  
甲子園プラス2階…約600㎡(PLUSエリア)

- 営業時間 10時～18時(3～10月)  
10時～17時(11～2月)

※入館は閉館の30分前まで。ただし、高校野球開催時等、催し物による変更あり。  
※最新の営業情報はホームページをご確認ください。

- 休館日 月曜日(試合開催日、祝日を除く。)、年末年始  
※その他、メンテナンス等のため、休館の場合あり。

#### 6 料金

	入館料	スタジアムツアー料金	AR KOSHIEEN Experience料金	
一般料金	おとな	900円	2,000円	1,500円
	高校生	700円	1,800円	1,300円
	子ども(4歳～中学生)	500円	1,400円	1,000円

※スタジアムツアー・AR KOSHIEEN Experienceの料金には甲子園歴史館の入館料を含みます。  
※団体・歴史館倶楽部会員については各種割引があります。  
※高校生、割引料金の適用には証明書の提示が必要です。

### ●BE-STADIUM KOSHIEEN supported by STAND IN

日本初! 阪神甲子園球場を完全再現したバーチャルバッティングセンターが甲子園歴史館に併設されました。正面の大型スクリーンに向かってバッティングやピッチングをすると、CGで完全再現された阪神甲子園球場が映る映像に打球・投球が反映され、まるで甲子園で野球をしているような気分を味わえます。



- 営業時間 10時～19時(3月～10月) 10時～18時(11月～2月)  
※受付は営業終了時間の20分前まで

休業日 月曜日(試合開催日、祝日を除く。)、年末年始

#### 料金

3種セット券(バッティング、トスバッティング、ピッチングを各1回)	1,200円
2種セット券(バッティング1回+トスバッティング又はピッチング1回)	900円
トスバッティング券、ピッチング券	各400円

※長期休暇など繁忙期は3種セット券(特別料金1,500円)のみ販売

## 甲子園テニスクラブ

### ●スポーツの聖地甲子園で楽しむテニスライフ

阪神甲子園球場に隣接する甲子園テニスクラブは、13面のコート有し、インドアコート3面で開校しているテニススクールは、天候に左右されずにレッスンを受講いただけます。

#### 甲子園テニスクラブ施設概要

所在地	〒663-8151 西宮市甲子園洲島町5番50号 ☎(0798) 41-0282
開設	1926 (大正15)年5月5日
総面積	約10,000㎡
施設	屋外オムニコート10面、インドアオムニコート3面、壁打コート1面、クラブハウス2棟

### ●甲子園地域の施設案内



## 六甲山

### ●都会の喧騒を離れた六甲山上のレジャー施設 (運営：六甲山観光株式会社)

#### 六甲山開発

六甲山は明治時代、居留外国人によってレジャーの山として開発が始まりました。当社は、昭和初期の1927年から六甲山の開発に取り組んでおり、山上に展望台やオルゴールミュージアム、人工スキー場などのレジャー施設を開発し、大阪・神戸から手近なレジャースポットとして親しまれてきました。

現在、これらのレジャー施設は、グループ会社の六甲山観光(株)に貸し、同社が運営を行っています。



六甲ガーデンテラス

#### 六甲ミーツ・アート芸術散歩

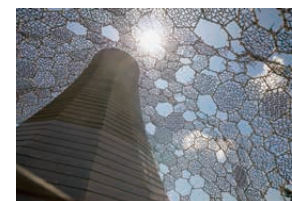
当社と六甲山観光(株)では、六甲山上を舞台とした現代アートの芸術祭「六甲ミーツ・アート芸術散歩」を、2010年から毎年開催しています。14回目となる今年は、阪急阪神ホールディングス(株)や神戸市の支援を受け、「六甲ミーツ・アート芸術散歩2023 beyond」として生まれ変わり、海外でも活躍しているアーティストの展示や新設トレイルエリア会場の散策など、“新しい六甲山の魅力”をお楽しみいただけます。



六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond  
2023.8.26-11.23 Mt.Rokko in Kobe  
写真：伊丹薫 / ロゴマーク：佐賀紳部 / アートディレクション：芝野健太(株式会社ライブアートボックス)

#### 自然体感展望台 六甲枝垂れ

現代におけるグリーンアーキテクトの第一人者である、建築家・三分一博志氏が設計を担当し、2010年7月に誕生した展望台です。芸術作品のような展望台には、自然をアートとして体感してもらえるよう工夫が施されています。2022年から開催している体験型アートイベント『シダレミュージアム』では、自然と眺望、そしてアートをお楽しみいただけます。



六甲枝垂れ

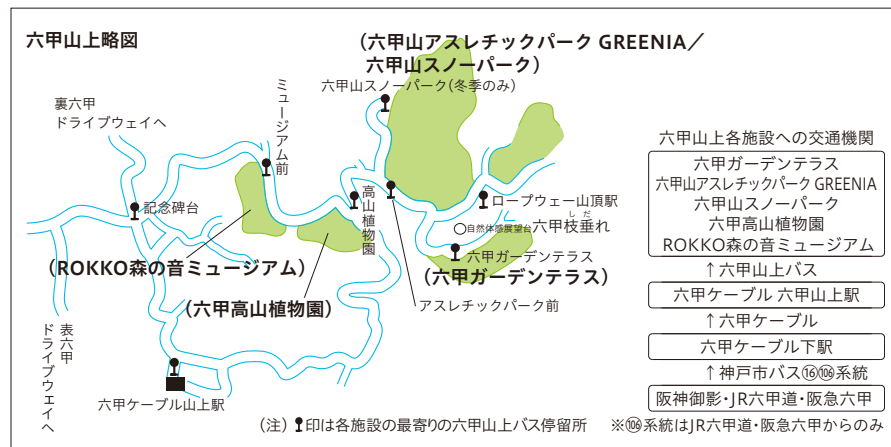
#### 六甲山アスレチックパーク GREENIA

六甲山アスレチックパーク GREENIAのテーマは「山、空、水辺。すべてが舞台の冒険王国。」です。約23万㎡(阪神甲子園球場約6個分)の広大なフィールドに、陸上・空中・水上と様々な種類のアスレチック(計174ポイント)があり、日本最大級のアスレチックパークです。合計124ポイントのアスレチックを人気動画クリエイター「フィッシャーズ」が監修しています。2023シーズンは、フィッシャーズ監修のアスレチック4ポイントが水上アスレチックに新設されました。新設されたポイントの中には、水上で手押し相撲を行うバトル型アスレチックや水上に敷かれた9mにも及ぶゴザの上を走り抜けるアスレチックなどが新登場。大人の方から小さなお子さままで、幅広い世代の方がそれぞれの体力に合わせてお楽しみいただけます。



アスレチック

## 六甲山上地区の施設案内図



## 六甲山上施設概要

施設名	施設概要	開設	総面積
六甲 ガーデンテラス	自然体感展望台 六甲枝垂れ、飲食店、物販店など 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町五介山 1877 番地の 9 ☎(078) 894-2281	2003 (平成 15)年 4月18日	約 41,000㎡
六甲山 アスレチックパーク GREENIA	アスレチック、ペダルポート、バターゴルフ、バーベキュー場など 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲 4512 番地の 98 ☎(078) 891-0366	2021 (令和 3)年 4月3日	約 230,000㎡
六甲山 スノーパーク	六甲山アスレチックパーク GREENIA 内の斜面を生かした人工スキー場、リフト3基など 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲 4512 番地の 98 ☎(078) 891-0366	1964 (昭和 39)年 1月22日	約 36,000㎡ (六甲山アスレチック パーク GREENIA 内)
ROKKO 森の音 ミュージアム	自動演奏楽器をはじめとした音の展示、体験や六甲山の自然を活かした庭、カフェなど 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲 4512 番地の 145 ☎(078) 891-1284	1994 (平成 6)年 7月21日	約 43,000㎡
六甲高山植物園	世界の高山植物や寒冷地植物など約 1,500 種を栽培、展示 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲 4512 番地の 150 ☎(078) 891-1247	1933 (昭和 8)年 5月1日	約 50,000㎡

## 主なグループ会社

## ●株式会社阪神タイガース

プロ野球の中でトップクラスの観客動員数を誇り、2020年に85周年を迎えた歴史と伝統を誇る人気球団「阪神タイガース」を経営。観客を魅了する選手たちのプレーは、日本の野球界発展に寄与し続けています。



阪神タイガース

## ●株式会社阪神コンテンツリンク

音楽エンタテインメント・スポーツ関連イベントなどのコンテンツ事業を自ら行い、ノウハウを蓄積・駆使してその価値を高めるとともに、阪神甲子園球場・阪神タイガースをはじめ様々なブランドを活かしたサービス・メディアにそのノウハウを付加することで、新しい商品・サービスをデザインし、総合的・機動的にお客さまに提案しています。

## ビルボード事業

ビルボードブランドの日本における独占的マスターライセンスとして、東京・横浜・大阪におけるビルボードライブやビルボードクラシックス、ニュースサイト「Billboard JAPAN.com」の運営、複合チャート「Billboard JAPAN HOT 100」の公表など、様々な分野でブランド開発・展開を行っています。



ビルボードライブ大阪

## インバウンド事業

「日本の新たな楽しみ方を世界に！」というスローガンの下、自然、文化、風習、食など日本の魅力を新たな視点で深掘りし、WEB・SNSで発信するほか、エンタテインメント・イベントの運営を行っています。



日楽座

## 商品事業

阪神タイガース関連、鉄道関連など様々な分野のコンテンツについて、企画から開発、制作、商品化、権利処理そして販売まで、事業のトータルプロデュースを実現しています。また、自分だけの公式ファングッズを作成できる「Merchan.jp (マーチャンドットジェーピー)」事業も展開しています。



阪神電車グッズ

## ベースボール関連事業

当社グループの広告代理店として、阪神甲子園球場の広告媒体の販売や、イベント・キャンペーンなどの立案・運営を行っています。また、プロ野球球団「阪神タイガース」とのタイアップや鉄道、不動産、各レジャー施設を活用した企画など“阪神”ならではのコンテンツを生かした企画はご好評をいただいています。



## SD事業

サイン・デザインのプロフェッショナルとして、豊富な知識と経験をもとに、コンセプトワークから設計、施工、メンテナンスまで、ワンストップでサービスを提供しています。

## ●株式会社ウエルネス阪神

フィットネス事業を通じて、地域の皆さまの心と身体の健康づくりに貢献するほか、スタジアム事業及びディップドッツ・アイス事業を通じて、多くの人々に夢や感動を与えるスポーツ・エンタテインメントをより楽しんでいただくためのフードサービスを提供しています。

### フィットネス事業

甲子園駅前において、24時間利用可能なジムスペースをはじめ、スタジオやプールを有する総合型フィットネスクラブ「タイガースフィットネスクラブ ラフィット」を経営しています。

また、阪急阪神沿線における健康増進イベント等を通じて「健康寿命の延びる沿線」の実現の一端を担っています。



### スタジアム事業

多くの人々に夢や感動を与えるスポーツ・エンタテインメント。そのスタジアムにお越しのお客さまに、より一層スポーツ観戦を楽しんでいただけるよう、スタジアム内でしか味わえないグルメや観戦時に欠かせないグッズなどを豊富に取り揃えています。



### ディップドッツ・アイス事業

マイナス196℃の瞬間冷凍技術により、つぶつぶ・さらさらの新食感を実現し、おいしさをギュッと閉じ込めたアメリカ生まれのスイーツ「ディップドッツ・アイスクリーム」。多くの国で愛されている同商品の日本国内での輸入販売総代理店として、全国の遊園地やテーマパーク等に同商品を提供しています。



# 情報・通信事業

情報・通信事業では、ビルのセキュリティシステムや、交通関連の運行システムの開発・提供のほか、ケーブルテレビ放送・インターネット・電話、あんしんサービス、ロボットプログラミング教室など、様々な日々の暮らしをサポートするサービスを提供しています。



## 情報サービス事業

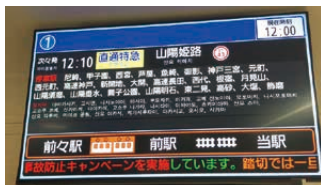
情報サービス事業では、交通システム・エンタープライズソリューション・インターネットソリューション・医療システム・ビルシステムの事業を展開しています。また、登下校メールサービス「登下校ミマモルメ」や、ロボットプログラミング教室「プログラボ」など、日々の暮らしを安心・快適にするサービスも提供しています。

### ●アイテック阪急阪神株式会社

ビル・交通などの社会インフラに関するシステム、EC（電子商取引）サイトの構築・運営やWEBサイト制作をはじめとするインターネット関連サービス、臨床検査・健診などの医療システムに加え、企業向けシステムの開発・運用やAIなどの最新技術を活用したソリューションを提供することで、お客さまのDXを幅広く推進しています。

#### 交通システム

安全な鉄道運行や、ダイヤ乱れの迅速な回復、阪神甲子園球場での催事に対応した臨時停車・増発をサポートする「列車運行管理システム」、運行状況を表示・放送してお客さまへの案内をスムーズに行う「旅客案内システム」など、安心で快適なシステムを開発・提供しています。



旅客案内システム

#### エンタープライズソリューション

多様な業種・業態からの期待に応えてきた実績を活かし、お客さまのITパートナーとしてあらゆる課題を解決するソリューションを提供します。データ統合によるデジタルマーケティングの確立、業務システムのクラウド化、ワークスタイル変革対応など、DX推進を支援しています。

#### インターネットソリューション

インターネット上で商品を販売するEC（電子商取引）サイトの構築・運営をはじめ、WEBサイト制作や、サーバ構築・運用・管理、インターネット接続サービス「Tigers-net.com」などを展開し、高度情報化社会のビジネスをサポートしています。



WEBサイト制作例

#### 医療システム

臨床検査・健診・感染制御支援など、医療現場の医師や患者サービスに役立つシステムのほか、企業の健康経営を支援するシステムなど、かけがえのない命と健康を守る様々なサービスを提供しています。

#### ビルシステム

屋内に設置されている機器設備を監視する中央監視システムや、ビルの機器設備を遠隔地から監視制御することができる群管理システムのほか、テナントへのサービスやビルマネジメントのための様々なアプリケーションと、これらを連携させるための統合ネットワークなど、ビルやその他の建物に関わる様々なシステムを開発・提供しています。

### ●株式会社ミマモルメ

ICタグを持った子どもが学校の校門を通過すると、保護者の方へ通知がアプリ・メールで届く「登下校ミマモルメ」や、子ども向けロボットプログラミング教室「プログラボ」を運営しています。

#### 阪神あんしんサービス「登下校ミマモルメ」

2011年4月、関西地区の小・中・高等学校を中心にサービスを開始し、現在は全国で32万名以上の方を見守っています。学校以外では学童保育施設等への導入が増加しているほか、自宅の出入りの通知にも対応しています。また、登下校中の子どもの現在地が分かる「ミマモルメGPSサービス」も提供し、保護者の方に更なる安心をお届けしています。



#### 子どもや高齢者の見守りサービス「まちなかミマモルメ」

「登下校ミマモルメ」の仕組みを応用して2016年3月から展開している「まちなかミマモルメ」は、街の様々なところに受信機を取り付けて、発信器を持った子どもや高齢者がその付近を通過すると、家族や保護者の方にアプリを通じて通過時間などをお知らせするサービスです。兵庫県伊丹市のほか、兵庫県加古川市、京都府長岡京市、大阪府大東市、奈良県三郷町、三重県木曽岬町、埼玉県戸田市などでもサービスを提供し、子どもの校門通過だけでなく登下校ルートの通過情報や高齢者の移動状況、家庭用受信機の設置により自宅の出入りも分かると好評を得ています。更に、独自のアプリケーションと連動し、ボランティア登録している方々に捜索協力の依頼ができるサービスも展開し、街全体での見守り体制の構築に貢献しています。





## ロボットプログラミング教育事業「プログラボ」

「プログラボ」は、当社と讀賣テレビ放送(株)との共同事業として、「プログラボ教育事業運営委員会」を組成し、2016年4月からロボットプログラミング教育事業を展開したもので、2017年10月からは(株)ミマモルメが運営しています。

「プログラボ」は、ロボットプログラミング教育を通じて、日本の未来を担う子どもたちが、筋道を立てて考える力や物事を深く考える力、目標に向かい最後までやり抜く力を育むことで、将来、自身の夢を実現し、世界に羽ばたき活躍してほしいとの考えの下、現在、直営校・フランチャイズ展開・校内教室を合わせて80校を開校しています。

フランチャイズ展開では、全国各地の鉄道会社や学校法人、音楽教室など、地域に根差し、その地域の価値創造や次世代育成に取り組んでいる企業と、積極的に提携を進めています。

また、「校内教室」では、放課後の学校内で在校生を対象にプログラボのカリキュラムを用いて授業を行っています。更に、「プログラボ」の講師が学校に出向き授業を行う「出張授業」などにも取り組んでいます。



## STEAM教育の実践

プログラボでは、単科に閉じた習熟に留まらず、実社会の課題に紐づけながら教科横断的に学ぶ教育であるSTEAM教育を実践しています。

また、AI開発に特化した上級講座「AIラボ」、理科の実験装置から手作りする「サイエンス講座」、ICT機器を使ったモノづくり講座「プログラボクリエイターズ」、新聞記者が教える「ロジカルリーディング・ライティング講座」など、普段の講義以外でもSTEAM教育を届けられるよう、カリキュラムの拡充に取り組んでいます。

※STEAMは「Science:科学」、「Technology:技術」、「Engineering:工学」、「Art:教養・芸術」、「Mathematics:数学」の頭文字を取った言葉。STEAM教育:変化の激しい今後、ますます必要となる「新たな価値を生み出せる人材」を育てるために有効だと、いま世界中で取り入れられています。



## プログラミング教育導入準備支援サービス

2020年以降の教育現場におけるプログラミング教育必修化対応を支援するサービスです。大阪府交野市では、年間指導計画の立案と、それに沿ったプログラミング学習の支援を行っています。また、大阪市においては、同市の「プログラミング教育推進事業」の協力会社に選定されており、大阪市内の小中学校における授業づくりやプログラミングを体験する機会の提供などに協力しています。



## 放送・通信事業

放送・通信事業では、地域密着の情報メディアであるケーブルテレビ放送に加え、有線及び無線のインターネットサービスなどを提供しています。

### ●株式会社ベイ・コミュニケーションズ

大阪市西部と兵庫県尼崎市、西宮市、伊丹市で視聴可能な935,200世帯(2023年3月末現在)に向けてケーブルテレビ・ネット・電話の三つのサービスに加え、無線インターネットサービス「Baycom LTE」を提供しています。このほか、日常生活をサポートする様々なサービスも提供しています。



### ●姫路ケーブルテレビ株式会社



兵庫県姫路市、太子町、宍粟市、佐用町、上郡町、播磨科学公園都市、夢前町、神河町で視聴可能な131,765世帯(2023年3月末現在)に向けてケーブルテレビ・ネット・電話の三つのサービスを提供しています。このほか地域密着のサービスとして地域BWAの設備を利用した姫路城LIVE映像のネット配信や、コミュニティチャンネル「ひめチャン」では、播州秋祭り、姫路お城まつりなど、地域密着のコンテンツを放送しています。また、夢前町では災害・防災情報や自治会情報などを音声で届ける告知放送サービスを提供しています。

### ●BAN-BANネットワークス株式会社

兵庫県加古川市、高砂市、稲美町、播磨町で視聴可能な55,991世帯(2023年3月末現在)に向けてケーブルテレビ・ネット・電話の三サービスに加え、地域BWAサービス「BAN-NET Air」を提供しています。また、コミュニティチャンネルやコミュニティFMも放送しています。



### ●阪神ケーブルエンジニアリング株式会社

ケーブルテレビの調査・設計・施工・保守、鉄道設備、防犯カメラなどの電気通信工事を実施しています。また、電気通信事業者や一般企業向けに鉄道軌道沿いの光ファイバーを貸し出す光賃貸事業、高速無線インターネット接続サービス「Hai connect」を提供する地域BWA事業などで、地域の情報通信ネットワークを支えています。





## ●地域BWA

2015年9月に阪神ケーブルエンジニアリング(株)が免許取得し、2016年3月以降、同社及び(株)ベイ・コミュニケーションズ、姫路ケーブルテレビ(株)、BAN-BANネットワークス(株)、アイテック阪急阪神(株)がLTE方式での地域BWAサービスの運用を開始しました。

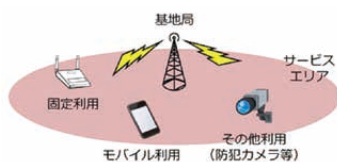


基地局

### 地域BWA (Broadband Wireless Access) とは

情報格差(デジタル・デバイド)の解消や公共の福祉などの地域に密着したサービスの実現を目的とした2.5GHz帯の電波を用いた電気通信業務の無線システムです。

当社グループでは、コア設備や複数の基地局を設置し、地域の様々な情報通信網として活用しています。



### 地域BWAを活用した無線インターネットサービス

(株)ベイ・コミュニケーションズ、BAN-BANネットワークス(株)、阪神ケーブルエンジニアリング(株)では、京都市から大阪市、加古川市に至る23の自治体において、地域限定型の無線インターネットサービスを提供しています。

また、地域BWAのコア設備を全国約60社のケーブルテレビ事業者へクラウド提供しており、各社の無線インターネットサービスを支えています。



ホームタイプ モバイルタイプ  
Hai connect 端末例

### 地域BWAを活用した自治体向けサービス

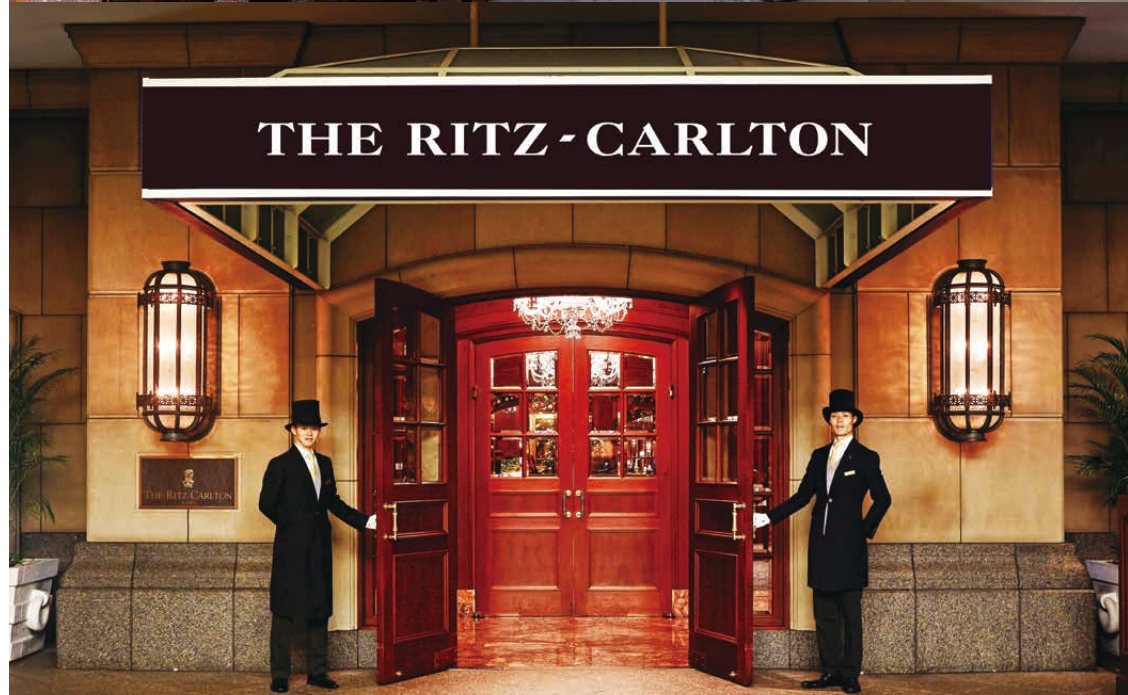
地域BWAの通信網を活用し、地方自治体による地域の安心を守るサービスも提供しています。兵庫県伊丹市が実施している「安全・安心見守りネットワーク事業」や兵庫県西宮市、東京都足立区、杉並区の防犯カメラ設置事業で活用され、小学校の通学路・公園・道路・河川などに設置した監視カメラと市役所などを結ぶことにより、町全体の子どもの安全や犯罪の抑止、事件・事故の早期解決、大雨等災害発生時の河川監視などの災害対策に役立っています。



カメラ設置例(伊丹市)

# ホテル事業

ホテル事業では、ラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン大阪」の経営を行っています。





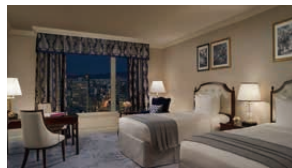
## ホテル事業

### ●株式会社阪神ホテルシステムズ

米国本拠のザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー L.L.C.が運営するラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン大阪」を運営しています。同ホテルは、ザ・リッツ・カールトンの日本第一号として1997年に開業し、2022年に開業25周年を迎え、「フォーブス・トラベルガイド」2023年の「ホテル部門」において、大阪のホテルで“初”そして“唯一”の5つ星を獲得しました。

#### 客室

贅沢なインテリアとアメニティを備えた291室の客室の中には、専属のコンシェルジュによるパーソナルなおもてなしをご提供する「ホテルの中のホテル」ともいわれるザ・リッツ・カールトン・クラブレベルも用意しています。大阪の美しい街並みやスカイビューが一望できる特別な空間で、優雅なご滞在をお楽しみいただけます。



#### レストラン

「ミシュランガイド京都・大阪2023」に一つ星として掲載されているフランス料理「ラ・ベ」、「天ぶら 花筐」のほか、伝統的な広東料理にモダンなエッセンスを加えた中国料理からイタリア料理まで贅を尽くした格別のお料理を各種用意しています。



#### 宴会&会議

10種の宴会場や会議室があり、最大1,500名収容できるザ・グランド・ボールルームを完備しています。18世紀の貴族の邸宅を思わせる気品ある優雅な空間、至福のお料理、そして心のこもったおもてなしで、思い出に残る特別なひと時をお過ごしいただけます。



#### ウェディング

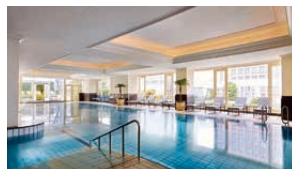
教会式と神前式のウェディングを行うことができます。また、フォトスタジオ、ビューティーサロン、フラワーブティック、国内ブランドや海外からの多数のブランドを揃えたコスチュームサロンなどをホテル内に完備しています。



#### スパ&フィットネス

屋内プール、屋外ジャグジー、スチームルームやサウナなどをお楽しみいただけます。

スパのメニューでは、英国生まれのスパブランド「ESPA」やスイス発のラグジュアリーブランド「La Prairie」のプロダクトを使用。抹茶成分を取り入れた紫翠デトックスフェイシャル、大阪の地酒を使用した喜色ピュリファイアー&リバランサーなど、日本ならではのトリートメントを体験いただけます。



## 建設・環境事業

建設・環境事業では、公共施設から民間施設にわたる社会・生活インフラの建設工事のほか、阪神甲子園球場の芝生管理・グラウンド整備なども行っています。





## 建設・環境事業

### ●株式会社ハンシン建設

長年の豊富な経験を基に、総合建設業あるいは専門工事業として、土木・基礎・建築・リニューアルの各事業を展開しています。

#### 土木事業本部

基盤整備・河川道路・鉄道施設・橋梁設備などの土木工事や推進工事について官庁工事、各種公共工事からゼネコン・民間工事まで、豊富な経験と高い技術力を活かし、環境と調和する豊かで快適な暮らしの基盤をつくります。



近畿自動車道 南谷北工事

#### 基礎事業本部

地盤や地質ほか様々な条件に対応可能な工法及び機械を用い、低騒音・低振動・リサイクル率の向上など、環境に配慮した基礎工事や地中障害撤去工事を行っています。



梅田3丁目障害撤去工事

#### 建築事業本部

マンション・物流倉庫・学校などあらゆる用途の建物や、太陽光発電施設まで、豊富な施工実績と質の高い技術で、お客さまのご要望に合わせプランニングから工事竣工まで承ります。



物流センター太陽光発電設備

#### リニューアル事業本部

当社グループの施設などの改修工事や、既存ビル、マンションリニューアルなどの大規模改修、オフィス・商業施設などの改修工事を行っています。



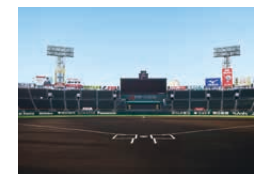
マンション大規模修繕

### ●中央電設株式会社

総合設備工事会社として、ビル・工場建設などにおける電気設備工事、空調・衛生設備工事、省エネルギー化工事を行い、更に当社などにおける架線工事などの鉄道電気設備工事も行っています。

#### 内線工事部門

オフィスビルや集合住宅、病院、リゾート施設、工場など建物の電気設備工事を行っています。新築工事だけではなくリニューアル・改修工事にも対応し、受変電、動力、照明、通信、防災、自動制御といった設備の設計と施工、アフターフォローまで対応しています。



阪神甲子園球場

#### 鉄道電気工事部門

主に当社や山陽電気鉄道(株)、大阪市高速電気軌道(株)などの鉄道会社における、電車線、信号・通信設備、変電所、駅舎内の鉄道電気設備などの新設・更新・補修を行っています。鉄道における輸送の安全・安定性、お客さまの快適・利便性向上に寄与しています。



甲子園駅

#### 設備工事部門

建物における空調・衛生・給排水・昇降機などの工事を行っています。大規模商業施設、駅など公共施設のリニューアルが中心で、工事の際は電車の運行や一般のお客さまに影響がないよう配慮し、お客さまへ安全かつ快適な空間を提供しています。



大阪梅田駅

#### 計装工事部門

プラントにおける計装工事を行っており、新設時は水、空気、ガスなどの流量や圧力・温度・液位・制御弁などの自動計測制御するために必要な計測機器の取付けなどを行っています。プラント完成後はコンビナート内に常駐し、化学プラント計装の効果が一十二分に発揮できるよう、お客さまをサポートしています。



鹿島コンビナート

#### エネルギーソリューション事業

「省エネ・環境対策のワンストップサービス」として、「調査」「診断」「運用改善」「設備更新」「効果検証」「最適運用」まで、一連のサービスをワンストップで提供し、省エネ化の実現をサポートしています。より豊かな未来の創造に向け、サステナブル経営への取組みとして、お客さまのエネルギーソリューションを通して持続可能な社会の実現に貢献しています。



兵庫三田太陽光発電所



## ● 阪神園芸株式会社

公園、庭園、修景施設などの造園工事、樹木や花壇などを維持、改善する緑地管理、室内の緑化空間を演出する緑化装飾、阪神甲子園球場をはじめとするグラウンドの整備などを行っています。

### 造園工事

公園、街路樹、庭園、建物外構といった植栽工事を行います。施設・地域の特性やお客さまのニーズに応じて、デザイン、設計から手がけ、施設の価値を高めます。屋上緑化、壁面緑化といった特殊緑化にも対応します。



大阪梅田ツインタワーズ・サウス  
12階屋上広場

### 緑地管理、緑化装飾

植栽を適切に維持して美しさを長期間保つとともに、状況に応じた改良でみどり空間の魅力向上を図ります。屋内緑化については、家庭や職場、商業施設などに植栽を導入することで、リラックスできる快適な生活環境を提供します。



阪急西宮ガーデンズ屋上

### スポーツ施設整備

阪神甲子園球場において質の高い試合環境を提供することはもとより、ここで得られた経験を基にしたグラウンド整備により、競技場、学校、企業グラウンド、地域のスポーツ広場など、様々なスポーツシーンを創出します。



阪神甲子園球場

### FM (ファシリティ・マネジメント)事業

公園をはじめとした人々が集う施設について、施設を適切に管理するとともに、情報発信やイベントなどを通じて利用価値を高め、行政・諸団体・市民の方々と協働して地域の活性化に貢献します。



神戸布引ハーブ園

# 魅力あふれる沿線へ

当社は、地域と密着した様々な取組みを通じて、だれもが「住んでよかった」「働いてよかった」「訪れてよかった」と実感できる魅力あふれる沿線の実現を図ってまいります。





## 沿線活性化の取組み

### 尼崎エリア・甲子園エリアの活性化の取組み

魅力あふれる沿線の実現のため、尼崎や甲子園エリアを「重点取組エリア」とし、地域の関係者(自治体、企業、大学など)と一緒に、阪神沿線の魅力を向上・発信する活動を行っています。

#### <尼崎エリア>

尼崎市と当社は、持続可能なまちづくりや地域活性化など、尼崎市内の阪神沿線における都市再生を目指した取組みの推進に関する協定を2021年12月に締結し、連携・協力を進めています。

2023年度からは、当社を代表とする共同企業体が、中央公園や尼崎城など、阪神尼崎駅周辺公共施設の管理や運営を担い、エリアの賑わい創出を行っています。また2023年3月、尼崎市と当社が「中央公園及び周辺地域のさらなる魅力向上に向けた公園施設設置管理協定」を締結し、阪急阪神不動産(株)とともに中央公園のリニューアルに着手するなど、官民連携による尼崎エリアのまちづくりを推進しています。

そのほか、尼崎駅南側の寺町・開明町エリアにおいて、尼崎信用金庫と共同で、まちづくりの担い手育成などを通じて地域活性化を目指す「てらまちプロジェクト」に2017年から取り組んでいます。

#### <甲子園エリア>

甲子園駅周辺から甲子園海浜にかけたエリアの特色である、スポーツやレジャーを日常的に楽しめる豊かな環境を生かし、交流・定住人口増加を目指す活動を行っています。西宮市や地域事業者・団体との連携により、「甲子園エリアのPR」、「賑わい創出イベントの実施」などに取り組んでいます。

### UR都市機構との連携

当社は、独立行政法人都市再生機構と地域の交流、暮らし、健康などの分野で相互に協力し、阪神沿線のUR賃貸住宅団地を中心とした地域の活性化に資することを目的とする包括連携協定を2020年3月に締結しました。

当社がこれまで取り組んできた子育て支援やウォーキングなどのイベントをUR賃貸住宅団地と協力して実施しているほか、武庫川線で運用していた「赤胴車」の愛称で親しまれた車両が、UR武庫川団地内に地域のコミュニティ拠点として2021年7月に設置されました。当社はURグループが開催している「赤胴車マルシェ」に参画するなど、「赤胴車」を活用した地域活性化に取り組んでいます。



地域のコミュニティスペース「赤胴車」

### 「灘の酒蔵」活性化プロジェクト

「灘五郷」は、阪神沿線の神戸から西宮にかけて、西郷、御影郷、魚崎郷、西宮郷、今津郷の五つの地域から成る日本を代表する酒どころです。「灘五郷」の酒蔵や日本酒の魅力を多くの方に発信し、足を運んでいただくことを目的として、2017年から、灘五郷酒造組合、神戸市及び西宮市と連携し、『「灘の酒蔵」活性化プロジェクト』に取り組んでいます。

ラッピングトレインの運行や同トレインの貸切運行ツアーの実施、酒蔵の最寄り駅の装飾、各種イベントの開催など、「灘の酒蔵」を盛り上げるための取組みを行っています。



ラッピングトレイン貸切運行ツアーの様子

### 沿線医療機関との連携

阪神沿線は医療機関が充実し、安心して暮らせる沿線であるということを知っていただくとともに、沿線住民の健康意識を高めるための取組みを神戸大学医学部や兵庫医科大学などの沿線医療機関と連携して推進しています。

2015年3月から、健康増進に役立つ情報を提供する「阪神沿線健康講座」を定期的に開催しているほか、2016年8月からは、お子さまからシニアまでの幅広い世代が最新の医療や健康づくりを楽しく学べる体験型イベント「なるほど医学体験! HANSHIN健康メッセ」を継続開催しています。



なるほど医学体験!  
HANSHIN健康メッセ

### HANSHIN女性応援プロジェクト

阪神沿線にお住まいの方が充実した毎日を過ごせるよう、暮らしに役立つ情報やサービスをお届けする「HANSHIN女性応援プロジェクト」に2014年11月から取り組んでいます。

WEBサイト「Cheer\*full Cafe」では、阪神沿線が好きな「チアフルライター」が取材した沿線のおすすめスポットを紹介するなど様々な情報を掲載し、公式LINEなどのSNSでは、沿線のイベント情報も定期的に発信しています。

また、親子向けイベント「チアフル親子カフェ」や、育児・家事と仕事の両立に役立つセミナー・交流会を行う「スキルアップサロン」など沿線各地で様々なイベントを行っています。



チアフル親子カフェの様子

## 「阪神間」ブランド発信のための取組み

2017年から、沿線の自治体と連携し、「阪神間連携ブランド発信事業」を行っています。これは、明治から昭和にかけて阪神間で生まれた、先進的で上質な文化や生活様式「阪神間モダニズム」を受け継ぐ地域の魅力を発信し、地域の活性化と都市ブランドの向上を図るための取組みです。

その一環として、実際に街を巡って現代の阪神間モダニズム文化を楽しむことができる「阪神KANお散歩マップ」を2019年から2022年にかけて計6回発行しました。

また、2022年度にはデジタルスタンプラリーのほか、「阪神間モダニズム」に関するセミナーやバスツアーを開催しており、今後も継続した魅力発信に取り組んでいきます。



バスツアーの様子

## 武庫川女子大学との連携

鳴尾・武庫川女子大前駅高架下空間の有効活用策の検討を機に、当社と武庫川女子大学は、包括連携協定を2018年12月に締結し、経営学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部などと産学連携の取り組みを実施しているほか、鳴尾・甲子園エリアを中心とする沿線での「地域と共生するまちづくり」を目指し、ミニコミ誌「なるお通信」の発行や「鳴尾ふれあいイベント」の開催など、駅周辺地域のエリアマネジメント活動に連携して取り組んでいます。この取り組みが評価され、2022年のグッドデザイン賞(公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。



鳴尾ふれあいイベント

## #ほっとはんしん プロジェクト ～ここに寄り添い ところでつながる～

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、阪神沿線の街に暮らすみなさんの“こころ”に寄り添い、つながるプロジェクトとして開始しました。日常を取り戻しつつある現在は、一緒に明るく前に進めるような企画を展開しています。

これまでに、特設ページやSNSで、自宅でも楽しめるWEBコンテンツ、皆さまとのつながりや新しい生活様式に向けた企画を発信し、2021年10月からは「阪神グループでなんとかなりそうなお夢大募集！」を企画・実施しています。



第1回	大賞	「笑いの電車」(落語電車)の運行	2022年5月実施
第2回	大賞	ROKKO 森の音ミュージアムでのヴァイオリンリサイタル	2023年3月実施
//	特別賞	イメージキャラクターであるバクの命名式(神戸どうぶつ王国)	//

# サステナビリティの取組み

当社は、経営理念である「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすることで、お客さまの喜びを実現し、社会に貢献するために、当社グループのありたい姿(沿線・会社・社員)を掲げています。サステナビリティの分野においても、この3つのありたい姿の実現に向けた取組みを推進しています。

## 環境保全活動

当社では、企業行動指針に盛り込まれた環境保全への積極的な取組みを実行するための行動原則である「環境方針」を定め、環境の保全や資源の保護に配慮した事業活動を推進しています。

## 環境方針

当社は、企業行動指針に基づき、環境に配慮した事業活動を推進し、持続的に発展可能な社会の構築に寄与するため、次のとおり環境方針を定める。

- (1) エネルギー効率の高い交通機関である鉄道の事業者として、安全で快適な輸送を提供するとともに、その利用促進に努めます。
- (2) 環境に関連する法規制や当社が様々な関係者との間で取り決めた事項を遵守するとともに、必要に応じ自主基準を策定して環境保全に努めます。
- (3) 事業活動による環境への影響を認識し、環境の保全に関する目標の設定と達成に向けた取組み及びデータに基づいた効果の検証を行い、環境保全活動の継続的改善を図ります。
- (4) 省資源・省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルを図り、また、環境汚染物質の発生の抑制、適正な管理・処分を行い、環境負荷の低減や資源の保護に努めます。
- (5) 社員に対する環境教育や啓発活動により、社員自らが自主的に環境保全活動を遂行できるよう、社員一人ひとりの環境問題に対する意識の向上に努めます。
- (6) 地域社会を構成する一員として環境保全活動の取組みを推進し、地域社会に貢献します。

(注) 各事業における環境への具体的な取組みにつきましては、それぞれの事業のページでご紹介しています(都市交通P.34、不動産P.56、スポーツ・エンターテインメントP.67)。



5700系



## 子ども向けの取組み

### 下敷きの贈呈

2008年春から毎年、沿線の小学校に通う新一年生に、沿線のイラストマップなどをデザインした阪神電車オリジナル下敷きを贈呈し、次世代を担う子どもたちのファンを作り、将来の鉄道利用の促進につなげています。

### 「ぼくとわたしの阪神電車」絵画募集

開業100周年を記念して、2005年から「ぼくとわたしの阪神電車」をテーマとした絵画コンクールを行っています。毎年、子どもらしい想像力豊かな阪神電車の絵を多数応募いただき、大賞のお子さまには、1日駅長を体験していただいています。

### キッズニア甲子園への出展

2009年開業の子ども向け職業・社会体験施設「キッズニア甲子園」に、阪急阪神ホールディングス(株)と連携して、電車パビリオンを出展しています。運転士・車掌の業務を体験していただくことを通じて、安全・安心な生活の足を提供する当社の仕事や、その大切さを子どもたちに伝えています。



2022年度の下敷きデザイン



2021年度大賞受賞作品



「キッズニア甲子園」での電車パビリオン

## 社会貢献活動

### 「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の推進

阪急阪神ホールディングスグループは、100年以上の長きにわたり、阪急阪神沿線を中心とした地域社会に生まれ、信頼関係を築いてきました。これからの100年も、この地域社会の一員として歩んでいくために、2009年4月から、当社でも社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を推進しています。



私たちは、未来へつなぐ「地域環境づくり」と「次世代の育成」に貢献します。



プロジェクト10周年を記念した特別企画列車「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」  
2025年まで継続運行予定

#### 基本方針

阪急阪神沿線を中心に、私たち一人ひとりが関わる地域において、「未来にわたり住みたいまち」をつくることを目指します。

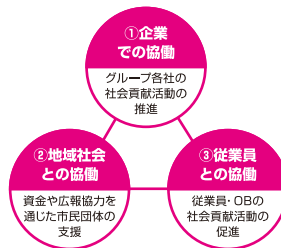
#### 地域環境づくり

地域コミュニティが安全・安心かつ文化的で、環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくりに取り組みます。

#### 重点領域

#### 次世代の育成

未来の地域社会を担う人材である子どもたちが、夢を持って健やかに成長する機会を創出します。



## コンプライアンス

当社が社会の一員として活動し、ステークホルダー（利害関係者）との良好な関係を維持しながら持続的に成長・発展していくためには、コンプライアンスに対する感度を高め、組織的にコンプライアンス遵守の徹底を図っていく必要があります。

当社では、「企業行動指針」の下、「コンプライアンスに関する役職員の行動基準」を制定し、役職員がコンプライアンスを実践するうえでの指針とするほか、「コンプライアンス規程」を制定し、コンプライアンスの推進体制を構築しています。また、同規程の中で、コンプライアンスを「法令、会社の定める諸規程その他企業倫理に則って誠実に行動することにより、株主、取引先、社員、地域住民その他の利害関係者の期待に応えること」と定義し、コンプライアンスの推進に積極的に取り組んでいます。

### 教育・啓発

階層別にコンプライアンス研修を実施するほか、阪急阪神ホールディングス(株)と連携して各種法令等に関する法務セミナーを開催しています。また、社内報を活用して定期的にコンプライアンス情報を発信することにより、コンプライアンス意識の浸透に努めています。

更に、毎年11月を「コンプライアンス強化月間」と定め、コンプライアンス推進に関する各種施策を集中的に実施するなど、コンプライアンス遵守に対する取組みの強化を図っています。

### コンプライアンス相談制度

役員、社員、アルバイト、派遣社員等、雇用形態を問わず、グループ会社を含む全ての役職員（退職後1年以内の役職員及び取引先関係者も含まれます。）が利用できるコンプライアンス相談窓口を設置しています。また、役職員が相談窓口を利用しやすいよう、電話やメール、面談等、複数の利用方法を設け、コンプライアンス上の問題を早期に把握し、違反を防止又は是正する体制を整備しています。

## リスク管理

当社では、「リスク管理規程」に従い、リスクの現実化の未然の防止及びリスクが現実化したときの損失の最小化を図るため、グループ全体を対象として、定期的にリスク調査を実施しています。

また、当社及びグループ会社のリスクに関する情報の共有やリスク現実化時における対応策等の協議を行うため、定期的にリスク管理委員会を開催し、現実化したリスクを含め、取締役会に重大なものについて報告しています。

## 会社の概要等

### 会社概要・社章

#### ●会社の概要

会社名	阪神電気鉄道株式会社 (HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.)
設立	1899 (明治32)年6月12日
営業開始	1905 (明治38)年4月12日
本社	大阪市福島区海老江1丁目1番24号(〒553-8553)
東京事務所	東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル17階(〒100-0006)
資本金	29,384,485,857円
主な事業内容	1 鉄道事業(電気鉄道業48.9km) 2 不動産事業(賃貸業など) 3 スポーツ・レジャー事業(野球場などの経営)
営業収益	76,263百万円(2022年度)
従業員	1,514人(出向受入者、出向などの休職者を含む。2023年4月1日現在)
URL	<a href="https://www.hanshin.co.jp/">https://www.hanshin.co.jp/</a>

#### 社章の由来

レールの断面を稲妻で囲み、電気鉄道の意味を簡明に象徴しています。

1905 (明治38)年に大阪～神戸間の鉄道営業を開始したころの同業者は、京都、名古屋、大師の各電鉄のほか、1903 (明治36)年に電車に代わった東京の馬車鉄道と大阪の築港～花園橋間に走った魚釣り電車しかなく、いずれも小型の市内電車で、本格的な広軌高速による都市間大型電車の運行は、当社が最初でした。

したがって、電気鉄道であることを表す以外に、他社との識別の必要がなかった当時の特色が、よくうかがわれます。



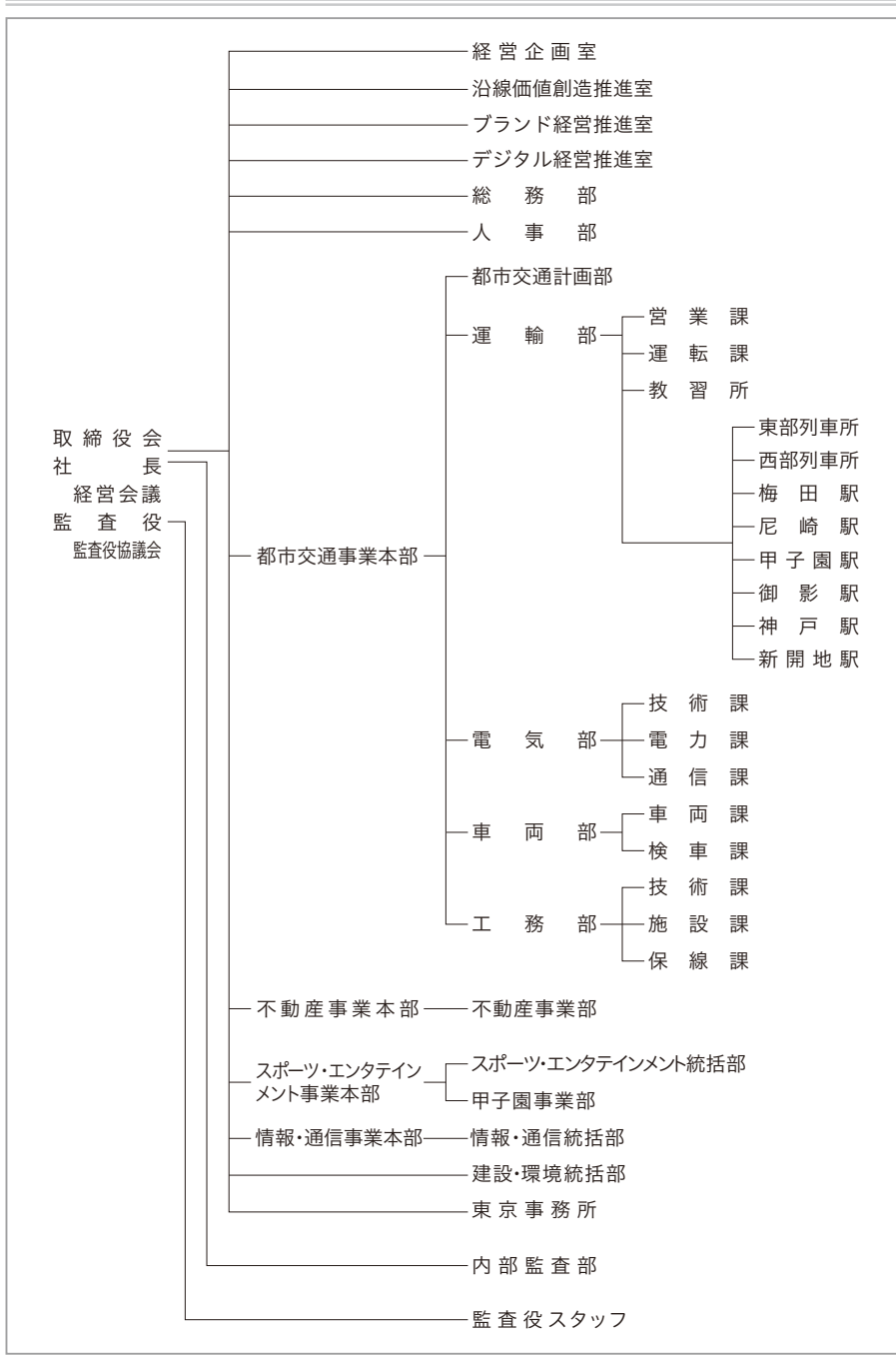


役員

	氏名	担当又は主な職業
代表取締役会長	しん 秦 雅夫	(株)阪神タイガース代表取締役・取締役会長 山陽電気鉄道(株)取締役
代表取締役社長	くす 久須 勇介	阪急阪神ホールディングス(株)代表取締役・副社長
代表取締役副社長	ささ き ひろし 佐々木 浩	社務総括、都市交通事業本部統括並びに総務部、人事部、建設・環境統括部及び東京事務所担当
常務取締役	おがわ ひろあき 小川 浩昭	沿線価値創造推進室(正)及びブランド経営推進室担当
取締役	あげしお けんじ 揚塩 健治	不動産事業本部担当
取締役	たにもと おさむ 谷本 修	スポーツ・エンタテインメント事業本部(正)担当
取締役	たつみ きよかず 巽 清和	情報・通信事業本部(正)担当
取締役	じょうと けんじ 上戸 健司	経営企画室及びデジタル経営推進室(正)担当 (株)ステーションネットワーク関西代表取締役・社長
取締役	はらだ ひろし 原田 大	都市交通事業本部(正)担当 西大阪高速鉄道(株)代表取締役・社長
取締役	ももきた こうじ 百北 幸司	(株)阪神タイガース代表取締役・社長
取締役	ゆの き けいお 柚木 邦夫	(株)阪神ホテルシステムズ代表取締役・社長
取締役	かわむら よしのり 川村 嘉則	
取締役	しまだ やすお 嶋田 泰夫	阪急阪神ホールディングス(株)代表取締役・社長 阪急電鉄(株)代表取締役・社長
取締役	すぎやま たけひろ 杉山 健博	阪急阪神不動産(株)代表取締役・取締役会長
常任監査役	いしばし まさよし 石橋 正好	阪急阪神ホールディングス(株)取締役監査等委員(常勤)
常任監査役(常勤)	はしもと かずのり 橋本 一範	
常任監査役(常勤)	にし の さとる 西野 暁	
監査役	はまおか みねや 濱岡 峰也	弁護士(清和法律事務所)
監査役	いし い じゅんぞう 石井 淳蔵	
執行役員	ふくら ひでや 福浦 秀哉	沿線価値創造推進室(副)及び都市交通事業本部(副)担当
執行役員	あらい かずお 粟井 一夫	スポーツ・エンタテインメント事業本部(副)担当 (株)阪神タイガース代表取締役・副社長
執行役員	みやもと かずお 宮本 和男	スポーツ・エンタテインメント事業本部(副)担当 スポーツ・エンタテインメント事業本部スポーツ・エンタテインメント統括部長
執行役員	やまもと たかひろ 山本 隆弘	デジタル経営推進室(副)及び情報・通信事業本部(副)担当
執行役員	むらた とよき 村田 豊喜	都市交通事業本部(副)担当 神戸高速鉄道(株)代表取締役・社長

(2023年7月1日現在)

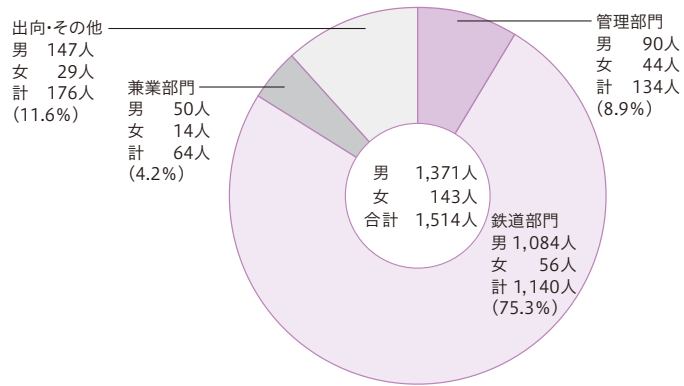
組織図



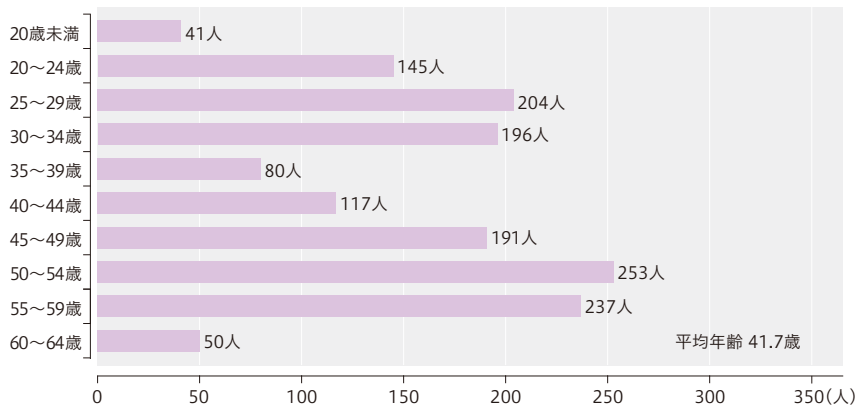
(2023年7月1日現在)

## 従業員

### ●部門別労務構成



### ●年齢別人員構成



(注)上記には、出向受入者、出向などの退職者を含んでいます。

(2023年4月1日現在)

## 財務諸表

### ●貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科目	2023年 3月31日現在		2022年 3月31日現在		科目	2023年 3月31日現在		2022年 3月31日現在	
	百万円	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円		
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	19,929	21,636	流動負債	50,021	50,180				
現金及び預金	768	633	短期借入金	5,922	5,893				
預け金	6,768	4,893	未払金	14,655	22,563				
未収運賃	3,147	2,387	未払費用	615	700				
未収金	4,729	4,655	未払消費税等	2,456	-				
未収消費税等	-	3,546	未払法人税等	1,684	224				
販売土地及び建物	689	689	預り連絡運賃	1,127	993				
貯蔵品	1,155	1,083	預り金	18,209	15,291				
前払費用	334	246	前受運賃	1,842	1,619				
その他の流動資産	2,344	3,502	前受金	2,073	1,977				
貸倒引当金	△9	△0	賞与引当金	627	582				
			その他の流動負債	806	333				
固定資産	361,191	356,236	固定負債	189,989	201,445				
鉄道事業固定資産	79,667	79,685	長期借入金	148,993	164,447				
兼業固定資産	198,779	204,068	繰延税金負債	4,315	830				
各事業関連固定資産	1,793	1,834	退職給付引当金	6,060	6,116				
建設仮勘定	4,648	4,012	その他の固定負債	30,619	30,050				
投資その他の資産	76,303	66,634	負債計	240,011	251,625				
関係会社株式	24,010	24,010	(純資産の部)						
投資有価証券	36,334	25,582	株主資本	128,519	121,187				
長期貸付金	3	6	資本金	29,384	29,384				
長期前払費用	4,907	5,256	資本剰余金	19,497	19,497				
その他の投資等	11,052	11,782	資本準備金	19,495	19,495				
貸倒引当金	△3	△3	その他資本剰余金	2	2				
			利益剰余金	79,637	72,305				
			利益準備金	4,640	4,640				
			その他利益剰余金	74,997	67,665				
			固定資産圧縮積立金	1,016	318				
			別途積立金	4,635	4,635				
			繰越利益剰余金	69,344	62,711				
			評価・換算差額等	12,590	5,059				
			その他有価証券評価差額金	12,590	5,059				
資産合計	381,121	377,873	純資産計	141,110	126,247				
			負債・純資産合計	381,121	377,873				

(参考)自己資本比率( $\frac{\text{自己資本}}{\text{使用総資本}} \times 100$ ) 2022年度末37.0% 2021年度末33.4%



● 損益計算書

(百万円未満切捨て)

科目	年度	2022年4月1日から 2023年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	比較増減額
		百万円	百万円	百万円
鉄道事業	営業収益	32,988	28,446	4,541
	営業費	29,154	27,721	1,432
	営業利益	3,834	724	3,109
兼業	営業収益	43,275	31,710	11,564
	営業費	34,297	27,317	6,979
	営業利益	8,977	4,393	4,584
全事業	営業収益	76,263	60,157	16,106
	営業費	63,451	55,039	8,412
	営業利益	12,812	5,118	7,693
営業外収益		2,418	1,968	450
営業外費用		2,138	2,339	△200
経常利益		13,092	4,747	8,344
特別利益		3,106	27,382	△24,276
特別損失		3,793	29,518	△25,724
税引前当期純利益		12,404	2,612	9,792
法人税、住民税及び事業税		3,062	△172	3,235
法人税等調整額		231	561	△330
当期純利益		9,110	2,223	6,887

● 連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科目	年度	2023年 3月31日現在	2022年 3月31日現在	科目	年度	2023年 3月31日現在	2022年 3月31日現在
		百万円	百万円			百万円	百万円
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		108,373	105,078	流動負債		71,875	75,123
現金及び預金		7,551	6,467	支払手形及び買掛金		12,977	14,868
預け金		47,160	43,439	短期借入金		6,522	6,993
受取手形及び売掛金		41,924	39,011	未払金		17,790	26,098
販売土地及び建物		676	677	未払法人税等		3,389	2,184
商品及び製品		1,286	924	賞与引当金		2,253	2,096
仕掛品		1,267	1,152	その他		28,942	22,883
原材料及び貯蔵品		2,207	2,017	固定負債		203,982	214,136
その他		6,585	11,658	長期借入金		153,043	167,897
貸倒引当金		△287	△268	繰延税金負債		4,276	820
固定資産		382,881	378,466	退職給付に係る負債		15,073	15,100
有形固定資産		305,800	310,315	長期預り敷金		25,523	24,039
建物及び構築物		193,673	200,108	その他		6,065	6,278
機械装置及び運搬具		9,954	9,886	負債計		275,858	289,260
土地		88,075	87,793	(純資産の部)			
建設仮勘定		5,511	4,843	株主資本		179,820	167,417
その他		8,585	7,682	資本金		29,384	29,384
無形固定資産		4,894	5,084	資本剰余金		21,405	21,421
投資その他の資産		72,186	63,066	利益剰余金		129,029	116,611
投資有価証券		45,274	34,849	その他の包括利益累計額		12,982	5,806
繰延税金資産		6,924	7,222	その他有価証券評価差額金		12,754	5,412
退職給付に係る資産		958	906	繰延ヘッジ損益		△15	38
その他		19,060	20,116	退職給付に係る調整累計額		244	355
貸倒引当金		△31	△28	非支配株主持分		22,593	21,060
資産合計		491,255	483,544	純資産計		215,396	194,284
				負債・純資産合計		491,255	483,544

● 連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

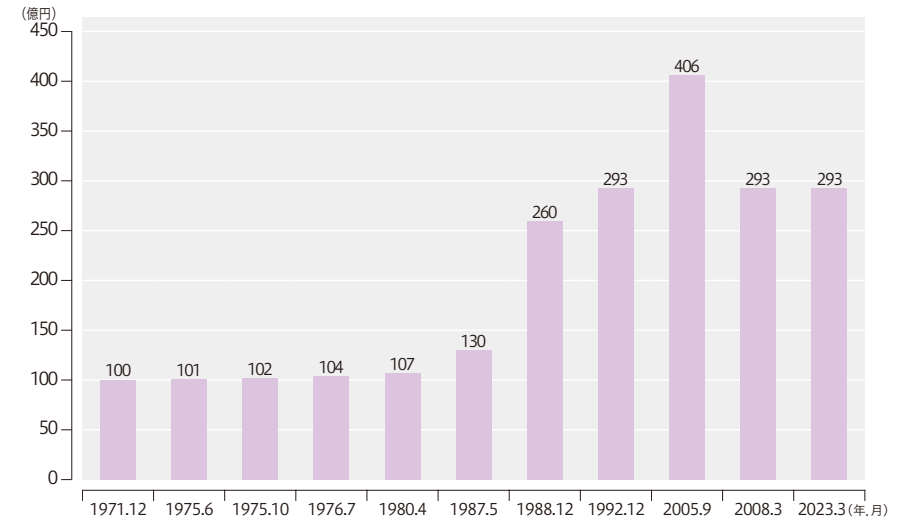
科目	年度	2022年4月1日から 2023年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	比較増減額
		百万円	百万円	
営業収益		207,361	180,969	26,391
営業費		183,084	166,654	16,429
運輸業等営業費及び売上原価		170,925	155,460	15,464
販売費及び一般管理費		12,158	11,194	964
営業利益		24,277	14,314	9,962
営業外収益		1,511	1,406	105
営業外費用		2,233	2,426	△192
経常利益		23,555	13,294	10,260
特別利益		3,867	28,203	△24,335
特別損失		4,012	30,194	△26,182
税金等調整前当期純利益		23,411	11,304	12,107
法人税、住民税及び事業税		6,477	3,148	3,329
法人税等調整額		740	425	314
当期純利益		16,193	7,729	8,463
非支配株主に帰属する当期純利益		1,996	1,975	20
親会社株主に帰属する当期純利益		14,197	5,754	8,442

● 連結子会社 (2022年度。25社)

阪神バス(株)	(株)日本プロテック
阪神タクシー(株)	ユミルリンク(株)
(株)ハックス阪神	(株)オールワークス
大阪阪神タクシー(株)	(株)ミマモルメ
(株)阪神ステーションネット	姫路ケーブルテレビ(株)
阪神車両メンテナンス(株)	(株)ベイ・コミュニケーションズ
(株)阪神タイガース	BAN-BANネットワークス(株)
(株)阪神コンテンツリンク	阪神ケーブルエンジニアリング(株)
(株)ピーアンドピー浜松	(株)阪神ホテルシステムズ
(株)ウエルネス阪神	(株)ハンシン建設
六甲山観光(株)	中央電設(株)
アイテック阪急阪神(株)	阪神園芸(株)
(株)システム技研	

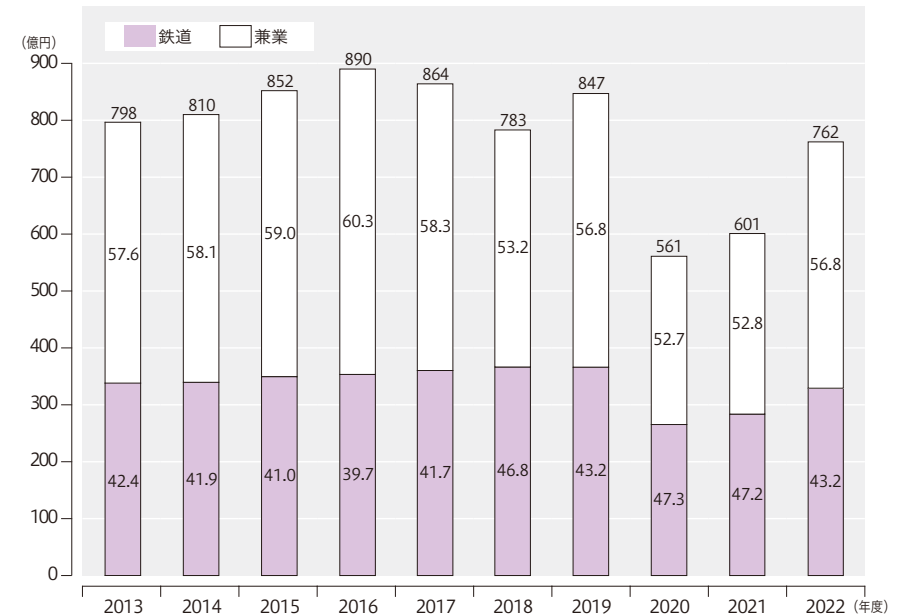
資本金・営業収益の推移

● 資本金の推移



● 営業収益の推移

グラフ内の数字は構成比(%)





# 資料

## 沿革・歴代社長・年譜

### 沿革

当社は、1899（明治32）年6月12日に資本金150万円で設立されました。設立当初の社名は、摂津電気鉄道株式会社でしたが、同年7月に現在の社名に変更しました。

設立後、当社は、1905（明治38）年4月に鉄道事業を、1909（明治42）年9月に不動産事業を、それぞれ開始するなど次第に事業を拡大していきました。

その後、当社は、2005年4月に開業100周年を迎え、また、2006年10月1日には、株式交換により阪急ホールディングス株式会社（同日、商号を「阪急阪神ホールディングス株式会社」に変更）と経営統合し、同社の完全子会社となりました。

各事業部門別の沿革は、次のとおりです。

#### 都市交通事業

1905年4月12日、現在の本線である大阪（出入橋）～神戸（三宮）間の営業を開始しました。その後、大阪側は梅田まで、神戸側は元町まで路線を延長するとともに、大正から昭和の初めにかけて、北大阪線、伝法線、甲子園線、国道線、尼崎海岸線及び武庫川線を建設しましたが、1975年までに併用軌道線等を廃止し、営業路線は、本線、西大阪線（伝法線を改称）及び武庫川線の3路線となりました。

1968年4月には、神戸高速線の開通を機に、山陽電気鉄道株式会社との相互直通運転（大石～山陽須磨浦公園間）を開始し、1998年2月には、相互直通運転区間を梅田～山陽姫路間に延長しました（この間、鉄道事業法の制定・施行に伴い、1988年4月に神戸高速線（元町～西代間）が第2種鉄道事業路線となりました。）。

2009年3月には、阪神なんば線西九条～大阪難波間を開業（従前の西大阪線尼崎～西九条間も阪神なんば線に改称）し、近畿日本鉄道株式会社との相互直通運転（神戸三宮～近鉄奈良間）を開始しました。

2010年10月には、神戸高速線（元町～西代間）を当社が主体となり、運営する体制に変更しました。

施設面においては、昭和30年代から線路の立体化に着手（現在の立体化率は本線95%・阪神なんば線90%）するとともに、PTCや駅務管理システムの導入等により駅や運転施設を自動化し、大幅な省力化を実現しました。また、ATSの設置や車両の冷房化、エスカレーター・エレベーターや待合室の設置、ホームドアの設置など駅の改良等を行い、運転保安と旅客サービスの両面で高いレベルの輸送体制を確立しています。

#### 不動産事業

1909年9月に貸家経営を開始した後、1933年9月の三宮阪神ビルディングの竣工、1963年6月の大阪神ビルディングの竣工を経て西梅田開発事業に着手し、1997年3月に梅田阪神第1ビルディング（愛称「ハービスOSAKA」）を、2004年11月に梅田阪神第2ビルディング（愛称「ハービスENT」）を、それぞれ開業するなど、事業規模を拡大してきました。また、2015年7月からは、阪神百貨店（阪神梅田本店）が入居する大阪神ビルディングと、隣接する新阪急ビルの建替計画「梅田1丁目1番地計画」に着手し、2022年2月に竣工（ビル名称は「大阪梅田ツインタワーズ・

サウス)、同年3月に開業しました(阪神梅田本店のランドオープンは同年4月)。

これらの開発事業・賃貸事業に加え、関西圏や首都圏における「ハピア」ブランドの住宅分譲などの販売業を営んでいましたが、2018年4月1日付けで阪急阪神不動産株式会社に事業を移管しました。なお、引き続き、梅田を初めとする沿線の賃貸・開発用不動産については、当社が保有します。

### スポーツ・エンタテインメント事業

甲子園地区において、1924(大正13)年8月に「野球の聖地」として、また、阪神タイガースの本拠地として全国的に有名な甲子園球場(現 阪神甲子園球場)を、1926(大正15)年5月に甲子園庭球場を、それぞれ開設しました。阪神甲子園球場については、2007年10月から3期にわたり全面的にリニューアル工事を進め、2010年3月、甲子園歴史館の新設を含む第Ⅲ期工事が完了し、全てのリニューアル工事が完了しました。更に、2022年3月には、商業施設「甲子園プラス」に「甲子園歴史館」の展示エリアを一部移転・拡張しました。

また、六甲山地区においては、六甲高山植物園(1933(昭和8)年5月開設)、六甲山カントリーハウス(1937(昭和12)年6月開設。現 六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーンニア))、六甲山(人工)スキー場(1964(昭和39)年1月開設。現 六甲山スノーパーク)を初めとする施設を相次いで開設しました。なお、2013年4月にはこれらの事業を阪神総合レジャー株式会社(現 六甲山観光株式会社)に譲渡しました(各施設は引き続き当社が所有)。

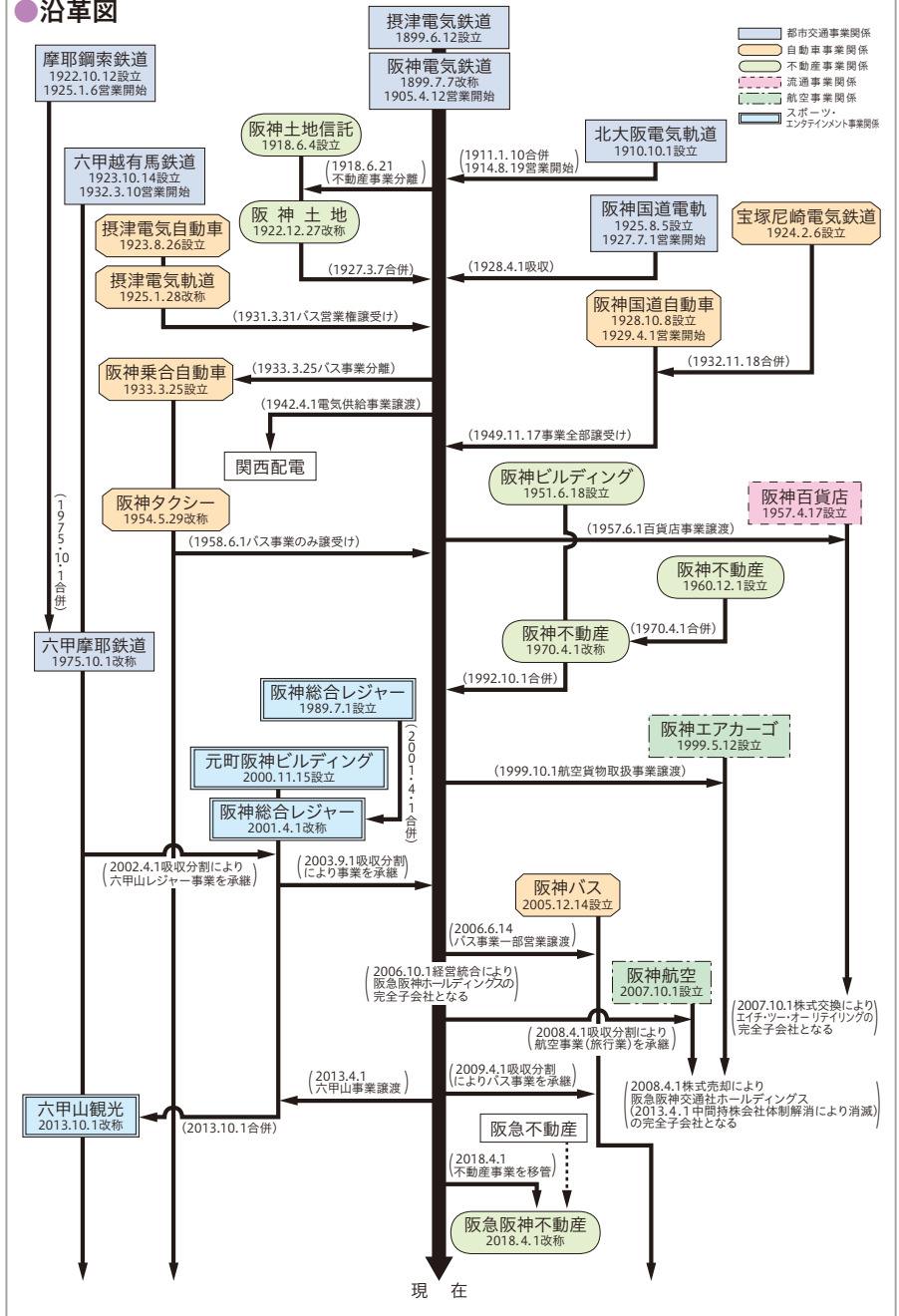
また、情報サービスや放送・通信を営む情報・通信事業を、当社グループのフロー型ビジネスの中核と位置付け、更なる成長を図っていくこととし、それに向けた体制を整備するため、2019年4月1日に情報・通信事業本部を新設しました。

なお、1929(昭和4)年に開始(その後、1933年に分離し、1949年に阪神国道自動車株式会社の営業全部を譲り受けて再開)した自動車事業(バス事業)は、2009年4月、会社分割により阪神バス株式会社に完全分社化しました。また、1948(昭和23)年11月に航空代理店業を開始して以来、直営で行ってきた航空事業(旅行業)は、2008年4月、会社分割により阪神航空株式会社に承継し、1999年10月に阪神エアカーゴ株式会社に譲渡した航空貨物取扱事業と共に、阪急阪神ホールディングスグループの事業再編として、株式会社阪急阪神交通社ホールディングス(現株式会社阪急交通社・株式会社阪急阪神エクスプレス)に経営を移管しました。

このほか、株式会社阪神タイガースを初め多くのグループ会社を設立して、経営を多角化しているほか、阪急阪神ホールディングスグループの中核会社として、他の中核会社と共に、グループの中長期的な発展と持続可能な社会の実現の両立を図り、企業価値の向上に取り組んでいます。

また、当社グループは2006年11月からコア事業管理体制に移行し、都市交通事業、不動産事業、スポーツ・エンタテインメント事業、情報・通信事業等の事業分野ごとに当社内の管理担当部が管理することにより、意思決定と管理体制の明確化や経営効率の向上を図っています。

### 沿革図





## 歴代社長

	氏名	就任年月
初代	とやましゅうぞう 外山 脩造	1899 (明治 32)年 6月
2	㊟ すぎむらしょうたろう 杉村 正太郎	1905 (明治 38)年 12月
3	㊟ いまにしりんざぶろう 今西 林三郎	1907 (明治 40)年 5月
4	かたおかなおてる 片岡 直輝	1917 (大正 6)年 11月
5	㊦ みさきせいぞう 三崎 省三	1922 (大正 11)年 4月
6	おぞねきいちろう 小曾根 喜一郎	1927 (昭和 2)年 5月
7	しましまたくぞう 島 徳蔵	1927 (昭和 2)年 10月
8	ほりけいじろう 堀 啓次郎	1931 (昭和 6)年 10月
9	いまにしよさぶろう 今西 与三郎	1935 (昭和 10)年 4月
10	おぞねたけまつ 小曾根 貞松	1946 (昭和 21)年 10月
11	なるせしたつ 成瀬 達	1950 (昭和 25)年 4月
12	ののだせいぞう 野田 誠三	1951 (昭和 26)年 8月
13	ふくにしきよし 福西 清	1967 (昭和 42)年 11月
14	ののだちゅうじろう 野田 忠二郎	1968 (昭和 43)年 1月
15	たなかたかぞう 田中 隆造	1978 (昭和 53)年 6月
16	くましゅんじろう 久万 俊二郎	1982 (昭和 57)年 6月
17	てづかまさとし 手塚 昌利	1992 (平成 4)年 12月
18	にしかわきょうじ 西川 恭爾	2004 (平成 16)年 6月
19	さかいはしんや 坂井 信也	2006 (平成 18)年 6月
20	ふじわらたかおき 藤原 崇起	2011 (平成 23)年 4月
21	しんあまきお 秦 雅夫	2017 (平成 29)年 4月
22	くすゆうすけ 久須 勇介	2023 (令和 5)年 4月

(注)㊟は専務取締役、㊦は代表取締役が、それぞれ正式の役名であったことを示します。

## 年譜

1893(明治 26)	12. 27	神阪電気鉄道株式会社(明27.3.22摂津電気鉄道株式会社に改称)を設立発起
1899(明治 32)	6. 12	摂津電気鉄道株式会社の設立免許(資本金150万円)
	7. 7	社名を阪神電気鉄道株式会社と改称
	10. 18	創立登記
1905(明治 38)	4. 12	神戸(三宮)～大阪(出入橋)間の営業開始(大型ボギー8輪車20両を使用、運転時間90分、12分間隔)
		 出入橋付近を走る旧1号車両
		5. 29 運転時間を80分に短縮(10分間隔)
1906(明治 39)	12. 21	出入橋～梅田間の仮線(単線)の営業開始
	1907(明治 40)	4. 1 香櫨園遊園地を開設(1913.9廃止)
1908(明治 41)	10. 5	電灯電力供給事業の営業開始
		 尼崎変電所
1909(明治 42)	9. 30	西宮停留場前に貸家30戸が完成(土地建物賃貸業を開始)
1910(明治 43)	10. 1	北大阪電気軌道株式会社を設立
1911(明治 44)	1. 10	北大阪電気軌道株式会社を合併
1912(大正 元)	11. 1	神戸市内延長線(三宮～滝道間)の営業開始
1914(大正 3)	6. 12	本線出入橋以東の変更線(複線)の営業開始
	8. 19	北大阪線(野田～天神橋筋六丁目間)の営業開始
	12. 25	貨物運輸営業を開始(1931.8.1廃止)
1916(大正 5)	3.	鳴尾運動場を開設(1924.8.1閉鎖)
1918(大正 7)	6. 4	阪神土地信託株式会社(1922.12.27阪神土地株式会社に改称)を設立
1921(大正 10)	11. 1	家庭電気供給を開始
	11. 7	本線急行運転及び2両連結運転開始(2両連結は電鉄界初、運転時間急行56分、普通63分、6分間隔で交互に発車)
1922(大正 11)	11. 8	本線急行の追越運転を開始(西宮で追越し)
1924(大正 13)	1. 20	伝法線大物～伝法間の営業開始
	2. 6	宝塚尼崎電気鉄道株式会社を設立
	8. 1	伝法線伝法～千鳥橋間の営業開始
8. 1	8. 1	甲子園球場(1964.2.14阪神甲子園球場と改称)を開設、鳴尾運動場を閉鎖
		 阪神甲子園球場
8. 13	8. 13	甲子園球場において朝日新聞社主催第10回全国中等学校優勝野球大会を開催(以後、現在まで開催)

1925(大正 14)	3. 31	甲子園球場において毎日新聞社主催第2回全国選抜中等学校野球大会を開催(以後、現在まで開催)	
	8. 5	阪神国道電軌株式会社を設立	
1926(大正 15)	5. 5	甲子園庭球場を開設	
	7. 16	甲子園線甲子園～甲子園浜(同年9.18 浜甲子園に改称)間の営業開始	
1927(昭和 2)	3. 7	阪神土地株式会社を合併	
	3. 24	土地建物売買賃貸業を開始(経営地は北大阪線沿線)	
	5. 26	兵庫県有馬郡有野村唐櫃(六甲山)の共有山林を買収  六甲ケーブル(1932.3 開業)	
1928(昭和 3)	7. 1	阪神国道電軌株式会社、西野田～東神戸間(買収後国道線)の営業開始	
	4. 1	阪神国道電軌株式会社を買収	
	7. 11	甲子園線甲子園～上甲子園間の営業開始	
	10. 8	阪神国道自動車株式会社を設立	
1929(昭和 4)	12. 28	伝法線尼崎～大物間の営業開始	
	4. 1	阪神国道自動車株式会社が営業開始	
	4. 14	今津出屋敷線のうち出屋敷～東浜間(尼崎海岸線)の営業開始	
	7. 6	甲子園娯楽場を開設(1932.9 阪神パークと改称、1943.4.12 閉鎖)	
	7. 27	本線大石～住吉間改良線(一部高架線)が開通	
1930(昭和 5)	12. 26	本線3両連結運転を開始	
	7. 9	今津出屋敷線のうち浜甲子園～中津浜間の営業開始	
1932(昭和 7)	3. 4	甲子園住宅経営地に浄水供給を開始(1979.1.1 西宮市へ譲渡)	
	11. 18	阪神国道自動車株式会社が宝塚尼崎電気鉄道株式会社を合併	
	11. 25	阪神国道自動車株式会社の西大島～宝塚歌劇場前間自動車専用道路(関西初)が開通(1942.4.2 廃止、県道に強制編入)	
1933(昭和 8)	3. 29	梅田停留場に阪神マートを開業(1939.8.12 西阪神マートと改称、1941.9.20 閉鎖)	
	5. 1	六甲高山植物園を開設	
6. 17		本線神戸～岩屋間改良線(地下線)が開通 本線特急の運転を開始、運転時間を短縮(特急35分、急行45分、普通55分、8分間隔で交互に発車)  地下開業時の三宮駅	
	9. 24	三宮阪神ビルが完成(神戸そごうに賃貸)  三宮阪神ビル	
1934(昭和 9)	9. 21	関西地方大風水害(室戸台風)発生	

1935(昭和 10)	12. 10	株式会社大阪野球倶楽部(大阪タイガース)を設立(1961.4.1 株式会社阪神タイガースに社名変更)  当時のポスター	
		3. 18	本線神戸市内地下延長線(三宮～元町間)の営業開始
1936(昭和 11)	6. 30	六甲山カンツリーハウスを開設(2021.4.3 ～「六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーンニア)」として営業)	
	8. 10	本線特急の5両連結運転を開始(軌道法における5両連結は日本初)	
1937(昭和 12)	7. 5	阪神地方大風水害発生(本線、国道線とも不通。同年8.16 本線全線、9.11 国道線が復旧)	
1938(昭和 13)	3. 21	本線大阪駅前地下延長線(梅田～曾根崎間)の営業開始(梅田停留場を移設) 東阪神マート(梅田停留場)を開業(1940.5.26 閉鎖)  地下開業時の梅田駅	
	5. 26	阪神マート(大阪駅前地下)を開業	
1939(昭和 14)	4. 23	梅田阪神ビル第1期工事が完成(1961.1.18 大阪神ビルディングと改称、1963.6.27 全体完成)	
1940(昭和 15)	3. 16	本線特急の6両連結運転を開始(軌道法における6両連結は日本初)	
	4. 1	電気供給事業関係業務及び従業員を関西配電株式会社(現在の関西電力株式会社)へ引継ぎ完了	
1941(昭和 16)	11. 21	武庫川線武庫川～洲先間の営業開始	
1942(昭和 17)	8. 17	武庫川線武庫川～武庫大橋間の営業開始	
	9. 17	関西地方風水害のため、梅田駅構内に浸水(列車6日間不通)	
1943(昭和 18)	1. 6	今津出屋敷線浜甲子園～中津浜間の営業休止(1973.9.26 営業廃止)	
	3. 13	空襲により、尼崎本社事務所焼失(この日から終戦まで全線にわたり車両、停留場、車庫、倉庫、変電所、事務所などを焼失破壊される。)	
	3. 28	本線三宮～元町間の営業休止(1945.11.3 に下り線が、1946.3.1 に上り線が営業再開)	
	6. 25	本線の戦時臨時運転を実施(急行運転中止、普通だけ運転)	
	12. 30	本線の急行運転を再開(戦後電鉄界では日本初)	
1944(昭和 19)	1. 6	武庫川線武庫大橋～洲先間の営業休止	
	3. 1	本線梅田～元町間直通運転を再開	
1945(昭和 20)	3. 30	本線急行の5両連結運転を再開	
1946(昭和 21)	10. 10	武庫川線武庫川～洲先間の営業再開	
	11. 1	航空代理店業を開始	
1947(昭和 22)	11. 17	阪神国道自動車株式会社の営業全部を譲り受け、自動車事業を直営で再開(戦前も自動車事業を直営していたが、1933.3.25 阪神乗合自動車株式会社に譲渡)	
1948(昭和 23)	4. 25	阪神パークを再開(1997.3.22 「阪神パーク 甲子園住宅遊園」としてリニューアル・オープン、2003.3.30 閉園)	
1949(昭和 24)			
1950(昭和 25)			



1950(昭和 25)	9. 3	ジェーン台風来襲(尼崎車庫及び線路上において車両浸水134両、同年11.15運転支障復旧)	 ジェーン台風
1951(昭和 26)	11. 1	阪神マートを阪神百貨店と改称し、売場を拡張	
1953(昭和 28)	3. 30	新阪神ビルが完成	
1954(昭和 29)	9. 15	本線梅田～元町間新造大型車両による特急運転を開始(梅田～三宮間ノンストップ25分)	
1957(昭和 32)	1. 21	本線急行の6両連結運転を開始	
	6. 1	百貨店営業を株式会社阪神百貨店に譲渡	
1958(昭和 33)	3. 13	梅田阪神ビル第1期増築工事が完成(地下2階、地上8階)、株式会社阪神百貨店に賃貸(1961.1.18大阪ビルディングと改称、1963.6.27全体完成)	
	7. 24	普通用大型高性能車両(ジェット・カー)、本線で営業運転を開始	 加速度抜群のジェット・カー
	10. 29	急行用大型高性能車両、本線で営業運転を開始	 大型輸送の急行用車両
1959(昭和 34)	2. 23	千鳥橋～難波間の特許を取得	
	6. 5	一般旅行あっせん業を登録	
1960(昭和 35)	4. 15	尼崎海岸線(高洲～東浜間)の営業廃止(1951.7.19営業休止)	
	6. 6	難波延伸への第Ⅰ期工事として千鳥橋～西九条間(1.2km)の建設工事を開始	
1961(昭和 36)	12. 8	本線野田高架線建設工事が完成(同年11.22開通)	
1962(昭和 37)	11. 10	梅田駅に初めて自動券売機を設置	
	12. 1	尼崎海岸線(出屋敷～高洲間)の営業廃止	
1964(昭和 39)	1. 22	六甲山(人工)スキー場を開設(2013.12.7～「六甲山スノーパーク」として営業)	
	4. 10	本線尼崎駅付近立体交差事業が完成(同年2.1開通)	
	5. 20	伝法線を西大阪線と改称	
	5. 21	西大阪線千鳥橋～西九条間(難波延長線第Ⅰ期工事)の営業開始	
	6. 7	甲子園阪神パークにデラックスプールを開設(1995.8.1「甲子園ビーチプール」としてリニューアル・オープン)	
1966(昭和 41)	3. 20	新設軌道用車両の大型化が完了	
1967(昭和 42)	4. 24	西阪神ビルが完成(1967.4.25ホテル阪神が営業開始)	
	8. 10	難波延伸への第Ⅱ期工事として、西九条～九条間(1.6km)の建設工事を開始	
	9.	難波延伸第Ⅱ期工事中断	
	11. 12	新設軌道線の電車線電圧を600Vから1,500Vに昇圧	

1968(昭和 43)	3. 17	本線、西大阪線的全線、全車両に自動列車停止装置(ATS)を設置、使用開始(武庫川線は1984.3.18設置)	
	4. 7	神戸高速鉄道が開通、山陽電気鉄道との相互乗入運転を開始	 神戸高速鉄道開通式典
	4. 15	本線西灘～石屋川間の軌道移設及び高架化工事が完成(1967.7.2開通)	
	4. 18	石屋川車庫が完成(日本初の検車庫付き高架車庫)	
1969(昭和 44)	3. 31	本線淀川橋梁工事が完成(1967.12.3開通)	
	12. 14	国道線西灘～東神戸間の営業廃止	
1970(昭和 45)	7. 1	日本初のサイリスタ・チョップ制御装置採用の急行用車両(冷房車としても当社で最初)の営業運転を開始	
	7. 20	普通用冷房車の営業運転を開始	
	9. 21	本線武庫川～尼崎センタープール前間立体交差化工事が完成(同年5.24開通)	
	11. 24	本線特急、急行の一部6両連結運転を開始	
1971(昭和 46)	1. 4	不動産鑑定業務を開始	
	4. 1	本線、西大阪線的全線、全車両に列車種類選別装置を設置、使用開始(同年8.3同装置による全踏切道の制御が完了)	
	6. 7	本線、西大阪線的全踏切道の自動化が完了	
	6. 23	梅田駅と三宮駅を冷房化(1986.6.15元町駅も実施)	
	8. 3	本線、西大阪線全駅の出札業務の自動化が完了(券売機、光学式乗車券印刷発行機を設置)	
	10. 25	電子計算機による列車運行制御システム(PTC)を開発、石屋川信号扱所で三宮～元町間の制御を開始(1972.11.27青木～元町間に拡張、1986.10.1新PTCシステムに切替え、全線の制御を開始)	
1972(昭和 47)	11. 27	甲子園阪神パークにアイススケートリンクを開設(2000.3.5営業終了)	
	7. 10	西宮変電所を最後に全変電所の無人化が完了	
	10. 5	尼崎駅に初めて自動改札機(11台)を設置	
1973(昭和 48)	10. 10	本線、西大阪線的全踏切道(車両通行禁止の11か所を除く73か所)に踏切障害物検知装置の設置が完了	
	10. 18	梅田駅と尼崎駅に初めての定期券印刷発行機を設置、使用開始	
1974(昭和 49)	11. 26	本線特急、急行の全列車6両連結運転を開始(夜間急行を除く。)	
	3. 17	国道線上甲子園～西灘間の営業廃止	
1975(昭和 50)	4. 20	甲子園大プール(1937.8.1開設)のテニスコートへの改造工事が完成	
	7. 27	阪神グリーンビルが完成(東京京橋)	
	12. 28	大阪神ビルディング改造工事が完成(同年11.21阪神百貨店の売場を拡張)	
	5. 6	国道線、甲子園線及び北大阪線の併用軌道全線の営業廃止	 路面電車営業最終の様子
	12. 20	急行用全車両(220両)の冷房化が完了	

1977(昭和 52)	12. 27	軌道法から地方鉄道法への変更が許可
1978(昭和 53)	4. 28	六甲山フィールド・アスレチックを開設(2021.4.3～「六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーンニア)」として営業)
	6. 10	本線大物～姫島間高架化工事が完成(千船～姫島間 1977.2.27、大物～千船間 1977.4.29 開通)
1980(昭和 55)	5. 27	電力回生チョッパ車(普通専用車)の営業運転を開始(急行車での営業運転開始は1983.11.21)
	11. 1	本線全駅に列車接近放送装置又は自動案内放送装置の設置が完了
1981(昭和 56)	5. 1	甲子園阪神パーク内に甲子園スイミングスクールを開校(1995.1.17 閉鎖)
	11. 10	阪神塩屋とびお台住宅地造成工事が完成
1982(昭和 57)	2. 28	改集札業務の自動化が完了
	3. 19	武庫川線全踏切道の自動化が完了(全線全踏切道が第1種甲となる。)
	3. 31	西大阪線左門殿川～神崎川間高架化工事が完成(1982.1.31 開通)
	4. 1	変電所自動集中監視制御装置(CSC)の使用開始
1983(昭和 58)	3. 7	利用航空運送事業(単独混載業務)を開始
	4. 30	全車両の冷房化が完了(大手民鉄界初)
1984(昭和 59)	3. 6	阪神甲子園球場の新(電光式)スコアボードが完成
	3. 24	武庫川線の全踏切道(車両通行禁止の5か所を除く5か所)に踏切障害物検知装置の設置が完了
	3. 31	本線西宮市内連続立体交差化工事のうち、久寿川～甲子園間高架化工事が完成(1983.1.15 開通)
	4. 3	武庫川線洲先～武庫川団地前間の営業開始(同年3.24 武庫川線延伸・整備工事が完成)
1985(昭和 60)	3. 28	阪神グループ総合案内所を三宮駅に開設(1986.4.25 梅田駅にも開設・駅長室のオープンカウンター化により駅長室内に統合 梅田…1995.4 三宮…1997.3)
	4. 13	武庫川線武庫川～武庫大橋間の営業廃止(1946.1.6 から営業休止)
	5. 9	8000系急行用車両の営業運転を開始
	6. 14	大阪市西梅田土地区画整理組合の設立認可
	6. 28	登記上の本店を尼崎市から大阪市北区に移転
1986(昭和 61)	4. 25	播磨美原台住宅地造成工事が完成(198区画)
	6. 30	本線西宮市内連続立体交差化工事のうち久寿川駅付近の立体交差化が完成
	10. 1	新PTC(列車運行管理システム)が完成、稼働開始(2006.2更新)
1987(昭和 62)	1. 1	全駅で禁煙タイム実施(梅田駅・三宮駅は1983.4.20から、春日野道駅・元町駅は1985.6.20から、それぞれ実施。1988.9.1この地下4駅で終日禁煙実施)
	3. 31	本線・西大阪線の全駅・全改札口に他社線への連絡乗車券も発行できる券売機と改札機の設置を完了
	5. 15	元町阪神ビルが完成
	10. 31	駅務管理システム新設工事が完成(同年11.1 稼働開始)
1988(昭和 63)	12. 4	福島阪神ビルが完成
	3. 26	プリペイドカード「ハープカード」の発売開始(1996.3.19まで発売)
	4. 1	元町駅～西代駅間5.0km(神戸高速線)で第2種鉄道事業を開始
	4. 27	ハープカード対応の券売機を本線・西大阪線の全駅に設置完了
	11. 18	高額紙幣対応の券売機を導入(関西民鉄界初)



阪神タイガース  
日本シリーズ優勝記念乗車券


1989(平成 元)	4. 29	冷房車両に弱冷車を導入
	6. 1	御影駅に初めてLED(発光ダイオード)表示の「列車案内表示器」及び「列車接近表示器」を設置
	12. 31	大みそか終夜運転を初めて実施
1990(平成 2)	5. 31	魚崎駅の橋上化工事が完成(六甲ライナーとの連絡通路は同年5.21 完成)
	7. 26	株式会社阪神ブルーノートが、大阪桜橋でジャズクラブ&レストラン「大阪ブルーノート」の営業開始(2004.11ハービスENT内に移転、2007.8～「ビルボードライブ大阪」として営業)
	9. 1	電車の発車、到着及び通過の合図を甲子園駅と西宮駅で初めてシンセサイザーのメロディーに変更(1991.3.29全駅で変更終了、2009.1全駅で更新)
1991(平成 3)	3. 28	甲子園駅前東複合商業施設「アルカス」が完成
	4. 8	8000系車両に初めてLED表示の車内案内表示装置を設置
	10. 1	都市型CATV局チャンネルウェブあまがさき(CWA)が開局
	12. 5	阪神甲子園球場のラッキーゾーンを撤去
	2. 27	西梅田開発全体構想及び第Ⅰ期基本計画を決定
1992(平成 4)	4. 20	野田阪神ビルと阪神星光ビルが完成
	5. 18	本社及び本店を大阪市福島区に移転
	5. 26	梅田駅に初めて自動定期券発売機を設置
	6. 9	ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー L.L.C.と提携(同年5.29にホテル運営会社株式会社阪神ホテルシステムズを設立)
	10. 1	阪神不動産株式会社と合併
	10. 4	株式会社鳴尾ウォーターワールドが鳴尾浜臨海公園内に「リソ鳴尾浜」をオープン(2020.11.30 営業終了)
	10. 27	岡山県邑久郡牛窓町(現 瀬戸内市牛窓町)の前島別荘地開発工事が完成
1993(平成 5)	2. 28	阪神甲子園球場のカラーボードが完成
	9. 5	本線野田～梅田間地下新線が開通
	12. 9	西梅田開発第Ⅰ期事業の工事に着手
1994(平成 6)	4. 8	「神戸・花山手住宅地」造成工事が完成
	5. 16	全駅で終日禁煙実施(地上駅のホームには喫煙コーナーを設置)
	7. 21	オルゴールミュージアム「ホール・オブ・ホールズ六甲」を開設(2012.3.25～「六甲オルゴールミュージアム」、2021.7.16～「ROKKO 森の音ミュージアム」として営業)
	10. 7	阪神鳴尾浜球場が完成
1995(平成 7)	1. 17	阪神・淡路大震災発生(同年6.25まで鉄道の一部区間が不通になる。)
	4. 26	大阪ダイヤモンド地下街株式会社を設立(ディアモール大阪は同年10.12に開業)
	6. 7	「タイガースゴルフクラブ」の営業開始(開場日は同年6.4)
	9. 1	時差回数券と土・休日割引回数券の発売を開始(1998.12.26 両回数券の適用日拡大)
	11. 1	5500系普通用車両(当社初のVVVF車)の営業運転を開始



被災した石屋川車庫



御影駅での出発式



1996(平成 8)	3.20	全ての鉄道施設の震災復旧工事が完成 9000系急行用車両(VVVF車)の営業運転を開始 ストアドフェーズシステムを導入(「スルッとKANSAI」を導入)、同システム対応のプリペイドカード「らくやんカード」の発売を開始(2017.3.31まで発売)	
	3.31	本線武庫川駅東方～尼崎駅間高架化工事が完成(1994.1.23開通)	
	5.29	インターネットに当社グループホームページを開設	
	9.10	コミュニティFM放送の事業会社 株式会社エフエム・キタを設立(1997.3.3に「Be Happy!789」の放送開始)	
	10. 1	梅田～三宮間及び三宮～高速神戸間で、阪急電鉄との通勤定期券の相互利用を開始	
	11.12	兵庫県教育委員会がホール・オブ・ホールズ六甲を博物館相当施設に指定	
	1997(平成 9)	3.14	梅田阪神第1ビル「ハービスOSAKA」が完成(同年3.19開業)
3.22		「阪神パーク甲子園住宅遊園」がオープン(甲子園阪神パークを1996.11.5から1997.3.21まで休園し、リニューアル)	
5.22		六甲高山植物園がカナダのデボニアン植物園と姉妹提携	
5.23		ハービスOSAKAに「ザ・リッツ・カールトン大阪」が開業(2023.2.15「フォーブス・トラベルガイド」ホテル部門において、大阪のホテルで「初」そして「唯一」の五つ星を獲得)	
10. 1		社内パソコンネットワーク「阪神情報ネットワーク(Hi-Net)」の運用開始	
10. 7		本線住吉～芦屋間連続立体交差化工事に着手	
1998(平成 10)		2.15	山陽電気鉄道との相互乗入区間を梅田～山陽姫路間に延長し、同区間の直通特急運転開始。本線の昼間時の運転間隔を12分から10分に短縮  尼崎駅に止まる山陽電車車両
	3.31	阪神産経桜橋ビルが完成	
	4.10	阪神甲子園球場と株式会社阪神タイガースが映像制作事業を開始	
	5.30	西宮駅に全面LCD(液晶ディスプレイ)を使用した列車案内表示器を設置(日本の鉄道界初)	
	9.28	西大阪線の昼間時の運転間隔を12分から10分に短縮	
	1999(平成 11)	2.17	阪神野田センタービルが完成
		3.10	阪神杉村ビル、ラグザ大阪・レジデンス(定期借地権(地上権)付き分譲マンション)が完成
4.14		時差回数券と土・休日割引回数券の発売を開始(1998.12.26 両回数券の適用日拡大。2022.9.30まで発売)	
4.14		ラグザ大阪(新ホテル阪神・ラグザスクエア)が開業	
5.12		住友商事株式会社との合併により、阪神エアカーゴ株式会社を設立(同年10.1当社の航空貨物取扱事業を譲渡し、営業開始)	
7.28		山陽電気鉄道株式会社の株式を買増しし、同社の単独筆頭株主に(保有割合16.94%)	
8.27		岩屋駅改良工事に着手(鉄道駅総合改善事業費補助(運輸省(現国土交通省)創設)の適用を受けての工事着手は全国初。2001.8.31新駅舎が完成、2002.3.19全体完成)	
9.30	西大阪線神崎川・左門殿川橋梁 <sup>こうじょう</sup> 工 <sup>こうじょう</sup> 事及び大和田立体交差化工事のうち大物～福駅間の高架化工事が完成(1998.9.26開通)		
10. 1	当社、阪急電鉄、山陽電気鉄道、神戸電鉄、神戸高速鉄道の5社で共通の不正乗車防止システム「フェアライドシステム」を導入		

2000(平成 12)	4. 1	株式会社チャンネルウェブあまがさき、株式会社ケーブルビジョン西宮と、住友電気工業株式会社などが出資している伊丹市の株式会社ケーブルビジョンアイの3社が合併し、阪神シティケーブル株式会社として事業開始
	7.18	当社、阪急電鉄株式会社、大阪市交通局などが出資し、株式会社スルッとカンサイ(現 株式会社スルッとKANSAI)を設立
	10. 1	武庫川線のワンマン運転を開始
2001(平成 13)	3.10	セミ・クロスシート車両を採用した9300系急行用車両(VVVF車)の営業運転を開始
	7.10	西大阪高速鉄道株式会社を設立(同年9.18大阪府、大阪市の出資を得て第3セクター化)
	10.24	岩屋駅ホームに転落防止柵を設置
	11. 6	春日野道駅改良工事に着手(2004.9.25上下線別プラットホーム及び西改札口を新設・併用開始、2006.3.27全体完成)
	11.16	西大阪延伸線の第2種鉄道事業許可を取得(西大阪高速鉄道株式会社は同線の第3種鉄道事業許可を取得)
2002(平成 14)	12. 6	西梅田開発第Ⅱ期事業の工事に着手
	1.11	特定認定鉄道事業者に認定
	3.12	阪神甲子園球場の座席改修工事が完成し、使用開始(収容人員は55,000人から53,000人に)
	6.12	尼崎車両基地において、ISO14001の認証を取得
	11. 9	本線住吉～芦屋間連続立体交差化工事のうち、住吉駅東方～魚崎駅間が開通(上り高架線は2001.2.17開通)
2003(平成 15)	12.20	西大阪線難波延伸事業が都市計画決定される
	1.23	西大阪高速鉄道株式会社が国土交通大臣から西九条～近鉄難波(現 大阪難波)間の工事の施行認可を受ける
	3. 6	商業施設「ディアモール フィオレ」を開業
	3. 7	本線(甲子園駅～武庫川駅西方間)連続立体交差事業が都市計画決定される
	3. 9	阪神甲子園球場のスタンド内を全面禁煙化
	3.18	阪神百貨店西宮店を核テナントとする西宮駅商業施設「エビスタ西宮」を開業
	3.24	平日の上り区間特急に女性専用車両を試験導入(同年9.1から正式導入) 
	3.30	「阪神パーク 甲子園住宅遊園」を閉園 閉園日の様子
	4.18	東六甲凌雲台地区に「六甲ガーデンテラス」を開業 六甲ガーデンテラス 
	9. 1	レジャー事業の再編により、阪神総合レジャー株式会社の事業を承継
2004(平成 16)	3. 2	阪神タイガース新室内練習場が完成
	3.31	本線西宮市内連続立体交差化工事のうち、西宮市・芦屋市境～久寿川駅間高架化工事が完成(2001.3.3開通、同年3.2限りで西宮東口駅を廃止、同年3.3から「香櫨園」の駅名を「香櫨園」に変更)
	10. 1	阪神シティケーブル株式会社と株式会社シティウェブおおさかが合併し、商号を株式会社ベイ・コミュニケーションズに変更
	11. 5	梅田阪神第2ビル「ハービスENT」が完成(同年11.9開業、大阪四季劇場は2005.1.9開場)



2005(平成 17)	4. 12	開業100周年	
	4. 26	阪神間エリア情報サイト「hanshinNOW! (阪神ナウ!)」を開設	
	10. 1	株式会社阪神百貨店(現 株式会社阪急阪神百貨店)を完全子会社化	
	12. 14	阪神バス株式会社を設立(2006.6.14 当社の自動車事業の一部を譲渡し、営業開始)	
2006(平成 18)	2. 1	ポストペイサービスによるICカードシステム(PiTaPa)を導入、同システム対応のICカード「CoCoNetPiTaPa」の発行を開始(同年7.1IC定期乗車券サービスを開始)	
	5. 29	阪急ホールディングス株式会社との経営統合に合意し、同社との間で、同年10月1日を効力発生日とする株式交換契約を締結	
	8. 24	株式会社阪神コンテンツリンクVNU Business Media,Inc.と「ビルボード」マスターライセンス契約を締結	
	9. 22	株式会社阪神百貨店が株式会社阪急百貨店と包括的業務提携契約を締結	
	9. 29	株式会社ホテル阪神の株式の全部を株式会社阪急ホテルマネジメント(現 株式会社阪急阪神ホテルズ)に譲渡(株式会社ホテル阪神及び株式会社ホテル阪神レストランシステムズは同社の子会社となる。)	
	10. 1	阪急阪神ホールディングス株式会社が誕生	
	11. 1	コア事業管理体制に移行	
	11. 11	尼崎駅～大物駅間における本線下り線と西大阪線の立体交差化工事の一部分が完了	
	2007(平成 19)	2. 19	阪神タイガースクラブハウスが完成
		3. 12	「タイガースショップアルプス」が甲子園駅前に開業
3. 17		尼崎駅新上りホーム、北改札口の供用を開始	
4. 1		阪急電鉄株式会社との相互サービスを開始(IC連絡定期券及び阪神・阪急バス共通カードの発売、阪神・阪急回数券の引換えサービスを開始)	
4. 1		打出駅のバリアフリー化工事完了(同日から供用開始)	
8. 31		緊急地震速報システムを全線で導入	
9. 1		「IC連絡定期券」のエリアを拡大	
10. 1		阪急・阪神共通の新グループカード「STACIA」の発行を開始	
10. 1		阪急阪神ビルマネジメント株式会社が発足	
10. 1		アイテック阪急阪神株式会社が発足	
10. 5		1000系急行用車両(VVVF車)の営業運転を開始	
10. 19		香櫨園駅商業施設「香櫨館」が開業	
2008(平成 20)		2. 2	西大阪線の尼崎駅新プラットフォームが完成(同日から供用開始)
	3. 11	阪神甲子園球場の第Ⅰ期リニューアル工事が完了	
	3. 13	今津駅商業施設「エキーマ今津」が開業	
	3. 20	御影駅前商業施設「御影クラッセ」が開業	
	4. 1	淀川駅・芦屋駅のバリアフリー化工事が完了(同日から供用開始)	
	4. 1	航空事業を阪神航空株式会社に承継 阪神航空株式会社及び阪神エアカーゴ株式会社の全株式を、株式会社阪急阪神交通社ホールディングス(現 株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神エクスプレス)に譲渡し、両事業の経営を移管	
	6. 28	六甲高山植物園がスイスのシーニゲブラッテ高山植物園と姉妹提携	

2009(平成 21)	3. 12	阪神甲子園球場の第Ⅱ期リニューアル工事が完了
	3. 14	元町駅改札階のバリアフリー化工事が完了(同日から供用開始)
	3. 18	大物駅のバリアフリー化工事が完了(同日から供用開始)
	3. 20	阪神なんば線西九条～大阪難波間の営業を開始 尼崎～西九条間の路線名を西大阪線から阪神なんば線に変更 近畿日本鉄道との相互直通運転(三宮・近鉄奈良間)を開始 
	3. 20	「ハピアガーデン東加古川」の販売を開始
2010(平成 22)	4. 1	自動車事業を阪神バス株式会社に完全移管し、分社化
	4. 1	神戸高速鉄道株式会社の株式を取得し、関連会社化
	5. 20	本線鳴尾駅付近連続立体交差化工事に着手
	10. 14	阪神なんば線が「第8回日本鉄道賞」を受賞
	3. 12	阪神甲子園球場のリニューアル工事が完了
	3. 14	甲子園歴史館オープン(2021.9.6から2022.3.2まで休館し、「甲子園プラス」に展示エリアを一部移転・拡張して2022.3.3リニューアル)
	3. 27	元町駅・伝法駅のバリアフリー化工事が完了(同日から供用開始)
	7. 13	自然体感展望台「六甲杖垂れ」の営業を開始 
	9. 18	六甲ミーツ・アート「芸術散歩」を初開催
	10. 1	神戸高速線の運営形態を変更(元町～西代間の施設保守管理、運行管理及び駅業務を担当)
2011(平成 23)	12. 8	2010年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰において「国土交通大臣表彰」を受賞
	4. 1	阪神あんしんサービス「登下校 ミマモルメ」サービス開始
	5. 13	山陽自動車運送株式会社の株式の一部を譲渡(2014.3.26保有全株式を売却し、外部化)
	9. 1	全ての駅の終日全面禁煙化を実施
	11. 24	甲子園駅改良工事に着手
	11. 30	御影駅改良工事(改札口整備工事及びバリアフリー化)が完了
	12. 1	出屋敷駅高架下に商業施設「出屋敷アマトラ横丁」を開業
2012(平成 24)	2. 17	姫路ケーブルテレビ株式会社の株式を取得し、子会社化
	3. 20	三宮駅東改札口の新設工事が完了・供用開始
	3. 23	オルゴールミュージアム「ホール・オブ・ホールズ六甲」をリニューアルし、「六甲オルゴールミュージアム」を開設(2021.7.16～「ROKKO森の音ミュージアム」として営業)
	4. 1	阪急バス・阪神バス・阪急田園バスの共通ICカード乗車券「hanica」導入
	4. 2	「タイガースゴルフクラブ」の事業を当社と阪神総合レジャー株式会社の共同新設分割により新会社に承継、同社株式の譲渡により外部化
	5. 7	首都圏営業所を開設(住宅事業)
	9. 14	ハピアガーデン田園調布の分譲を開始(首都圏で初の戸建住宅分譲)

2013(平成 25)	3. 20	三宮駅改良工事が完了(駅ナカ商業施設「スクラ三宮」開業・駅サービス拠点「阪神電車サービスセンター」開設)	
		三宮駅改良工事が完了	
	3. 27	「梅田1丁目1番地計画」を発表	
	4. 1	六甲山事業を阪神総合レジャー株式会社(現 六甲山観光株式会社)に譲渡	
	4. 18	尼崎駅高架下に商業施設「AMASTA AMASEN (アマスタ アマセン)」ランドオープン	
	5. 1	株式会社ピーアンドピー浜松を子会社化	
	5. 29	マイクロ投資を活用した住民参加型の高架下店舗支援事業プロジェクト「ソダッテ阪神沿線新在家編」の店舗がオープン	
	7. 1	沿線活性化プロモーションを開始	
	10. 1	六甲摩耶鉄道株式会社が阪神総合レジャー株式会社を合併し、商号を六甲山観光株式会社に変更	
	10. 14	「はんしんいきいきデイサービス」1号店「西宮店」をオープン	
	12. 7	六甲山観光株式会社が「六甲山(人工)スキー場」をリニューアルし、「六甲山スノーパーク」をオープン	
	2014(平成 26)	3.	尼崎センタープール前駅高架下に「阪神野菜栽培所」完成(2012.1.16から、大物・杭瀬駅間で試験栽培を実施)
3. 28		久寿川駅のバリアフリー化工事完了(同日から供用開始)	
4. 1		「三宮駅」を「神戸三宮駅」に改称 駅ナンバリングを実施 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神が関連会社化	
5. 9		杭瀬駅高架下に商業施設「Yotte 杭瀬」がリニューアルオープン	
2015(平成 27)		2. 18	「梅田1丁目1番地計画」において、大阪神ビルディング東側の解体工事に着手(2018.6.1西側の解体工事に着手。新阪急ビルの解体工事については、2014.10.1に着手)
	2. 21	甲子園駅上りホームを拡幅	
	3. 3	梅田駅改良工事に着手	
	3. 14	甲子園駅下りホームを拡幅 本線甲子園・武庫川間連続立体交差化工事の下り線を高架化 鳴尾駅下りホームを高架化	
	4. 12	開業110周年を記念して、「阪神電車まなび基地」を開業	
	7. 21	梅田1丁目1番地計画、I期部分の新築工事に着手	
	8. 24	普通用車両5700系(ジェット・シルバー5700)運用開始(2016.10.2鉄道友の会の選定する「2016年ブルーリボン賞」を受賞)	
	8. 28	主要駅に「情報案内ディスプレイ」導入	
	12. 12	本線住吉・芦屋間連続立体交差化工事の下り線を高架化 深江駅・青木駅下りホームを高架化	
2016(平成 28)	3. 20	阪神バス株式会社が尼崎市営バスの全路線の運行を開始	
	3. 30	西宮駅商業施設「エビスタ西宮」がリニューアルオープン	
	4. 6	ロボット・プログラミング事業「プログラボ」の1号校「夙川校」を開校	
	6. 30	アドバンス開発株式会社を子会社化	

2017(平成 29)	3. 18	本線甲子園・武庫川間連続立体交差化工事の上り線を高架化 鳴尾駅上りホームを高架化		
	4. 5	姫島駅高架下商業施設のリニューアルが完了(阪急オアシスが出店)		
	9.	甲子園駅改良工事が完了		
	10. 1	あんしん事業(「登下校 ミマモルメ」等)と教育事業(「プログラボ」)について、株式会社ミマモルメ(2017.8.8設立)に事業を移管		
2018(平成 30)	3. 17	「阪神アプリ」の配信を開始		
	4. 1	不動産事業の再編 阪急阪神ホールディングスの中核会社として阪急阪神不動産株式会社を設立し、当社及び阪急電鉄の不動産事業を移管		
	4. 27	梅田1丁目1番地計画I期棟が竣工 (同年6.1阪神百貨店が部分開業、2022.2.25全体竣工)		
	7. 1	阪神トラック株式会社の株式の全部を譲渡し、外部化		
	7. 26	「甲子園歴史館」来館者数100万人を達成		
	8. 5	第100回全国高等学校野球選手権記念大会が開幕		
	10. 29	エビスタ西宮増床リニューアルオープン		
	12. 9	阪神なんば線淀川橋梁改築工事に着手		
	12. 10	武庫川女子大学と包括連携協定を締結		
	12. 13	アイテック阪急阪神株式会社が日本プロテックを子会社化		
	2019(平成 31)	1. 21	台湾の桃園メトロと相互連携協定を締結	
		3. 9	阪神甲子園球場のメインビジョンのリニューアルが完了	
4. 1		情報・通信事業本部を新設		
4. 13		六甲山観光株式会社が「フォレストアドベンチャー・神戸六甲山」を開業(2021.4.3～「六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーンニア)」として営業)		
4. 15		JR西日本と共同開発した福島阪神NK共同ビルが竣工(2019.5.15に「ホテル阪神アネックス大阪」、「阪急オアシス」等が開業)		
2019(令和 元)	6. 1	梅田1丁目1番地計画第II期工事に着手		
	10. 1	「梅田駅」を「大阪梅田駅」に、「鳴尾駅」を「鳴尾・武庫川女子大前駅」にそれぞれ改称		
	11. 30	本線住吉・芦屋間連続立体交差化工事の上り線を高架化 深江駅・青木駅上りホームを高架化		
	12. 18	BAN-BANネットワークス株式会社を子会社化		
2020(令和 2)	3.	甲子園駅前広場の整備事業が竣工		
	3. 14	全線のダイヤ改正を実施 土休日ダイヤにおける快速急行の8両編成での運行を開始		
	3. 16	UR都市機構と包括連携協定を締結		
	4.	海老江1丁目開発計画が完了(分譲マンション(阪急阪神不動産株式会社等との共同事業)「ジオ福島野田TheMarks」、商業施設等が開業)		
	4. 1	沿線価値創造推進室及び都市交通計画部を新設		
	4. 28	「#ほっとはんしん プロジェクト ～ここに寄り添い ころぞつながる～」を開始		
	6. 3	武庫川線において赤胴車が運行を終了し、新デザインの車両4編成が運行開始		
	9. 16	鳴尾・武庫川女子大前駅北側に商業施設オープン		
	10. 29	野田駅前商業施設「野田阪神ウイステ」がリニューアルオープン		
	12.	西九条駅西口高架下商業施設がリニューアルオープン		

2021(令和 3)	2. 11	神戸三宮駅(1・3番線)に当社初のホームドアを設置・供用開始(2022.3.27同駅全てのホームへの設置完了)	
	3.	武庫川団地前駅前に商業施設「ムコダンモール」オープン	
	3. 13	本線のダイヤ改正を実施 最終列車の時刻を繰上げ	
	4. 3	六甲山観光株式会社が「六甲山カンツリーハウス」「六甲山フィールド・アスレチック」「フォレストアドベンチャー・神戸六甲山」を統合し、「六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーンア)」を開設	
	7. 16	六甲山観光株式会社が「六甲オルゴールミュージアム」をリニューアルし、「ROKKO 森の音ミュージアム」を開設	
	9. 7	梅田1丁目1番地計画II期棟が竣工(同年10.8阪神百貨店が先行開業、2022.2.25全体竣工)	
	10. 3	大阪梅田駅新1番線の供用開始(2023.1.28新2番線、5.27新3番線の供用開始)	
	12. 9	阪神甲子園球場において、環境保全プロジェクト『KOSHIEN “eco” Challenge』を宣言	
	12. 22	尼崎市とのまちづくりの推進に関する協定を締結	
2022(令和 4)	2. 25	梅田1丁目1番地計画が全体竣工(ビル名称「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」。同年3.24オフィスゾーンが開業、4.6阪神百貨店(阪神梅田本店)がランドオープン)	
		大阪梅田ツインタワーズ・サウス	
	3. 3	商業施設「甲子園プラス」開業、「甲子園歴史館」の展示エリアを一部移転・拡張し、リニューアルオープン	
		甲子園歴史館	
	3.	阪神甲子園球場のスタジアム照明をLED化	
	4. 1	ブランド経営推進室及びデジタル経営推進室を新設	
	4. 26	環境省が実施した第1回脱炭素先行地域に尼崎市と当社の共同提案事業「阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画」が選定(2023.2.22日鉄鋼板株式会社が阪神タイガースファーム施設(2軍本拠地)となる野球場のネーミングライツを取得し、球場名を「日鉄鋼板 SGL スタジアム 尼崎」に決定)	
		「日鉄鋼板 SGL スタジアム 尼崎」イメージパース	
	5. 26	「ラグザスクエア」リニューアル工事完了	
	7. 31	磁気定期券の発売終了	
	8. 1	「阪神甲子園球場100周年記念事業」を始動(2024年8月1日が開場100周年)	
	9. 1	ICOCAでの当社線利用に対する「阪神電車ポイント還元サービス」を開始(2023.3.1山陽電車、4.1阪急電車・能勢電車のポイント還元サービスと連携)	
	12. 17	全線のダイヤ改正を実施 最終列車の時刻を繰上げ、平日タラッシュダイヤにおける快速急行の編成両数増加等	
12. 23	夜間有料臨時列車(らくやんライナー)を期間限定で運行(~2023.1.20(計4日間))		
2023(令和 5)	3. 18	当社及び阪急阪神不動産株式会社が阪神本線住吉・芦屋間連続立体交差事業によって新たに誕生した高架下空間(東灘高架下)に新店舗オープン	
	4. 1	「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用した料金収受を開始	
	4. 1	当社を代表企業とするグループが尼崎市の「阪神尼崎駅周辺公共施設指定管理者及び維持管理業務受託者」に選定	

# 資料

## 事業所一覧・グループ会社等



## 事業所一覧

## ●運輸部

運輸部教習所	〒660-0082 尼崎市水明町373番地6 ☎(06) 6412 - 3432	—
東部列車所	〒660-0826 尼崎市北城内116番地 ☎(06) 6481 - 0589	—
西部列車所	〒662-0973 西宮市田中町1番16号 ☎(0798) 22 - 1070	—
大阪梅田駅	〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目大阪駅前地下街6号 ☎(06) 6457 - 2267	—
尼崎駅	〒660-0000 尼崎市東御園町93番地 ☎(06) 6411 - 0281	—
甲子園駅	〒663-8177 西宮市甲子園七番町1番1号 ☎(0798) 48 - 1500	—
御影駅	〒658-0046 神戸市東灘区御影本町4丁目12番4号 ☎(078) 851 - 2816	—
神戸三宮駅	〒651-0088 神戸市中央区小野柄通8丁目1番8号 ☎(078) 221 - 1254	—
新開地駅	〒652-0811 神戸市兵庫区新開地2丁目3番Bの1号 ☎(078) 575 - 5061	—

## ●電気部

電力管理事務所	〒660-0826 尼崎市北城内116番地 ☎(06) 6489 - 2010 FAX. (06) 6482 - 3293
通信管理事務所	〒660-0826 尼崎市北城内116番地 ☎(06) 6489 - 2161 FAX. (06) 6401 - 3687

## ●車両部

尼崎車庫	〒660-0826 尼崎市北城内116番地 ☎(06) 6489 - 2020 FAX. (06) 6482 - 1667
------	--

## ●工務部

梅田駅工事事務所	〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目1番12号 ☎(06) 6345 - 9211 FAX. (06) 6345 - 9213
淀川工事事務所	〒555-0034 大阪市西淀川区福町2丁目2番34号 ☎(06) 6472 - 1370 FAX. (06) 6472 - 1372

## ●甲子園事業部

阪神甲子園球場	〒663-8152 西宮市甲子園町1番82号 ☎(0798) 47 - 1041 FAX. (0798) 40 - 3122
甲子園テニスクラブ	〒663-8151 西宮市甲子園洲島町5番50号 ☎(0798) 41 - 0282 FAX. (0798) 47 - 6573

※不動産事業部に関しては、阪急阪神不動産(株)にご連絡ください。

## グループ会社

## 都市交通

(2023年8月1日現在)

神戸高速鉄道(株)	本社: 〒650-0015 神戸市中央区多聞通3丁目3番9号 TEL: (078) 351-0881 FAX: (078) 351-1607 事業内容: 第3種鉄道事業(神戸高速線7.6km) 新開地~高速神戸間の地下街「メトロこうべ」の管理、運営	代表者: 村田 豊喜 設立: 1958 (S33) .10.2 資本金: 100,000千円
阪急阪神電気システム	本社: 〒532-0024 大阪市淀川区十三本町3丁目7番11号 TEL: (06) 4805-6605 FAX: (06) 4805-6607 事業内容: 鉄道電気設備・駅務機器・情報通信機器の保守・工事施工、電気設備機器工用資材の購入・販売、昇降機設備の保守管理 事務所: 〒532-0024 大阪市淀川区十三本町3丁目1番14号 〒662-0918 西宮市六湛寺町11番1号 〒662-0978 西宮市産所町2番24号	代表者: 中谷 健史 設立: 2000 (H12) .1.28 資本金: 60,000千円
西大阪高速鉄道(株)	本社: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番24号 TEL: (06) 6345-0655 FAX: (06) 6345-0656 事業内容: 第3種鉄道事業(西九条~大阪難波間3.8km(営業キロ))	代表者: 原田 大 設立: 2001 (H13) .7.10 資本金: 17,799,700千円
阪神バス(株)	本社: 〒660-0072 尼崎市大庄川田町108番地の1 TEL: (06) 6416-1351 FAX: (06) 6416-1511 事業内容: 路線バス・空港リムジンバス・高速バス・貸切バス	代表者: 上田 晋也 設立: 2005 (H17) .12.14 資本金: 90,000千円
阪神タクシー(株)	本社: 〒663-8142 西宮市鳴尾浜1丁目1番地12 TEL: (0798) 46-6021・3 FAX: (0798) 47-2202 事業内容: タクシー業(車両数208両)、不動産の賃貸 鳴尾基地: 〒663-8142 西宮市鳴尾浜1丁目1番地12 TEL: (0798) 46-6021 FAX: (0798) 47-2202 芦屋営業所: 〒659-0064 芦屋市精道町7番1号 TEL: (0797) 32-1855	代表者: 安井 英二 設立: 1933 (S8) .3.25 資本金: 100,000千円
阪ハックス阪神	本社: 〒663-8142 西宮市鳴尾浜1丁目1番地12 TEL: (0798) 49-2214 FAX: (0798) 40-0655 事業内容: LPオートガスの販売、不動産の賃貸	代表者: 安井 英二 設立: 1967 (S42) .8.10 資本金: 10,000千円
大阪阪神タクシー(株)	本社: 〒570-0041 守口市東郷通3丁目8番18号 TEL: (06) 6996-3233 FAX: (06) 6996-7976 事業内容: タクシー業	代表者: 福浦 秀哉 設立: 1962 (S37) .2.15 資本金: 30,000千円

㈱阪神ステーションネット	本社: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル	代表者: 大地 一正
	TEL: (06) 6347-6603	設立: 1959 (S34) .6.1
	FAX: (06) 6347-6605	資本金: 93,350千円
事業内容: 定期券販売所、サービスセンター、宝くじ売場「阪神ドリームプラザ」、駐輪場の運営、旅行業等		
阪神車両メンテナンス(株)	本社: 〒660-0826 尼崎市北城内116番地	代表者: 谷山 彰紀
	TEL: (06) 6481-7793	設立: 2002 (H14) .5.31
	FAX: (06) 6481-2909	資本金: 30,000千円
事業内容: 鉄道車両の改造・定期検査・補修、鉄道車両及び部品の製作、販売		
㈱エキ・リテール・サービス 阪急阪神	本社: 〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目16番1号	代表者: 青木 眞治
	TEL: (06) 6373-5346	設立: 1976 (S51) .8.24
	FAX: (06) 6373-5289	資本金: 10,000千円
事業内容: 小売店舗(「成城石井」等)、駅SC事業(「スクラ三宮」等)、賃貸業、自販機、コインロッカー、イベント企画や運営		
㈱阪急阪神エムテック	本社: 〒567-0065 茨木市上郡2丁目14番4号	代表者: 藤原 彰
	TEL: (072) 641-0311	設立: 1995 (H7) .10.2
	FAX: (072) 641-0322	資本金: 99,800千円
事業内容: 自動車整備(民間車検場)、自動車及び部品の販売、石油類の販売		

## スポーツ・エンタテインメント

㈱阪神タイガース	本社: 〒663-8152 西宮市甲子園町2番33号	代表者: 百北 幸司
	TEL: (0798) 46-1515 (営業は「1818」)	設立: 1935 (S10) .12.10
	FAX: (0798) 46-3555 (営業は「4333」)	資本金: 48,000千円
事業内容: プロ野球興行		
㈱阪神コンテンツリンク	本社: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル10階	代表者: 清水 奨
	TEL: (06) 6347-6514	設立: 1989 (H元) .9.1
	FAX: (06) 6456-3027	資本金: 230,000千円
	事業内容: クラブ&レストラン「ビルボードライブ」、広告代理店業、イベント企画・運営、商品企画・制作販売、映像制作、サイン制作	
	東京支店: 〒106-0032 東京都港区六本木1丁目8番7号 (MFPR六本木麻布台ビル6階) TEL: (03) 5544-9800	
	ロスアンジェルス支店: 11175 Santa Monica Boulevard, Los Angeles, CA 90025 USA ビルボードライブ東京: 〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番4号 (東京ミッドタウン ガーデンテラス4階) TEL: (03) 3405-5495	
	ビルボードライブ大阪: 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目2番22号 (ハービス PLAZA ENT B2階) TEL: (06) 6347-5195	
	ビルボードライブ横浜: 〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57-2 (KITANAKA BRICK&WHITE 1階) TEL: (0570) 05-6565	
	梅田事務所: 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目4番13号 (阪神産経桜橋ビル1102号) TEL: (06) 6347-5495	
	ソウルパードミュージックスクール 大阪本校: 〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目1番12号 (阪神福島駅ビル2階) TEL: (06) 6456-1666	
大阪事業所 (SD事業部・商品事業部): 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲1丁目9番2号 TEL: (06) 6347-5301 (SD事業部) TEL: (06) 6347-4787 (商品事業部)		
㈱ピーアンドピー浜松	本社: 〒435-0038 静岡県浜松市南区三和町252番地の2	代表者: 西山 剛
	TEL: (053) 464-5110	設立: 1979 (S54) .12.3
	FAX: (053) 463-0201	資本金: 10,000千円
事業内容: スポーツ大会のパネル写真、オリジナルグッズ等の企画・制作・販売		

(株)ウエルネス阪神	本社: 〒663-8177 西宮市甲子園七番町17番28号B107	代表者: 岡本 直樹
	TEL: (0798) 40-5070	設立: 1990 (H2) .9.11
	FAX: (0798) 43-1004	資本金: 90,000千円
	事業内容: スポーツクラブの経営及び運営受託 甲子園球場内飲食売店、タイガースグッズ販売、労働者派遣事業 ディップドッツ・アイスクリーム輸入販売	
六甲山観光(株)	本社: 〒663-8177 西宮市甲子園七番町1番27号	
	TEL: (0798) 40-5050 FAX: (0798) 40-5575	
	スタジアム事務所: 〒663-8152 西宮市甲子園町1番82号 阪神甲子園球場内 別棟3階	
	TEL: (0798) 44-6220 FAX: (0798) 44-6221	
東京事務所: 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-16 (ニュー駿河台ビル4階)		
TEL: (03) 3401-0877 FAX: (03) 3401-8766		
六甲山観光(株)	本社: 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町一ヶ谷1番32号 六甲山上駅2階	代表者: 寺西 公彦
	TEL: (078) 894-2071	設立: 1923 (T12) .10.14
	FAX: (078) 894-2088	資本金: 80,976千円
	事業内容: 六甲ケーブル、路線バス、六甲山上施設の運営	

情報・通信

アイテック阪急阪神(株)	本社: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル	代表者: 水本 好信
	TEL: (06) 6456-5200	設立: 1987 (S62) .7.1
	FAX: (06) 6456-5250	資本金: 200,000千円
	事業内容: 交通システム、エンタープライズソリューション、 インターネットソリューション、医療システム、ビルシステム、 地域BWA・あんしんサービス、ネットワークインフラソリューション、 システム開発受託、コールセンター	
東京支社: 〒108-6308 東京都港区三田3丁目5番27号(三田ツインビル西館8階)		
TEL: (03) 6740-6000 FAX: (03) 6740-6014		
中部支社: 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号(名古屋三井ビルディング本館18階)		
TEL: (052) 589-1306		
(株)システム研	本社: 〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目6番16号 ラザダ大阪ノースオフィス9階	代表者: 上西 安明
	TEL: (06) 6344-2875	設立: 1982 (S57) .2.10
	FAX: (06) 6344-2698	資本金: 50,000千円
	事業内容: ソリューション事業(生産/販売管理/製造実行システム/ IoTほか)	
(株)日本プロテック	本社: 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目6番2号 上野ビルディング7階	代表者: 早川 誠
	TEL: (03) 3256-8956	設立: 1982 (S57) .12.15
	FAX: (03) 3252-8156	資本金: 50,000千円
	事業内容: ソフトウェア開発	
ユミルリンク(株)	本社: 〒151-8583 東京都渋谷区代々木2丁目2番1号 小田急サザンタワー 12階	代表者: 清水 亘
	TEL: (03) 6820-0088	設立: 1999 (H11) .7.1
	FAX: (03) 6820-0087	資本金: 273,853千円
	事業内容: メッセージングソリューション事業(ASP・SaaS)	
大阪支店: 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号 パシフィックマークス西梅田7階		
TEL: (06) 6131-9960 FAX: (06) 6131-9961		
北海道オフィス: 〒064-0805 北海道札幌市中央区南五条西1丁目1番12号 ヒカリビル5階		
TEL: (011) 596-9190		
福岡オフィス: 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目2番13号 博多駅前ビル8階		
TEL: (092) 292-9106 FAX: (092) 292-9206		
沖縄オフィス: 〒904-0117 沖縄県中頭郡北谷町北前1丁目17番8号		
TEL: (098) 989-0206 FAX: (098) 989-0206		
(株)アールワークス	本社: 〒162-0824 東京都新宿区揚場町1丁目18番 飯田橋ビル6階	代表者: 池田 豊
	TEL: (03) 5946-8400	設立: 2000 (H12) .10.18
	FAX: (03) 5946-8401	資本金: 425,400千円
	事業内容: マネージドクラウド事業(システム監視・運用サービス)、ソフトウェア事業(ソフトウェア開発・販売)	



アイテック阪急阪神 イノベーション 投資事業有限責任組合	本社: 〒530-0017 大阪市北区角田町1番12号 阪急ファイブアネックスビル (ハックベンチャーズ㈱内)	代表者: 金沢 崇 ハックベンチャーズ㈱
	TEL: (06) 6105-1395	設 立:2022 (R4) .8.26 資本金:500,000千円(出資金上限)
事業内容: アイテック阪急阪神㈱と投資先会社との事業提携を目的とした出資業務		
㈱ミマモルメ	本社: 〒553-0003 大阪市福島区福島3丁目14番24号 福島阪神ビルディング5階	代表者: 小坂 光彦
	TEL: (06) 6734-6880 FAX: (06) 6454-0160	設 立:2017 (H29) .8.8 資本金:100,000千円
事業内容: あんしん事業(登下校メールサービス「ミマモルメ」ほか)、 教育事業(ロボットプログラミング教室「プログラボ」ほか)		
姫路ケーブルテレビ㈱	本社: 〒670-0964 姫路市豊沢町135番地 姫路大同生命ビル7階	代表者: 樽谷 篤明
	TEL: (079) 282-2111 FAX: (079) 224-6633	設 立:1989 (H元) .4.1 資本金:1,560,000千円
事業内容: 一般放送事業、インターネットサービス業、ケーブルプラス電話事業		
㈱ベイ・コミュニケーションズ	本社: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル4階	代表者: 竹間 郁夫
	TEL: (06) 6450-1173 FAX: (06) 6450-1181	設 立:1991 (H3) .4.1 資本金:4,000,000千円
事業内容: 一般放送事業、インターネットサービス業、ケーブルプラス電話事業		
BAN-BAN ネットワークス㈱	本社: 〒675-0039 加古川市加古川町粟津26番地の2	代表者: 古庄 恵浩
	TEL: (079) 420-2527 FAX: (079) 420-3734	設 立:2003 (H15) .10.1 資本金:680,000千円
事業内容: 一般放送事業、インターネットサービス業、ケーブルプラス電話事業		
阪神ケーブル エンジニアリング㈱	本社: 〒663-8186 西宮市上鳴尾町27番11号	代表者: 藤井 啓詳
	TEL: (0798) 48-1320 FAX: (0798) 48-1811	設 立:2008 (H20) .9.1 資本金:50,000千円
事業内容: 電気通信工事業、電気工事業、認定電気通信事業(全部認定)、無線 局登録検査等事業		
大阪営業所: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番24号(阪神星光ビル2階) TEL: (06) 6343-7470 FAX: (06) 6343-7471		
神戸営業所: 〒651-0072 神戸市中央区脇浜町2丁目9番12号 TEL: (078) 241-0655 FAX: (078) 203-1009		
横浜営業所: 〒240-0022 横浜市保土ヶ谷区西久保町116番1号 TEL: (045) 514-2391 FAX: (045) 514-0990		
加古川事務所: 〒675-0066 加古川市加古川町寺家町167番地2 TEL: (079) 455-7464 FAX: (079) 459-0803		
㈱エフエム・キタ	本社: 〒530-8281 大阪市北区梅田2丁目5番25号 ハービス PLAZA3階	代表者: 竹間 郁夫
	TEL: (06) 6343-7890 FAX: (06) 6343-7895	設 立:1996 (H8) .9.10 資本金:160,000千円
事業内容: コミュニティ FM ラジオ放送業		

## ホテル

㈱阪神ホテルシステムズ	本社: 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号	代表者: 柚木 邦夫
	TEL: (06) 6343-7000 FAX: (06) 6343-7001	設 立:1992 (H4) .5.29 資本金:100,000千円
事業内容: ホテル「ザ・リッツ・カールトン大阪」(客室291室、収容人員582人)		

建設・環境

<p>(株)ハンシン建設</p>	<p>本社: 〒555-0001 大阪市西淀川区佃2丁目10番5号</p> <p>TEL: (06) 6105-3030</p> <p>FAX: (06) 6473-3380</p> <p>事業内容: 土木・建築等の建設工事の請負</p> <p>千舟事務所(リニューアル): 〒555-0013 大阪市西淀川区千舟3丁目9番17号 TEL: (06) 6475-6006 FAX: (06) 6478-6108</p> <p>木津川事務所(基礎): 〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目13番37号 TEL: (06) 6652-8191 FAX: (06) 6652-8110</p> <p>東京支店: 〒135-0006 東京都江東区常盤2丁目14番11号(T・CSビル3階) TEL: (03) 3631-3431 FAX: (03) 3631-3440</p> <p>名古屋支店: 〒453-0013 名古屋市中村区亀島2丁目14番10号(フジオフビル7階) TEL: (052) 452-3383 FAX: (052) 452-8059</p> <p>神戸支店: 〒657-0842 神戸市灘区船寺通2丁目2番7号 TEL: (078) 806-2121 FAX: (078) 806-2123</p>	<p>代表者: 前田 恭司</p> <p>設立: 1942 (S17) .11.19</p> <p>資本金: 400,000千円</p>
	<p>本社: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービルディング14階</p> <p>TEL: (06) 6453-8720</p> <p>FAX: (06) 6453-8740</p> <p>事業内容: 内線・鉄道電気・設備・計装の各工事業及びエネルギーソリューション事業</p> <p>本社・本店: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号(阪神野田センタービルディング14階) TEL: (06) 6453-8720 FAX: (06) 6453-8740</p> <p>本店鉄道部: 〒555-0025 大阪市西淀川区姫里1丁目21番13号 TEL: (06) 6471-5726 FAX: (06) 6475-9289</p> <p>本店設備部: 〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目1番12号(阪神福島駅ビル3階) TEL: (06) 6453-8726 FAX: (06) 6136-8710</p> <p>京都営業所: 〒612-8085 京都市伏見区京町南7丁目31番地4 TEL: (075) 623-5533 FAX: (075) 623-5530</p> <p>神戸営業所: 〒651-0086 神戸市中央区磯上通4丁目3番10号(IPSX EAST12階) TEL: (078) 222-2181 FAX: (078) 222-2182</p> <p>吹田営業所: 〒564-0054 吹田市芳野町8番7号 TEL: (06) 6385-0377 FAX: (06) 6385-0471</p> <p>東京支店: 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10番18号(日本橋富沢町スクエア4階) TEL: (03) 5645-8471 FAX: (03) 3639-0963</p> <p>茨城営業所: 〒314-0132 茨城県神栖市筒井1422番地221 TEL: (0299) 92-4155 FAX: (0299) 93-1459</p> <p>名古屋支店: 〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番2号(名古屋丸紅ビル7階) TEL: (052) 231-4511 FAX: (052) 231-1554</p> <p>三重営業所: 〒510-0845 三重県四日市市海山道町1丁目122番の1 TEL: (059) 345-1155 FAX: (059) -345-1158</p>	<p>代表者: 岡田 康彦</p> <p>設立: 1948 (S23) .1.23</p> <p>資本金: 323,760千円</p>
<p>中央電設(株)</p>	<p>本社: 〒663-8165 西宮市甲子園浦風町16番24号</p> <p>TEL: (0798) 47-3538</p> <p>FAX: (0798) 41-4116</p> <p>事業内容: 造園、緑地の管理、運動施設施工・管理、貸植木</p> <p>大阪支店: 〒567-0884 茨木市新庄町14番17号 TEL: (072) 630-0161 FAX: (072) 630-0171</p> <p>東京支店: 〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目24番14号 TEL: (03) 6404-6236 FAX: (03) 5767-6593</p>	<p>代表者: 久保田 晃司</p> <p>設立: 1968 (S43) .9.10</p> <p>資本金: 50,000千円</p>
	<p>本社: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル17階</p> <p>TEL: (06) 4798-7601</p> <p>FAX: (06) 4798-7602</p>	<p>代表者: 松永 泉</p> <p>設立: 1962 (S37) .2.19</p> <p>資本金: 39,000千円</p> <p>事業内容: ドライブイン「砂丘会館」の運営</p>

その他

<p>(株)鳥取砂丘会館</p>	<p>本社: 〒689-0105 鳥取県鳥取市福部町湯山2164番地</p> <p>TEL: (0857) 22-6835</p> <p>FAX: (0857) 27-8090</p>	<p>代表者: 松永 泉</p> <p>設立: 1962 (S37) .2.19</p> <p>資本金: 39,000千円</p>
	<p>事業内容: ドライブイン「砂丘会館」の運営</p>	

(参考)

<p>阪急電鉄(株)</p>	<p>本社: 〒530-8389 大阪市北区芝田1丁目16番1号</p> <p>TEL: (06) 6373-5085</p> <p>FAX: (06) 6373-5098</p>	<p>東京統括室: 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目2番2号(東宝日比谷ビル17階) TEL: (03) 3503-1568</p>
	<p>事業内容: 鉄道事業、不動産事業、観光事業、サービス事業</p>	
<p>(株)阪急阪神 ビジネスアソシエイト</p>	<p>本社: 〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目16番1号 (阪急電鉄本社ビル14階)</p> <p>TEL: (06) 6373-5185</p> <p>FAX: (06) 6373-5190</p>	
<p>阪急阪神不動産(株)</p>	<p>本社: 〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目1番4号 (阪急ターミナルビル内)</p> <p>TEL: (06) 6376-4660</p> <p>FAX: (06) 6376-4645</p>	
<p>阪急阪神ビルマネジメント(株)</p>	<p>本社: 〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目1番4号 (阪急ターミナルビル内)</p> <p>TEL: (06) 6372-7900</p> <p>FAX: (06) 6372-7939</p>	
<p>阪急阪神 エステート・サービス(株)</p>	<p>本社: 〒553-0001 大阪市福島区海老江1丁目1番31号 阪神野田センタービル17階</p> <p>TEL: (06) 4798-7601</p> <p>FAX: (06) 4798-7602</p>	

(事業所一覧・グループ会社に関する情報は2023年8月1日現在)

## 民鉄16社比較

社名	項目	資本金 (百万円)	営業収益 (百万円)	従業員数(人)		旅客 営業キロ (キロ)	在籍 客車数 (両)
				全社	鉄道		
阪神		29,384	76,263	1,341	1,151	48.9	358
阪急		100	176,054	3,063	2,927	143.6	1,291
南海		72,983	92,065	2,635	2,203	153.3	696
京阪		100	48,877	1,324	1,294	91.1	696
近鉄		100	135,705	6,773	6,636	501.1	1,885
東武		102,135	204,585	3,346	2,998	463.3	1,817
東急		100	135,397	3,657	3,547	110.7	1,304
小田急		60,359	144,058	3,712	2,821	120.5	1,062
京王		59,023	115,954	2,410	1,960	84.7	877
京急		43,738	104,491	2,891	2,517	87.0	790
京成		36,803	72,773	1,831	1,685	152.3	606
西武		21,665	127,081	3,650	3,262	176.6	1,227
相鉄		100	29,828	1,040	986	42.2	426
東京メトロ		58,100	327,042	9,721	9,631	195.0	2,722
名鉄		101,158	90,332	4,987	4,022	444.2	1,076
西鉄		26,157	199,705	4,502	580	106.1	297

(2022年度)

輸送人員 (千人)	旅客収入 (百万円)	客車 走行キロ (千キロ)	営業 1キロ1日 旅客収入 (千円)	客車走行 1キロ 旅客収入 (円)	創立記念日
218,671	30,462	45,314	1,706	672	1899(明32).6.12
571,636	84,809	169,112	1,618	501	1907(明40).10.19
203,712	46,457	95,954	830	484	1885(明18).12.27
243,608	43,085	76,217	1,295	565	1906(明39).11.19
501,393	122,040	270,760	667	450	1910(明43).9.16
798,420	126,090	265,373	746	475	1897(明30).11.1
988,883	120,341	148,246	3,136	811	1922(大11).9.2
648,656	101,034	173,079	2,297	583	1923(大12).5.1
553,889	67,130	129,019	2,171	520	1910(明43).9.21
404,440	65,997	112,503	2,078	586	1898(明31).2.25
251,208	51,684	102,529	929	504	1909(明42).6.30
559,061	85,212	169,269	1,321	503	1912(明45).5.7
199,091	27,356	47,909	1,963	570	1917(大6).12.18
2,171,910	281,364	290,315	3,953	969	2004(平16).4.1
341,058	75,026	182,366	462	411	1894(明27).6.25
92,504	17,829	38,340	460	465	1908(明41).12.17

(南海)※連立立体交差化工事のため鉄道事業を休止している高師浜線の数値を控除しています。  
(注)第2種鉄道事業を含む。



# 沿線人口

## ●沿線人口

年		1995 (平成7年)	2005 (平成17年)	2015 (平成27年)	2021 (令和3年)	2022 (令和4年)	2023 (令和5年)
大	阪 (225.33km <sup>2</sup> )	2,602,421	2,628,811	2,691,185	2,754,526	2,749,406	2,764,876
大阪府	北区 (10.34km <sup>2</sup> )	85,487	100,385	123,667	140,416	142,344	144,441
	福島区 (4.67km <sup>2</sup> )	55,104	60,929	72,484	80,051	79,929	81,205
	西淀川区 (14.21km <sup>2</sup> )	91,134	95,662	95,490	96,115	95,244	95,828
	此花区 (19.30km <sup>2</sup> )	68,529	63,809	66,656	64,577	64,539	64,290
	西区 (5.21km <sup>2</sup> )	58,674	72,591	92,430	105,688	107,482	109,555
	浪速区 (4.39km <sup>2</sup> )	49,122	54,174	69,766	76,720	78,008	80,984
	中央区 (8.87km <sup>2</sup> )	52,874	66,818	93,069	106,079	108,778	112,965
尼	崎 (50.71km <sup>2</sup> )	488,586	462,647	452,563	450,095	455,872	454,767
西	宮 (100.18km <sup>2</sup> )	390,389	465,337	487,850	484,011	484,026	484,108
芦	屋 (18.57km <sup>2</sup> )	75,032	90,590	95,350	94,371	93,954	93,569
神	戸 (557.05km <sup>2</sup> )	1,423,792	1,525,393	1,537,272	1,512,638	1,511,043	1,503,763
神戸市	東灘区 (34.03km <sup>2</sup> )	157,599	206,037	213,634	213,265	211,897	211,183
	灘区 (32.66km <sup>2</sup> )	97,473	128,050	136,088	136,281	136,543	136,175
	中央区 (28.99km <sup>2</sup> )	103,711	116,591	135,153	144,027	147,673	148,834
	兵庫区 (14.67km <sup>2</sup> )	98,856	106,985	106,956	107,007	109,208	109,608
	長田区 (11.36km <sup>2</sup> )	96,807	103,791	97,912	93,920	93,672	93,382

(注) ・国勢調査(各年10月1日)によります。ただし、2021-2023年は、5月1日現在の推計人口(各市役所調査)です。  
 (西宮市については、住民基本台帳人口)  
 ・各市・各区の( )内は、2023年5月1日現在の総面積です。

## 2023 ハンドブック阪神

2023年8月 編集・発行  
 阪神電気鉄道株式会社  
 経営企画室(広報担当)  
 大阪市福島区海老江1丁目1番24号  
 ☎(06) 6457-2130

このハンドブック阪神は、環境に配慮した無塩素漂白で製造された用紙を使用しています。

cover,chapter title page image: echo3005/Shutterstock.com



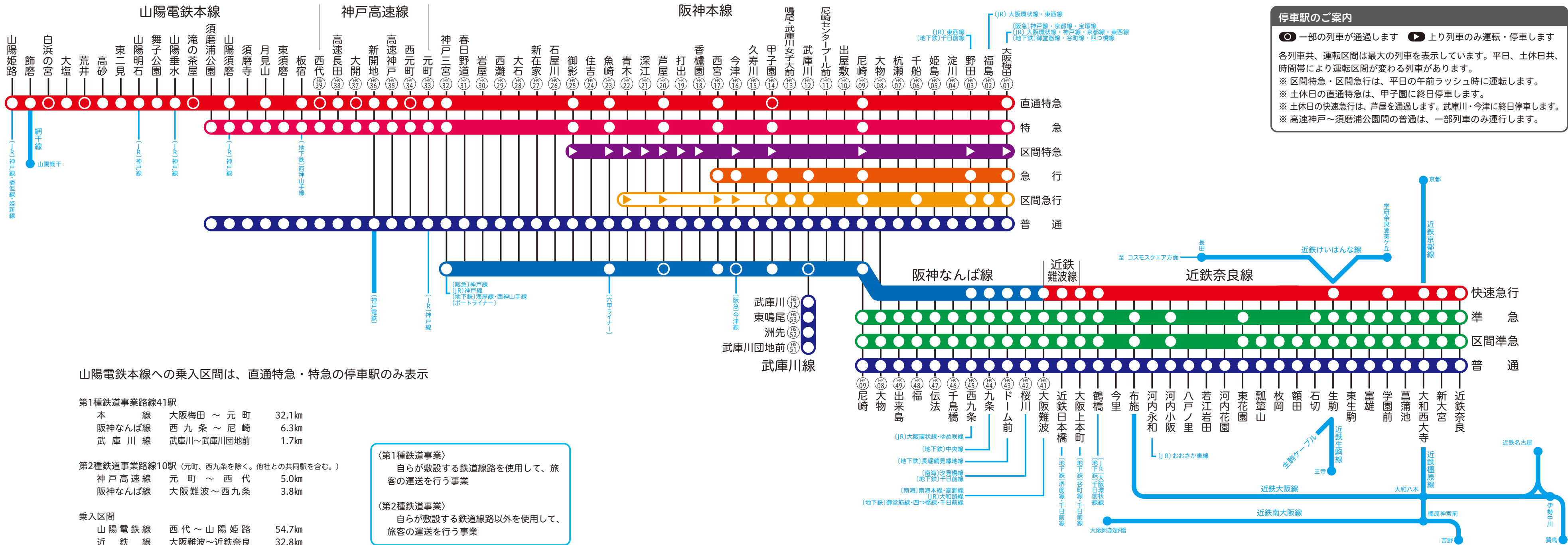
阪神電気鉄道株式会社

営業キ口程表・大人普通旅客運賃表

HS33	元町	0.9	2.2	3.3	3.9	4.5	5.5	6.4	7.0	7.5	8.3	9.5	10.6	11.9	13.1	14.3	15.4	16.7	17.3	18.0	18.9	20.1	21.3	22.0	23.2	24.1	25.3	26.2	27.7	28.8	29.8	31.0	32.1	23.2	24.1	25.5	26.5	28.0	28.7	29.5	30.8	31.4	32.2	33.3	20.1	20.8	21.2	21.8	元	町	HS33					
HS32	神戸三宮	130	神戸三宮	1.3	2.4	3.0	3.6	4.6	5.5	6.1	6.6	7.4	8.6	9.7	11.0	12.2	13.4	14.5	15.8	16.4	17.1	18.0	19.2	20.4	21.1	22.3	23.2	24.4	25.3	26.8	27.9	28.9	30.1	31.2	22.3	23.2	24.6	25.6	27.1	27.8	28.6	29.9	30.5	31.3	32.4	19.2	19.9	20.3	20.9	神戸三宮	HS32					
HS31	春日野道	160	160	春日野道	1.1	1.7	2.3	3.3	4.2	4.8	5.3	6.1	7.3	8.4	9.7	10.9	12.1	13.2	14.5	15.1	15.8	16.7	17.9	19.1	19.8	21.0	21.9	23.1	24.0	25.5	26.6	27.6	28.8	29.9	21.0	21.9	23.3	24.3	25.8	26.5	27.3	28.6	29.2	30.0	31.1	17.9	18.6	19.0	19.6	春日野道	HS31					
HS30	岩屋	160	160	160	岩屋	0.6	1.2	2.2	3.1	3.7	4.2	5.0	6.2	7.3	8.6	9.8	11.0	12.1	13.4	14.0	14.7	15.6	16.8	18.0	18.7	19.9	20.8	22.0	22.9	24.4	25.5	26.5	27.7	28.8	19.9	20.8	22.2	23.2	24.7	25.4	26.2	27.5	28.1	28.9	30.0	16.8	17.5	17.9	18.5	岩屋	HS30					
HS29	西灘	160	160	160	160	西灘	0.6	1.6	2.5	3.1	3.6	4.4	5.6	6.7	8.0	9.2	10.4	11.5	12.8	13.4	14.1	15.0	16.2	17.4	18.1	19.3	20.2	21.4	22.3	23.8	24.9	25.9	27.1	28.2	19.3	20.2	21.6	22.6	24.1	24.8	25.6	26.9	27.5	28.3	29.4	16.2	16.9	17.3	17.9	西灘	HS29					
HS28	大石	200	160	160	160	160	大石	1.0	1.9	2.5	3.0	3.8	5.0	6.1	7.4	8.6	9.8	10.9	12.2	12.8	13.5	14.4	15.6	16.8	17.5	18.7	19.6	20.8	21.7	23.2	24.3	25.3	26.5	27.6	18.7	19.6	21.0	22.0	23.5	24.2	25.0	26.3	26.9	27.7	28.8	15.6	16.3	16.7	17.3	大石	HS28					
HS27	新在家	200	200	160	160	160	160	新在家	0.9	1.5	2.0	2.8	4.0	5.1	6.4	7.6	8.8	9.9	11.2	11.8	12.5	13.4	14.6	15.8	16.5	17.7	18.6	19.8	20.7	22.2	23.3	24.3	25.5	26.6	17.7	18.6	20.0	21.0	22.5	23.2	24.0	25.3	25.9	26.7	27.8	14.6	15.3	15.7	16.3	新在家	HS27					
HS26	石屋川	200	200	200	160	160	160	160	石屋川	0.6	1.1	1.9	3.1	4.2	5.5	6.7	7.9	9.0	10.3	10.9	11.6	12.5	13.7	14.9	15.6	16.8	17.7	18.9	19.8	21.3	22.4	23.4	24.3	25.6	25.7	16.8	17.7	19.1	20.1	21.6	22.3	23.1	24.4	25.0	25.8	26.9	13.7	14.4	14.8	15.4	石屋川	HS26				
HS25	御影	200	200	200	160	160	160	160	御影	0.5	1.3	2.5	3.6	4.9	6.1	7.3	8.4	9.7	10.3	10.3	11.0	11.9	13.1	14.3	15.0	16.2	17.1	18.3	19.2	20.7	21.8	22.8	24.0	25.1	16.2	17.1	18.5	19.5	21.0	21.7	22.5	23.8	24.4	25.2	26.3	13.1	13.8	14.2	14.8	御影	HS25					
HS24	住吉	200	200	200	200	160	160	160	160	住吉	0.8	2.0	3.1	4.4	5.6	6.8	7.9	9.2	9.8	10.5	11.4	12.6	13.8	14.5	15.7	16.6	17.8	18.7	20.2	21.3	22.3	23.5	24.6	15.7	16.6	18.0	19.0	20.5	21.2	22.0	23.3	23.9	24.7	25.8	12.6	13.3	13.7	14.3	住吉	HS24						
HS23	魚崎	250	200	200	200	200	160	160	160	160	魚崎	1.2	2.3	3.6	4.8	6.0	7.1	8.4	9.0	9.7	10.6	11.8	13.0	13.7	14.9	15.8	17.0	17.9	19.4	20.5	21.5	22.7	23.8	14.9	15.8	17.2	18.2	19.7	20.4	21.2	22.5	23.1	23.9	25.0	11.8	12.5	12.9	13.5	魚崎	HS23						
HS22	青木	250	250	200	200	200	200	160	160	160	青木	1.1	2.4	3.6	4.8	5.9	7.2	7.8	8.5	9.4	10.6	11.8	12.5	13.7	14.6	15.8	16.7	18.2	19.3	20.3	21.5	22.6	13.7	14.6	16.0	17.0	18.5	19.2	20.0	21.3	21.9	22.7	23.8	10.6	11.3	11.7	12.3	青木	HS22							
HS21	深江	250	250	250	200	200	200	200	160	160	160	160	深江	1.3	2.5	3.7	4.8	6.1	6.7	7.4	8.3	9.5	10.7	11.4	12.6	13.5	14.7	15.6	17.1	18.2	19.2	20.4	21.5	12.6	13.5	14.9	15.9	17.4	18.1	18.9	20.2	20.8	21.6	22.7	9.5	10.2	10.6	11.2	深江	HS21						
HS20	芦屋	250	250	250	250	200	200	200	200	200	200	160	160	160	芦屋	1.2	2.4	3.5	4.8	5.4	6.1	7.0	8.2	9.4	10.1	11.3	12.2	13.6	14.6	16.1	16.8	17.6	18.9	19.5	20.3	21.4	8.2	8.9	9.3	9.9	10.6	11.2	12.2	13.2	14.4	15.2	16.5	17.1	17.9	19.0	5.8	6.5	6.9	7.5	芦屋	HS20
HS19	打出	280	250	250	250	250	250	200	200	200	200	200	160	160	160	打出	1.2	2.3	3.6	4.2	4.9	5.8	7.0	8.2	8.9	10.1	11.0	12.2	13.1	14.6	15.7	16.7	17.9	19.0	10.1	11.0	12.4	13.4	14.9	15.6	16.4	17.7	18.3	19.1	20.2	7.0	7.7	8.1	8.7	打出	HS19					
HS18	香榎園	280	280	250	250	250	250	200	200	200	200	200	160	160	160	香榎園	1.1	2.4	3.0	3.7	4.6	5.8	7.0	7.7	8.9	9.8	11.2	11.9	13.4	14.5	15.5	16.7	17.8	8.9	9.8	11.2	12.2	13.7	14.4	15.2	16.5	17.1	17.9	19.0	5.8	6.5	6.9	7.5	香榎園	HS18						
HS17	西宮	280	280	280	250	250	250	250	250	200	200	200	200	160	160	160	西宮	1.3	1.9	2.6	3.5	4.7	5.9	6.6	7.8	8.7	9.9	10.8	12.3	13.4	14.4	15.6	16.7	7.8	8.7	10.1	11.1	12.6	13.3	14.1	15.4	16.0	16.8	17.9	4.7	5.4	5.8	6.4	西宮	HS17						
HS16	今津	280	280	280	280	250	250	250	250	250	250	200	200	200	160	160	今津	0.6	1.3	2.2	3.4	4.6	5.3	6.5	7.4	8.6	9.5	11.0	12.1	13.1	14.3	15.4	6.5	7.4	8.8	9.8	11.3	12.0	12.8	14.1	14.7	15.5	16.6	3.4	4.1	4.5	5.1	今津	HS16							
HS15	久寿川	280	280	280	280	280	250	250	250	250	250	200	200	200	200	160	160	久寿川	0.7	1.6	2.8	4.0	4.7	5.9	6.8	8.0	8.9	10.4	11.5	12.5	13.7	14.8	5.9	6.8	8.2	9.2	10.7	11.4	12.2	13.5	14.1	14.9	16.0	2.8	3.5	3.9	4.5	久寿川	HS15							
HS14	甲子園	280	280	280	280	280	250	250	250	250	250	200	200	200	200	160	160	甲子園	0.9	2.1	3.3	4.0	5.2	6.1	7.3	8.2	9.7	10.8	11.8	13.0	14.1	5.2	6.1	7.5	8.5	10.0	10.7	11.5	12.8	13.4	14.2	15.3	2.1	2.8	3.2	3.8	甲子園	HS14								
HS13	鳴尾	300	280	280	280	280	280	280	250	250	250	250	200	200	200	160	160	160	鳴尾	1.2	2.4	3.1	4.3	5.2	6.4	7.3	8.8	9.9	10.9	12.1	13.2	4.3	5.2	6.6	7.6	9.1	9.8	10.6	11.9	12.5	13.3	14.4	1.2	1.9	2.3	2.9	鳴尾	HS13								
HS12	武庫川	300	300	280	280	280	280	280	280	280	250	250	250	200	200	200	160	160	160	武庫川	1.2	2.1	2.9	4.1	5.0	6.2	7.1	8.6	9.7	10.9	12.0	3.1	4.0	5.4	6.4	7.9	8.6	9.4	10.7	11.3	12.1	13.2	-	0.7	1.1	1.7	武庫川	HS12								
HS11	プール前	300	300	300	280	280	280	280	280	280	280	250	250	250	200	200	200	160	160	160	プール前	0.7	1.9	2.8	4.0	4.9	6.4	7.5	8.5	9.7	10.8	1.9	2.8	4.2	5.2	6.7	7.4	8.2	9.5	10.1	10.9	12.0	1.2	1.9	2.3	2.9	プール前	HS11								
HS10	出屋敷	300	300	300	300	300	280	280	280	280	280	280	250	250	200	200	200	200	200	160	160	160	出屋敷	1.2	2.1	3.3	4.2	5.7	6.8	7.8	9.0	10.1	1.2	2.1	3.5	4.5	6.0	6.7	7.5	8.8	9.4	10.2	11.3	1.9	2.6	3.0	3.6	出屋敷	HS10							
HS09	尼崎	300	300	300	300	300	280	280	280	280	280	280	250	250	250	200	200	200	200	160	160	160	尼崎	0.9	2.1	3.0	4.5	5.6	6.6	7.8	8.9	-	0.9	2.3	3.3	4.8	5.5	6.3	7.6	8.2	9.0	10.1	3.1	3.8	4.2	4.8	尼崎	HS09								
HS08	大物	320	300	300	300	300	300	280	280	280	280	280	280	250	250	250	250	200	200	200	200	160	160	160	160	大物	1.2	2.1	3.6	4.7	5.7	6.9	8.0	0.9	-	1.4	2.4	3.9	4.6	5.4	6.7	7.3	8.1	9.2	4.0	4.7	5.1	5.7	大物	HS08						
HS07	杭瀬	320	320	300	300	300	300	300	300	300	280	280	280	280	280	250	250	250	200	200	200	200	160	160	160	160	杭瀬	0.9	2.4	3.5	4.5	5.7	6.8	2.1	1.2	2.6	3.6	5.1	5.8	6.6	7.9	8.5	9.3	10.4	5.2	5.9	6.3	6.9	杭瀬	HS07						
HS06	千船	320	320	300	300	300	300	300	300	300	300	280	280	280	280	280	250	250	250	200	200	200	200	160	160	160	160	千船	1.5	2.6	3.6	4.8	5.9	3.0	2.1	3.5	4.5	6.0	6.7	7.5	8.8	9.4	10.2	11.3	6.1	6.8	7.2	7.8	千船	HS06						
HS05	姫島	320	320	320	320	300	300	300	300	300	300	300	300	300	280	280	280	280	250	250	250	250	200	200	200																															



# 列車種別・停車駅



**停車駅のご案内**

● 一部の列車が通過します
 ▶ 上り列車のみ運転・停車します

各列車共、運転区間は最大の列車を表示しています。平日、土休日共、時間帯により運転区間が変わる列車があります。

※ 区間特急・区間急行は、平日の午前ラッシュ時に運転します。

※ 土休日の直通特急は、甲子園に終日停車します。

※ 土休日の快速急行は、芦屋を通過します。武庫川・今津に終日停車します。

※ 高速神戸～須磨浦公園間の普通は、一部列車のみ運行します。

山陽電鉄本線への乗入区間は、直通特急・特急の停車駅のみ表示

第1種鉄道事業路線41駅			
本線	大阪梅田～元町	32.1km	
阪神なんば線	西九条～尼崎	6.3km	
武庫川線	武庫川～武庫川団地前	1.7km	
第2種鉄道事業路線10駅 (元町、西九条を除く。他社との共同駅を含む。)			
神戸高速線	元町～西代	5.0km	
阪神なんば線	大阪難波～西九条	3.8km	
乗入区間			
山陽電鉄線	西代～山陽姫路	54.7km	
近鉄線	大阪難波～近鉄奈良	32.8km	

**〈第1種鉄道事業〉**  
 自らが敷設する鉄道線路を使用して、旅客の運送を行う事業

**〈第2種鉄道事業〉**  
 自らが敷設する鉄道線路以外を使用して、旅客の運送を行う事業